

**ラオス人民民主共和国
セタティラート病院改善プロジェクト
終了時評価報告書**

**平成16年7月
(2004年)**

**独立行政法人 国際協力機構
人間開発部**

目 次

序 文
写 真
地 図

評価調査結果要約表

第1章 終了時評価調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
1-5 対象プロジェクトの概要	3
第2章 終了時評価の方法	5
2-1 評価調査メンバー	5
2-2 評価手法	5
2-3 PDM	5
2-4 評価調査に用いた方法（情報・データ収集方法）	6
第3章 調査結果	8
3-1 プロジェクトの実績	8
3-2 調査要約および団長総括	8
3-3 医療一般の観点からの調査結果	10
3-4 病院協力の観点からの調査結果	11
第4章 評価結果	17
4-1 評価5項目による評価結果	17
4-2 結 論	25
第5章 提言と教訓	26
5-1 提 言	26
5-2 教 訓	26
付属資料	
1. ミニッツ	29
2. 合同評価報告書	30

序 文

ラオス人民民主共和国セタティラート病院改善プロジェクトは、1999年10月から5年間の協力期間において、無償資金協力によって建設された新セタティラート病院の各診療科の充実を図り、医療水準と卒後研修機能等のレベルアップを実現し、ひいてはラオス人民民主共和国全体の医療水準を底上げすることを目的として開始されました。

このたび、国際協力機構（JICA）はプロジェクト開始から5年目を迎え、プロジェクト終了まで残り半年足らずとなるにあたって、これまでのプロジェクト活動実績・実施プロセスを確認し、プロジェクト終了後に向けての提言を行うため、2001年5月29日から同年6月13日まで、終了時評価調査団を派遣しました。

本報告書は、上記調査団の調査結果をとりまとめたものです。ここに、本調査にご協力を賜りました関係各位に深甚なる謝意を表しますとともに、今後とも本件技術協力の成功のため、引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年7月

独立行政法人 国際協力機構
理事 松岡 和久



日本人専門家との協議



病院長との協議



合同評価委員会 (1)



合同評価委員会 (2)



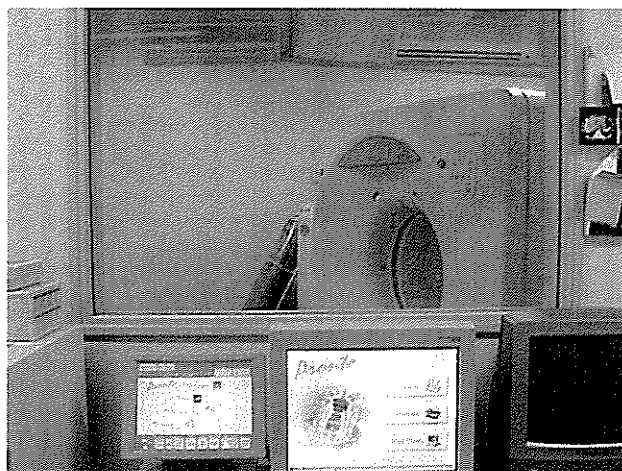
ミニッツ署名



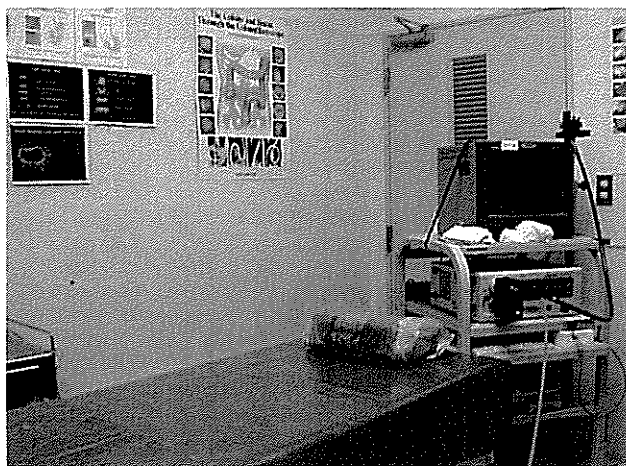
団長スピーチ



セタティラート病院全景



供与機材 (CTスキャナ)

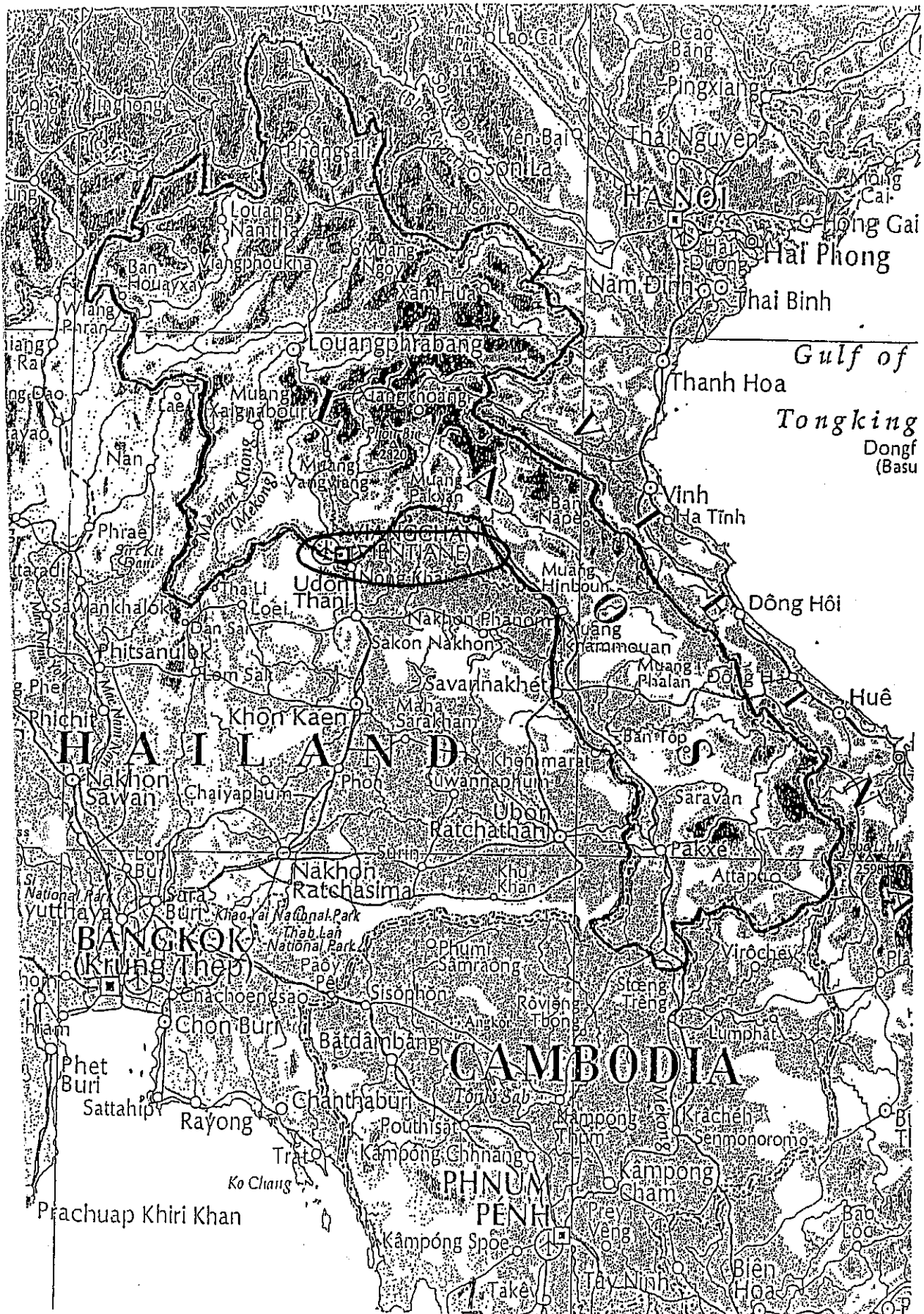


供与機材 (内視鏡)



供与機材 (パソコン一式)

ラオス人民民主共和国



評価調査結果要約表

1. 案件の概要			
国名：ラオス国		案件名：セタティラート病院改善プロジェクト	
分野：保健医療		援助形態：プロジェクト方式技術協力	
所轄部署：JICA人間開発部		協力金額：（総額 5 億3,000万円）	
協力期間	(R/D)：1999年10月 1 日～ 2004年 9 月30日	先方関係機関：ラオス保健省、ヴィエンチャン特別市保健局、セタティラート病院	
		日本側協力機関：琉球大学医学部、沖縄県医師会、沖縄県	

1-1 協力の背景と概要

セタティラート病院は、病床数175床、医師数75名を含む290名の医療従事者を擁する総合病院で、ラオス人民民主共和国（以下、「ラオス国」と記す）北部地域における中核的医療機関であるとともに、医科大学生の臨床教育、医師の卒後教育を担う医育機関でもある。

同病院においては、患者の大半が急性疾患であるため、救命可能疾患に関する治療技術の移転および数多い患者を効率的に診療する病院運営管理能力の向上が求められていた。また、同国は第4次5カ年計画に則った「西暦2020年への保健衛生システム構築戦略」などの国家計画に基づき、セタティラート病院の中核的医療機関、医育機関としての機能を高めることとしていた。

ラオス政府はこのような状況を踏まえ、セタティラート病院の各診療科の充実を図り、医療水準と卒後研修機能等のレベルアップを実現し、もってラオス国全体の医療水準の底上げを図るべく、我が国に対し技術協力を要請した。我が国ではこれを受けて、1999年10月1日より本プロジェクトを開始した。また、同時期に出された新病院建設の要請を受け、無償資金協力による新病院建設を実施し、2000年11月に新病院が完工した。

1-2 協力内容

対象地域は、ヴィエンチャン特別市、ヴィエンチャン県、ボリカムサイ県とする。

(1) 上位目標

- カルテシステム、患者データのコンピューター化、治療食、郡病院に対する研修などの、セタティラート病院における成果が、ラオス国の他病院で採用される。
- ラオス国内で診断・治療を受ける患者が増加する。
- 他の医療施設からの検査依頼が増加する。
- 周辺国の病院との技術交換が行われる。

(2) プロジェクト目標

セタティラート病院の医療サービスおよび研修機能が向上する。

(3) 成果

- セタティラート病院の臨床各部門の臨床技術と知識が向上する。
- セタティラート病院の検査部門の技術と知識が向上する。
- セタティラート病院の薬剤部門の技術と知識が向上する。
- セタティラート病院の看護部門の技能と知識が向上する。
- セタティラート病院の病院管理部門の機能が向上する。

- 6) セタティラート病院の院内設備・機器が必要なときに使用可能な状態に維持される。
- 7) セタティラート病院の病院食提供サービスが改善される。
- 8) 医師の卒後研修機能が向上する。
- 9) 地域病院（ヴィエンチャン特別市各郡病院および周辺2県の中心郡病院）と、セタティラート病院との間のリファラルシステムが改善される。

(4) 投入（評価時点）

日本側：

長期専門家派遣 延べ15名 機材供与 約146,000千円
 短期専門家派遣 延べ31名 ローカルコスト負担 約30,000千円
 研修員受入れ 18名

相手国側：

カウンターパート配置 延べ約120名
 土地・施設提供 病院敷地と建物 ローカルコスト負担 約6,800US\$

2. 評価調査団の概要

調査者	団長／総括	橋爪 章	独立行政法人国際協力機構 人間開発部 技術審議役
	医療一般	西巻 正	琉球大学 医学部 器官病態医科学講座 病態消化器外科学 教授
	地域医療	中野 博行	聖マリア病院 国際協力部 小児科 保健医療協力部長
	評価分析	松本 彰	(株) タック・インターナショナル コンサルティング部 部長
	計画評価	勝野 優子	独立行政法人国際協力機構 人間開発部 第三グループ保健人材育成チーム 職員
調査期間	2004年5月29日～2004年6月13日		評価種類：終了時評価

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

プロジェクトによって臨床技術の移転が行われ、また病院の運営管理能力や研修機能の向上が図られたことにより、セタティラート病院はラオス国の総合病院として確立されつつある。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性

- ・本プロジェクトは、ラオス国の国家計画やセタティラート病院の目標に合致したものである。また、本協力内容はセタティラート病院の外来・入院患者の増加というニーズに合ったものといえる。

(2) 有効性

- ・合同評価調査団によって、9つの各活動の成果について、A, B, Cの3段階評価を行ったが、その結果は次のとおりである。「1. 臨床部門」「2. 検査部門」「3. 薬剤部門」「6. 設備・機器維持」がA評価、「4. 看護部門」「5. 病院管理部門」「9. リファラルシステム」がB評価、「7. 病院食提供」および「8. 卒後研修機能」がC評価であった。

プロジェクト目標および成果の設定は、一部の活動を除きほぼ適切であり、プロジェクト成果および目標は成功裏に達成される見通しである。

(A=指標の妥当性は概ね高く、かつ活動成果としての総合評価もかなり高い。B=指標の妥当性は概ね高いものの、実際の活動成果としての達成度はまだ十分でない、あるいは満足の

いく結果ではない。C＝指標の妥当性はかなり低く、活動成果の達成も不十分である。)

(3) 効率性

1) 人材投入の効率性

- ・専門家の派遣では、一部、短期専門家の派遣において、計画の変更や派遣の決定の遅れ、あるいは期間短縮など、活動を妨げる要因があったものの、全体としては効率的な派遣であり、指導も適切、丁寧であったと判断される。

2) 機材投入の効率性

- ・どの機材も長期専門家による助言やカウンターパート（C/P）など、ラオス国側のキャパシティを正確に判断したうえで投入されており、適切な投入がなされたと判断される。

3) 資金投入の効率性

- ・プロジェクト運営、効果発現のために妥当な予算規模の投入であると判断される。また本プロジェクトでは、当初からコストシェアリングの考えをラオス国側に浸透させており、そのための予算確保や歳入の増加をセタティラート病院側も行っており、その面でも効率的な運営であった。

4) 研修投入の効率性

- ・研修員は延べ18名を受け入れたが、研修後もセタティラート病院に継続して勤務している。本邦研修によって、技術向上のみならず、患者に対する姿勢や医師としてのあり方を学ぶことができた。また、研修員は帰国後、同じセクションのスタッフに学んだことを教え、セクション全体で共有するなど、研修の成果が活かされている。

(4) インパクト

- ・セタティラート病院が病院関係者をはじめ、患者や一般市民から、最新医療機材を整えた、ラオス国で誇るべき病院との評判を得たことが大きなインパクトである。
- ・本プロジェクトの実施によって、他の病院分の政府予算が削られるといった状況を作り出していない点は評価できる。
- ・国内で治療を受ける患者の総数などのデータは把握できないものの、特にCTスキャナなどの検査のため、タイに流れていた患者がセタティラート病院で同検査を受けるようになるなど、プロジェクト実施による変化がかなり見られる。
- ・検査部門は他病院や民間企業からの受注・委託が増大し、ヴィエンチャン特別市におけるリファレンスセンターとしての機能を持ちつつある。
- ・郡病院スタッフへの継続的な研修は効果が高く、リファラル強化の一つのモデルとなった。
- ・看護部門の二交代制もまだ定着の途上ではあるが、近代的病院としての標準を示すことができた。
- ・病院を訪れる数多い患者を効率的に診察できる病院体制が、ある程度整いつつある。

(5) 自立発展性

1) 組織・制度・政策面

- ・同病院はラオス国の三大病院の一つであり、ヴィエンチャン特別市の中核病院としての機能は継続されると判断される。また、ラオス国政府の政策的な支援も継続されると思われる。
- ・人材としては、かなり高い能力を持つスタッフはいるが、技術力でトップレベルのスタッフと、将来を担う若いスタッフとのギャップを埋めるには時間がかかると思われる。
- ・本プロジェクトの実施によって病院機能が強化されたなかで、今後、「大学病院」という新

たな機能が正式に加わることで、従来の「一般病院」としての機能が損なわれるのではな
いかとの懸念は残る。今後も病院機能の強化を継続させるとともに、新たな機能を十分に
担えるよう、人材を育成することが重要である。

2) 財務面

- ・コストシェアリングの意識がかなり徹底していることや、リボルビングファンドの創設な
どから、「自立」への道を歩んでいると判断できる。ただし、今後どのようにセタティラー
ト病院が財務管理を行っていくことができるのか、その構想をさらに明確にしていける必要
がある。

3) 技術面

- ・診断能力をはじめ、C/Pの能力は相対的にかなり高く、自立発展の可能性は高い。
- ・放射線科のCTスキャナをはじめ、高度で高額な精密機器については、メンテナンス会社と
契約して維持管理体制が整っていることから、メンテナンスについての障害はないと思わ
れる。
- ・C/Pの離職状況は本プロジェクト中、進学・異動を除きほとんどなく、定着率は高いこと
から、今後も引き続き安定的な人事管理が行われるものと予想される。

3-3 効果発現に貢献した要因

- ・プロジェクトでは無償資金協力による新病院建設が並行して行われたことから、新病院での新
たな体制整備を、プロジェクトが当初から支援できたことは最良のタイミングであったと思わ
れる。
- ・タイやベトナムの病院との技術交流が始まったが、これら周辺国での研修は、日本での研修に
比して費用を抑えることができ、また日本人専門家の派遣でもカバーされない部門や技術に関
しての研修も実施できたことから、言語のみならず、技術・予算面からも研修場所として適切
であった。

3-4 問題点および問題を惹起した要因

- ・一部の機材の調達に時間を要し、機材の納入時期に合わせ、プロジェクトの活動を一部計画を
変更して実施することとなった。

3-5 結 論

評価調査および日本・ラオス国間での協議の結果、プロジェクト実施期間中に当初の目標を達
成するとの結論に至った。本プロジェクトの成果として、まず何よりラオス国において、セタ
ティラート病院の評判が高まったことが挙げられる。いくつかの活動領域においては、まだ十分で
はなく、プロジェクト終了まで継続して行う必要がある領域があるものの、C/Pはほぼ必要な技
術と知識を習得し、同病院の医療サービスと研修機能は向上した。本プロジェクトの実施によっ
て、技術面および財政面で基礎を築きあげたが、組織面では、教育病院やリファラル病院とし
ての機能を、今後より向上させていく必要がある。

3-6 提 言

調査団から以下5点の提言を行った。

- (1) 看護の二交代制導入により、若手看護師へのOn the Job Training (OJT) を行う環境が整った。
2004年7月に国内研修修了予定の6名の看護師をはじめ、シニアの看護師が中心となり、若手
看護師へのOJTプログラムを策定すべきである。

- (2) 専門家による評価と指導を重ねたことにより、病院管理は改善されつつあるが、管理部門は人材不足であり、病院管理スタッフを増やすべきである。プロジェクト終了後は、この4月に導入された定期点検シートのような自己評価体制を整える必要がある。
- (3) 病院食提供サービスは外部要因により改善されなかった。このため、このサービスに代わり食事指導体制を充実すべきである。
- (4) 医師の卒後研修を体系的に行うことができなかった。医師の卒後研修は「教育」病院としてのセタティラート病院の基本的な要素である。そのため、その前提条件としてまず患者データを記録し、データの利用を容易にすることが必要である。
- (5) 郡病院から紹介された患者の診断・治療方針を、紹介元へフィードバックすることは重要である。そのため、紹介状への返答率が低かった原因を追究し、改善すべきである。

3-7 教 訓

- (1) 周辺国での研修を含む技術協力はプロジェクトの活動に有効であった。
- (2) 英語学習は技術移転を円滑に実施するためのコミュニケーション能力を高めるのに効果的であった。
- (3) モニタリングシートはプロジェクト活動を円滑に進めるうえで効果的であったが、状況の変化に合わせて、あるいは専門家およびC/Pが容易に利用できるよう、柔軟な改変を行うべきである。
- (4) プロジェクト活動を通じ、セタティラート病院と琉球大学とのパートナーシップが強まった。この関係を深めることは、セタティラート病院にとって大学病院化をめざすうえで意味深いことである。

第1章 終了時評価調査の概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

セタティラート病院は、病床数175床、医師数75名の総合病院で、ラオス人民民主共和国（以下、「ラオス国」と記す）北部地域における中核的医療機関であり、かつ医科大学生の臨床教育、医師の卒後教育を担う医育機関である。

同国では、感染症などの急性疾患等の頻度がとりわけ高く、またこれらを救命できないために高い死亡率を招く結果となっている。このため、同病院において救命可能疾患に関する治療技術の移転が望まれるとともに、数多い患者を効率的に診療する病院運営管理能力の向上が求められている。

ラオス国政府は以上の状況を改善するため、当病院の各診療科の充実を図り、医療水準と卒後研修機能等のレベルアップを実現し、もってラオス国全体の医療水準の底上げを図るべく、我が国に対し技術協力を要請した。これを踏まえ、1999年10月からセタティラート病院改善プロジェクトを実施し、また1999年11月から2000年11月にかけて、無償資金協力による新病院建設も行われた。

このたび、プロジェクト開始から5年目を迎え、プロジェクト終了まで残り半年足らずとなるにあたり、これまでの活動実績・実施プロセスを確認し、プロジェクト終了後に向けての提言を行うため、終了時評価調査団を派遣することとした。

1-2 調査団の構成

氏 名	担当分野	所 属	派遣期間
橋爪 章	団長・総括	JICA人間開発部 技術審議役	2004. 6. 6－6. 13
西巻 正	医療一般	琉球大学医学部 器官病態医科学講座 病態 消化器外科学 教授	2004. 6. 6－6. 13
中野 博行	地域医療	聖マリア病院 国際協力部小児科保健医療 協力部 部長	2004. 6. 6－6. 13
勝野 優子	計画評価	JICA人間開発部 第三グループ保健人材育 成チーム 職員	2004. 6. 6－6. 13
松本 彰	評価分析	株式会社タックインターナショナル コン サルティング部 部長	2004. 5. 29－6. 13

1-3 調査日程

日順	月 日	曜日	移動および業務
1	5月29日	土	15:30 松本団員成田発 20:30 松本団員バンコク着
2	5月30日	日	9:30 松本団員ヴィエンチャン着 14:30 セタティラート病院視察 15:30 専門家との打合せ
3	5月31日	月	9:00 セタティラート病院長表敬および協議 10:30 専門家との打合せおよびインタビュー 14:00 JICAラオス事務所との打合せ 16:30 専門家インタビュー
4	6月1日	火	9:30 C/Pインタビュー 12:00 専門家インタビュー 13:00 C/Pインタビュー 16:30 専門家インタビュー
5	6月2日	水	終日 C/Pインタビュー
6	6月3日	木	8:00 C/Pインタビュー 10:30 評価ワークショップ 13:00 副病院長インタビュー 14:50 院内視察 15:30 研修受講者電話インタビュー（郡病院）
7	6月4日	金	9:30 院内視察 10:30 病院情報システム（HIS）セミナー出席 PM 評価結果とりまとめ 17:30 プロジェクトとの打合せ 19:00 JICAラオス事務所訪問
8	6月5日	土	10:00 専門家との協議 PM 評価結果とりまとめ、評価「有効性」作成
9	6月6日	日	15:30 橋爪団長、中野団員、勝野団員成田発 PM 西巻団員那覇発 20:30 橋爪団長、中野団員、勝野団員バンコク着 23:00 西巻団員バンコク着 終日 松本団員評価項目「有効性」作成
10	6月7日	月	8:30 橋爪団長、中野団員、西巻団員、勝野団員バンコク発 9:30 橋爪団長、中野団員、西巻団員、勝野団員ヴィエンチャン着 11:00 専門家打合せ 13:30 JICAラオス事務所打合せ 16:00 在ラオス日本大使館表敬 17:45 団内打合せ
11	6月8日	火	8:30 ヴィエンチャン特別市保健局表敬 9:50 保健省表敬 10:50 セタティラート病院長表敬 11:30 院内視察 14:00 専門家との協議
12	6月9日	水	8:30 団内協議 11:20 専門家との協議 14:30 C/Pとの協議
13	6月10日	木	9:00 合同調整委員会 15:30 橋爪団長、中野団員、西巻団員国立大学医学部視察 17:00 橋爪団長、勝野団員、JICAラオス事務所との打合せ
14	6月11日	金	11:30 ミニッツ署名 14:00 JICAラオス事務所報告
15	6月12日	土	10:30 ヴィエンチャン発 11:30 バンコク着 23:00 橋爪団長、中野団員、勝野団員、松本団員バンコク発 23:50 西巻団員バンコク発
16	6月13日	日	7:00 橋爪団長、中野団員、勝野団員、松本団員成田着 PM 西巻団員那覇着

1-4 主要面談者

(1) ラオス側

1) 保健省

Dr. Ponmek DALALOY	Minister
Ms. Chanthanom MANODHAM	Director of Cabinet
Dr. Nao BOUTTA	Deputy Director of Cabinet

2) ヱィエンチャン特別市保健局

Dr. Inlavanh KEOBOUNPHAN	Director
Dr. Khamtann BOUAPHAYVANH	Deputy Director

3) セタティラート病院

Dr. SomOck KINGSADA	Director
Dr. Khampe PHONGSAVATH	Deputy Director
Dr. Thongdy LUANGXAY	Chief of General Affairs Section
Dr. Phan DAVONG	Chief of Personnel Section
Dr. Oukeo KHOUNTHALYVONG	Chief of Research Section

(2) 日本側

1) 在ラオス日本大使館

橋本 逸男	特命全権大使
能見 智人	二等書記官

2) JICAラオス事務所

西脇 英隆	所 長
池田 修一	次 長
衣斐 友美	所 員

3) プロジェクト専門家

奥田 佳朗	チーフアドバイザー
高橋 武彦	業務調整
野崎 宏幸	医療一般
岩田 和子	看 護
竹島 義隆	外 科

1-5 対象プロジェクトの概要

(1) 上位目標

- 1) カルテシステム、患者データのコンピューター化、治療食、郡病院に対する研修などのセタティラート病院における成果がラオス国の他病院で採用される。
- 2) ラオス国内で診断・治療を受ける患者が増加する。
- 3) 他の医療施設からの検査依頼が増加する。
- 4) 周辺国の病院との技術交換が行われる。

(2) プロジェクト目標

セタティラート病院の医療サービスおよび研修機能が向上する。

(3) 成 果

- 1) セタティラート病院の臨床各部門の臨床技術と知識が向上する。
- 2) セタティラート病院の検査部門の技術と知識が向上する。
- 3) セタティラート病院の薬剤部門の技術と知識が向上する。
- 4) セタティラート病院の看護部門の技能と知識が向上する。
- 5) セタティラート病院の病院管理部門の機能が向上する。
- 6) セタティラート病院の院内設備・機器が必要なときに使用可能な状態に維持される。
- 7) セタティラート病院の病院食提供サービスが改善される。
- 8) 医師の卒後研修機能が向上する。
- 9) 地域病院（ヴィエンチャン特別市各郡病院および周辺 2 県の中心郡病院）と、セタティラート病院との間のリファラルシステムが改善される。

(4) 活 動

- 1) 適切な診断治療法の導入・マニュアルの作成・研修の実施・報告システムの設立
- 2) 基本的な病院運営分野の強化（病院管理、看護ほか）
- 3) 重点診療科目の強化（小児科、産婦人科ほか）
- 4) 診療科目の強化（臨床検査、放射線科）
- 5) その他の診療協力分野の強化（薬剤管理、栄養・病院食、機材保守）
- 6) リファレンスシステムの強化（PMCマニュアル作成、PMC活動実施、PMCセミナー開催）
- 7) 卒後研修計画策定、実施

第2章 終了時評価の方法

2-1 評価調査メンバー

日本側は評価調査団5名、ラオス国側は「合同調整委員会」のメンバーから成る。日本・ラオス国双方の合同評価とし、調査途中、評価ワークショップを1日開催した。特に今回の調査では、評価5項目のうち、「インパクト」と「自立発展性」について、ラオス国側より自己評価の結果を発表してもらい、その結果を参加者全員で協議するなど、参加型の手法を用いた。ラオス国側のメンバー名は、付属資料2. 合同評価報告書のANNEX 4（第6回合同調整委員会出席者リスト）に記載のとおり。

2-2 評価手法

本終了時評価は、JPCM手法に基づいて行われた。JPCM手法による評価とは、プロジェクト運営管理のための要約表であるPDM（プロジェクト・デザイン・マトリックス）を用い、協力開始時から評価調査時点までの投入、活動実績を踏まえたうえで、以下の評価5項目（有効性、妥当性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から行う多面的評価である。

有効性 (Effectiveness)	プロジェクトの「成果」が、どの程度達成されているか、およびそれが「プロジェクト目標」の達成にどの程度結びついているかを分析・評価する。
妥当性 (Relevance)	評価時においても、プロジェクトの目標が、ラオス国側の政策および受益者のニーズ等に合致しているか、計画内容は妥当であるかを分析・評価する。
効率性 (Efficiency)	プロジェクトの「投入」から生み出される「成果」の程度を把握し、手段、方法、期間、費用の適切度を分析・評価する。
インパクト (Impact)	プロジェクトの実施によりもたらされる、長期的・間接的効果や波及効果など、プラス・マイナスの影響について分析・評価する。
自立発展性 (Sustainability)	協力が終了した後、プロジェクトによりもたらされた成果が持続・拡大され得るかどうかを把握し、実施機関の自立度を運営管理面、財務面、技術面その他の観点から分析・評価する。

2-3 PDM

通常、JPCM手法を用いて評価を行う場合には、プロジェクト実施時に作成されたPDMなど計画文書に示された計画内容とプロジェクト終了時の実績との比較が評価の出発点となることから、プロジェクトの開始時点から同手法に基づいてPDMが作成され、活用されていることが前提となる。本プロジェクトにおいては、1998年4月から5月にかけて実施された短期調査時に作成され、1998年12月に締結されたR/Dで日本・ラオス国双方の合致をみている。また、2002年7月の運営指導調査団（中間評価）によって、プロジェクトの現状により合致した指標を設定し、活動・成果をさらに具体的にすることで関係者の合意を得て、所要のPDMの修正が行われている。

終了時評価の際には、評価を行うに際してのツールとなるように、PDMを必要に応じて見直すものであるが、本プロジェクトの場合、中間評価調査の際にPDMが改善されてから以降、プロジェクトの内容に大きな変更がないこと、何よりカウンターパート（C/P）のPDM理解度が高く、モニタリングシートを採用し、精度の高い進捗管理を実施していたことから、PDM変更は行わず、

終了時用のPDMとして活用することとした。

2-4 評価調査に用いた方法（情報・データ収集方法）

本終了時評価では、プロジェクト関係の各種報告書の分析、一連の現場調査や視察、プロジェクト関係者への聞き取り、関係機関との協議等を用いて、評価調査を実施した。

(1) プロジェクト関係書類の収集・検討（文献レビュー）

評価を行うにあたり、調査前および調査中に以下の資料を収集し、プロジェクトの概要を把握、その背景を整理するとともに、プロジェクトの進捗状況を再点検し、プロジェクトの抱える問題点や課題を検討した。参考資料および報告書類は主に以下のとおり。

- ・事前調査団報告書（平成9年10月）
- ・実施協議調査団報告書（平成11年3月）
- ・運営指導調査団報告書（平成12年4月）
- ・運営指導調査団報告書（平成13年4月）
- ・運営指導調査団（中間評価）報告書（平成14年7月）
- ・プロジェクト案件概要表
- ・対処方針資料（国内委員会および各省会議資料）
- ・プロジェクト進捗報告書
- ・プロジェクト・モニタリングシート
- ・会計検査用資料（2004年5月実施）
- ・プロジェクト側が作成した資料（病院入院患者数・病床稼働数一覧、X線検査実施状況、看護体制、病院組織系統図、患者満足度調査結果、薬品収録品目表、看護マニュアル、勉強会資料、住民教育プロモーション用ビデオ、その他マニュアルやパンフレットなど）

(2) 現場視察

セタティラート病院内の視察をはじめ、保健省、ヴィエンチャン特別市保健局、国立大学医学部を表敬訪問し、質疑応答を行った。

(3) 評価グリッド

評価グリッドは、評価5項目に従って整理、分析し、各調査団員からの助言をもとに改訂し、現地調査にて確認、あるいはヒアリングを実施した。

(4) プロジェクト関係者との面談、インタビュー、協議

日本人専門家とは、評価グリッドをもとに様々な角度から確認や質疑応答を行い、また意見交換や協議を行った。さらに、病院内のC/Pや研修受講生をはじめ、相手国関係者にもインタビューや質疑応答、協議を行った（なお、郡病院の研修受講生に対しては電話インタビューを実施）。一方、実施プロセスや過去の経緯を把握し、かつ客観的評価を聞くうえで、当プロジェクトに関係した専門家やJICA事務所にもインタビューを行った。

(5) 評価の流れ

評価の形としては、評価5項目に沿って、まず日本側評価調査団5名によって当該計画の評価を行った。セタティラート病院とは、本評価調査のとりまとめのため、C/Pを中心に評価ワークショップを開催し、評価手法の説明をはじめ、プロジェクトの評価、さらには将来の展望についての意見交換を行った。その後も、ラオス国側からのコメントを得つつ、評価ドラフト案を作成し、最終的に合同調査委員会の場で調査結果についての説明を行い、質疑応答を経てとりまとめた。

第3章 調査結果

3-1 プロジェクトの実績

調査を実施した2004年6月時点での投入は以下のとおりである。詳細は合同評価レポート（付属資料2. Annex 3）を参照されたい。

(1) 日本側

専門家派遣

長期専門家 15名

短期専門家 31名

本邦カウンターパート研修 18名

機材供与（2003年度まで） 約146,000千円

現地業務費 約30,000千円

(2) ラオス国側

カウンターパートの配置 120名

土地・施設の提供

ローカルコスト負担 約6,800US\$

3-2 調査要約および団長総括

無償資金協力により2000年11月完工の新病院における医療サービスと研修機能の向上を目的として、移転1年前の1999年10月より開始された本プロジェクトが5年間の技術協力期間の終了を迎えるにあたり、本調査団は、中間評価時（2002年7月）に設定した達成度評価指標に即し、C/Pとともに合同評価を行った。その結果、プロジェクト成果の多くは高い達成度を認めることができ、プロジェクト目標もほぼ達成できているものと判断することができたが、残念ながらいくつかの成果については厳しい評価を下さざるを得ず、それらの改善については、今後のセタティラート病院の自立発展のため、残り期間になすべきことを提言としてまとめた。

セタティラート病院の臨床各部門、検査部門、薬剤部門の技術と知識については高い達成度であったが、看護部門については看護記録の評価などの評価指標について達成度が低かった。他の部門と異なり看護部門は、投入専門家の数に比して技術移転すべき職員の人数が多数に及ぶ。達成度が低かった理由は、C/P看護師が他の同僚職員に技術と知識を伝達する体制が弱かったためであろう。看護師の技術と知識はOJTによって伝達されるべきものであるが、看護部門においては、ラオス国内の他の病院と同様、24時間働いて48時間休むという勤務体制がプロジェクト開始当初より続いていたため、OJT体制を整えることには無理があった。プロジェクトでは、中間評価時の提言を受け、ラオス国内で初めて、全病院的な二交代制の導入に踏み切ることができた。ようやく、OJTを行いうる環境が整ったところである。プロジェクト残り期間においてOJTプログラムの策定が望まれるところであるが、OJTの効果的な実現のためには中堅看護師層が充実していることが必要条件である。7月に高等教育機関での国内研修を終了して、8月にセタティラート病院へ帰任する予定の6名の中堅看護師を核としてOJTプログラムを策定し、実施状況をモニターすることが期待される。OJTプログラムの効果的運用は、将来的にセタティラート病院が

看護教育の実習病院として機能するためにも必須のことである。本プロジェクトは9月末に終了を迎えるため、OJTプログラムの実施状況をモニターし、専門家による適切な助言を与えるためには、プロジェクト終了後も、数か月のフォローアップが必要である。

病院管理部門については、事務職員数の少なさが円滑な病院運営の妨げになることを指摘した。プロジェクト期間中は、日本人専門家という第三者によるチェックと指導があったために比較的良好な病院運営ができていたということもできるが、プロジェクト終了後は第三者によるチェック体制がなくなる以上、自己評価・改善体制を充実させることが肝要である。この4月に導入された、機材管理の定期点検シートを参考にするよう提言した。

病院食提供サービスは、ラオス国に病院給食の習慣がないこと、入院患者へは付き添い家族が廉価な食事を運んでくること、などの文化習慣的要因と、病院食提供サービスに予算がつかなかったことなどの外部要因により、プロジェクト開始当初の特別食メニューの作成などの努力にもかかわらず、実現することはできなかった。しかしながら、糖尿病や腎臓疾患など、食事に特別の配慮を必要とする患者が存在することを病院として失念することは許されないため、代替に、食事指導体制を充実すべきことを提言した。

医師の卒後研修体制については、臨床の部門ごとには散発的に行われているものの、体系的には行われていなかった。したがって、病院活動として卒後研修活動をモニターすることができなかったことから、厳しい評価となった。大学病院化構想があるなか、セタティラート病院が政府の期待に応える病院となるためには、最も改善が要求される事項である。医師の卒後研修が軌道に乗りにくい要因の一つとして、指導者層が薄いという現実がある。この現実を踏まえると、指導医師が日常的には不在がちであっても、自律的に若い医師が臨床現場において学習できる環境を整備することが重要となる。カルテ等に記載された患者の病歴、臨床経過、検査情報、診断結果等々の情報と照らして目の患者を診療することで、医師は患者から多くを学ぶことができる。また、退院患者についても、退院時サマリーの記載の習慣があれば、患者カルテを教科書として多くを学ぶことができるはずである。セタティラート病院においては、退院時サマリーをはじめ患者データの記録が習慣化していないようであったため、患者データの記録と、患者データへの容易なアクセスが教育病院となるための前提条件であることを強調して提言とした。

セタティラート病院は、リファラル病院として機能することも期待されている病院である。下位病院からもリファラル病院として認識され紹介患者比率が高まることで、患者構成が多様化し、教育病院としての環境が整うことになる。しかしながら、下位病院からの患者紹介に対し、紹介状への返答が習慣化されていないことが明らかとなった。紹介元病院からすれば、紹介患者のその後がどうなったかわからないようでは、次回以降の紹介の意欲を削いでしまうことになりかねず、紹介元への診断・治療方針のフィードバックは、リファラル病院としての地歩を築くための第一歩として最低限行うべきことである。紹介状への返答がプロジェクト活動の一つとして位置づけていたにもかかわらず、結果として返答率が低かったことについて、原因を明らかにしたうえで改善すべきことを提言した。

セタティラート病院は、大学病院、看護教育病院として発展させていく方向性が、政府要人等関係者の口々から語られているところであり、この5年間のプロジェクト活動を通じ、それだけの期待を関係者に抱かせるに足る成果（臨床技術、看護体制等）をあげてきたことも事実であろう。しかしながら、実際に大学病院、看護教育病院として機能させるためには、まだまだ取り組むべき課題は多い。ラオス国の保健医療の発展のためには、適切な医学教育病院、看護教育病院

が必要であることは間違いないので、大学病院、看護教育病院としてセタティラート病院が発展していくことは望ましい方向性である。そのために整えておくべき最低条件として、いくつかの提言を行ったところであり、プロジェクト残り期間においてこれらの提言が実行に移されることを強く期待するものである。

3-3 医療一般の観点からの調査結果

セタティラート病院は、病床数175床と小規模ながら、救急病院の機能も備えた近代病院としての体制が整備されている。院内にはCTスキャナ等の最新医療機器が配備され、ICUも設置されているなどラオス国の基幹病院としての機能を果たしつつある。また、院内は採光、照明の工夫により明るく、患者やその家族が快適に治療を受けられるような空間設計となっている点もよい印象を与えている。受診患者数は年々増加傾向にあり、ラオス国における中心病院として認知されつつあるといえる。

(1) 病院管理・薬剤業務

診療録の中央管理がなされている点、病院経営状況の透明性が図られている点は高く評価できる。一方、これまでに患者情報をコンピューターで一元管理するシステムの導入が図られてきたが、まだ効率的に運用可能な水準には達していない点は問題を残している。また、郡病院からの紹介患者に対する返事の絶対数と発行率が依然として低いことも問題点として指摘される。

薬局は狭いスペースながら総合病院としての水準に達する薬剤の品目とストックを有し、よく整理されている。院内常備の薬品集が既に完成している点も評価できる。しかし、基幹病院としての活動が順調に増加すれば、今のままの狭い薬局のスペースではいずれ業務に不都合が生じると危惧される。

(2) 検査・診断部門

血液・生化学検査など一般検査の種類、精度は十分な水準に達しており、他病院からの検査依頼も増加している。タイ等の隣国での研修セミナー参加などにより、検査技術の向上を図ってきたことは高く評価される。通常のレントゲン撮影の技術、読影は全く問題がない水準であり、新たに導入されたCTスキャナもよく維持され運用されている。特に、頭部外傷などの救急診療において威力を発揮している。超音波診断に関しても満足すべき水準に達しており、カラードプラー検査は肝疾患、婦人科疾患の診断に有効に使われている。上部および下部消化管内視鏡検査も頻繁に行われ、診断技術も高い。

(3) 臨床診療科部門

各診療科の医師の診断・治療知識は確実に向上している。診療の質は最高の水準に達しているとは言い難いが、総合病院として機能できる水準にはある。しかし、各診療科の診断・治療レベルにはかなり差がみられるのも事実である。

(4) 看護・給食部門

従来の24時間看護体制を脱して、二交代制の看護体制が根付きつつあるのは評価できる。

しかし、看護師が本来担当すべき業務以外の雑役も多く強いられており、近代基幹病院としての看護体制はまだ十分には確立していない。今後、セタティラート病院の看護水準を維持し、さらに向上させるには看護師の意識改革とともに看護師教育の指導体制整備が望まれる。また、ラオス人特有の習慣などもあるが、病院給食体制が確立できなかった点は反省材料とすべきである。

(5) 教育病院機能

本プロジェクトの達成目標の一つに医師の卒後研修機能の向上があるが、研修カリキュラムに基づく系統的な教育は行われていなかった。しかし、個別的にはラオス大学医学部の学生を対象とした講義は、院内のカンファレンスルームで頻回に行われており、セタティラート病院において卒後臨床研修を行う素地はできている。

(6) 問題点と展望

本プロジェクトにより、セタティラート病院は病院設備だけでなく、体制も近代総合病院として整備されてきた。また、ラオス国の基幹病院として機能しつつある。しかし、個々の検査、診断、診療部門は一定の水準に達しているものの、患者情報の一元管理、診療記録の作成、各診療科の協力体制、症例検討会の開催による患者情報の共有と治療の効率化などは満足すべき水準に達しておらず、先進的医療のみならず若手医師、医学生教育の教育研修を期待されるセタティラート病院が今後達成すべき重要な課題であろう。

3-4 病院協力の観点からの調査結果

本プロジェクトはいわゆる「病院協力型プロジェクト」である。今回の終了時評価では、プロジェクトの目標達成に関する総合的検証の結果を踏まえ、病院協力型プロジェクトの観点から評価検討を行った。すなわち、先般我が国の協力により実施された、ラオス国の保健医療開発調査に基づく保健計画における、本プロジェクト活動の位置づけ、および国際協力における病院プロジェクトの一般的なあり方の視点から、評価調査を行ったものである。

(1) ラオス国の保健計画における本プロジェクトの位置づけ

ラオス保健省は、「疾病治療と健康回復」を6つの優先プログラムの一つに掲げ、“Master Plan of Improvement Hospitals in Years 2001-2005”において、病院機能の向上を取り上げている。そのなかで、病院の治療体系が標準化されていないこと、病院建物の老朽化や狭小であること、医療機材および専門医療従事者の不足などへの対応が最重要課題としている。このように、疾病治療を中心とした病院サービスの改善は、ラオス国の保健政策の重要課題の一つにあげられているが、セタティラート病院のような第三次病院の機能向上のみをターゲットにおいたものではなく、郡病院から第三次病院までを含むすべての病院サービスの改善を目指している。したがって、セタティラート病院の機能向上はラオス国の保健政策における重要課題の一つであるが、その役割はトップリファラルとして十分に機能することが求められているといえよう。

一方、ラオス国では2001年3月から2002年10月にかけて、我が国の技術協力の一環として保健医療分野の開発調査（保健医療マスタープラン調査）が実施された。その結果、保健医

療改善のために、13の全体基本戦略、49の優先プログラム（ミディウムリスト）および31の最優先プログラム（ショートリスト）が提案された。このうち、本プロジェクトのような第三次医療施設に関連するプログラムは、「3）保健医療人材の教育・訓練の質的改善、十分な教育・訓練を受けたこれら保健医療人材の郡およびヘルスセンター・レベルへの配置、および彼らの勤労意欲の向上」、および「7）中央病院、県病院の効率的運営の実施を継続すると同時に、これらの病院のサービスレベルを改善する」の2つの全体基本戦略に含まれる。また、本件プロジェクトに関連する個別（最）優先プログラムとして、3）の全体基本戦略では、「医学教育制度改革プログラム（HR-10）」が挙げられ、7）の全体基本戦略では、「基本的サービス水準を満たすための県病院、地域病院、中央病院改善プログラム（HS-5）」が提起されている。

つまり、セタティラート病院のような第三次病院に求められる主要な役割は、保健医療人材の育成とそれら人材の郡レベルへの配置であり、また病院の効率的運営による病院サービスレベルの向上であると考えられる。このような観点に基づいて、本プロジェクトがラオス国の全体的な保健計画の中で明確にその役割が位置づけられ、それに沿った有効な働きが行われてきたかどうか十分な検討が必要である。保健医療人材の育成については、本来医師はもちろんのこと、看護師やその他のコメディカル養成とレベルアップを意味するが、本プロジェクトでは病院内医師を中心とした比較的高度な診断技術の向上に焦点が当てられてきたという懸念がぬぐえない。もちろん、医師それぞれの臨床技術の向上は途上国といえども重要であり、それに対するサポートが不必要であるとはいえないが、臨床技術の向上が結果として患者サービスの改善に十分に寄与したかどうか重要であり、そのような患者サービス向上のシステムが病院機能として適切に構築されてきたかどうか問われなければならない。特に、指摘された主要課題の一つとして、病歴管理システムの欠如に示される、不十分な保健医療情報システムがあげられる。退院時サマリーが書かれない、病名が記載されない、手術記録が書かれない、紹介先に返事が書かれないといった状況は、内視鏡による病理診断がいかにか正確であろうとも、またCTスキャナで頭蓋内病変の診断ができたとしても、医師としてのあるべき姿とはほど遠いと思われる。途上国としては比較的高度な診断技術と途上国であっても必要とされる基本的な医師の姿勢のあいだを埋めるソフトコンポーネントの作業が人材育成における技術協力に強く求められているのではないだろうか。

病院の効率的運営については、人材、財務、施設・資機材、情報のそれぞれの分野について、効率的活用を中心としたマネジメントの改善が重要である。人材面では、看護師の二交代制に伴う患者サービスの改善が期待されるが、サービス内容の向上のためにin-service trainingのシステムを構築する必要がある。また、財務管理の実態は明らかでないが、財政的な自立発展性は確保される見込みといわれている。しかしながら、“セタティラート家族病院”と揶揄されているように、無料入院、無料検査など職員家族の便宜・優遇からくる財政面での圧迫の事態はequityの面からも改善される必要があるだろう。施設・資機材の運営管理は円滑に進んでいる一方、医事情報管理システムは十分に機能してはいない。

このほか、開発調査の結果では、第三次病院の役割としてではなく一般的な形で「医学教育制度改革プログラム（HR-10）」を医師の人材育成に関する最優先プログラムとしてあげている。医師の人材育成は基本的に国立大学医学部の役割であるが、付属病院をもたない同大学では、卒業前および卒業後の臨床研修は、セタティラート病院を含むヴィエンチャン特別

市にある3つの総合病院で行う必要がある。本プロジェクトにおいても、医師の卒後研修は実施項目にあげられており、断片的、部分的に県病院の医師を含めた形で研修が実施されてきたが、組織的かつ体系的には行われてこなかった。研修システムの確立とその実施には、研修カリキュラムの策定、ティーチングスタッフの養成と動員、研修実施のためのインフラ整備など大がかりな作業が必要であり、それらの条件が整わない現在のセタティラート病院において研修の実施は困難である。したがって、本プロジェクトの活動項目の一つにあげられた医師の卒業後研修の組織的・体系的な実施については、これらの活動が十分に行われなかったことが問題ではなく、むしろプロジェクト活動目標として設定する際の正確な状況分析がいかに重要であるかを示すものといえよう。

(2) 国際協力における病院プロジェクトのあり方

途上国では、今なおプライマリ・ヘルスケア（PHC）の実践が中心課題であるが、近年、疾病構造の変化や疾病治療へのかかわりの度合いが増し、途上国の病院機能に新たな役割が求められている。吉武らによると¹、PHCと連携し、住民へのヘルスサービスの向上をめざしたより裨益性の高い方針を打ち立てるために、国際協力における病院協力のあり方について11の原則が提示されている。以下、本件プロジェクトの対象であるセタティラート病院への協力がこれらの原則とどのような関係にあるかについて検討を行った。

1) 途上国側で取るべき措置

原則1：病院協力を行う前提として、住民が一次保健医療サービスを受けられる状態にある。

一次保健医療サービスへのアクセスが保証されていないところで病院が建設されても、その病院へアクセスできる住民は限られている。セタティラート病院はヴィエンチャン特別市内にあって、周辺に一次保健医療施設が十分に存在するため、この原則はクリアされる。しかしながら、セタティラート病院がトプリファラルとして十分に機能しているかどうか、逆に第一次保健医療機関として多くの住民に利用されていないかどうか、また地域医療システムの中で住民のニーズに見合った役割を果たしているかどうか等については資料がないため評価が困難である。

原則2：国家保健医療政策が、協力対象病院の国レベルまたは地域レベルの保健向上に果たす役割を明確に規定している。

協力対象病院の国家保健政策上の位置づけが明確でないところで、その機能向上を図っても、地域住民への貢献の度合いがはっきりしない。また、病院の役割を明確にするにあたっては、病院もヘルスシステムを構成する一部であることを明確に意識されなければならない。そのシステムは予防、健康増進、治療、社会復帰を包括的に含むものでなければならない。セタティラート病院は、保健医療政策の中で当該地域のregional hospitalとしての位置づけが明確に規定されているが、リファラルシステムは確立されていない。また、病

¹ 吉武克宏、新崎康博、金川修造：国際協力における病院協力の基本原則に関する一考察、「国際協力研究」、第14巻（第2号）、33-41頁、1998年

院の役割はもっぱら疾病治療であり、予防、健康増進、社会復帰のコンポーネントにはほとんど貢献していないといえる。

原則3：対象病院の機能向上に見合う予算が確保されている必要がある。

外国からの支援を受けるにしても、対象病院はあくまでも相手国の責任で運用され維持されていくべきものであり、相手国としては相応の予算的措置は必須である。外国からの支援から抜け出せないような協力は、かえって相手側の自立発展を阻害することになる。セタティラート病院の財務管理の実態は明らかでないが、現在のところ大きな問題は浮かび上がっていないと言われ、当面財政的な自立発展は十分可能と考えられている。ただし、CTスキャナのような高額医療機材が比較的多く導入されているにもかかわらず、それらの減価償却が行われていないため、将来機材の劣化や故障が重なるとその対応が大きな課題になると予想される。

原則4：対象病院が技術協力を受け入れるための体制を整えている。

日本側からの協力を得て一定の目標を達成するプロジェクトには、そのための組織構成がしっかりしていなければならない。つまり、技術協力を受ける人的な対応の必要性である。この点に関し、セタティラート病院側は十分に対応しており、プロジェクトの総責任者、技術協力を受ける部門の責任者、技術協力の直接の対象者らが明確に決められている。また、協力が円滑かつ効果的に行われることについて政府レベルにも責任があることが明確にされている。

2) ドナー側が取るべき措置

原則5：日本側の協力体制が相手側のニーズに応えるものでなければならない。

協力する側が技術協力を行うにあたって、人的、予算的さらに内容的に相手側のニーズに十分対応できるものでなければならない。相手側のニーズを無視して協力する側の都合を押しつけてはならない。この点については、本件プロジェクトにおいて一部の分野で専門家派遣の投入が十分でない面もみられたが、概して対応は十分であったといえる。

3) 双方が取るべき措置

原則6：病院協力を具体的に患者へのサービス向上を目指したものとする。

病院の機能向上がいかに患者へのサービス向上（治療成績の向上、入院期間の短縮、患者の満足度の向上、地域住民の保健状態の向上など）に役立つかが重要である。病院への協力が必ずしも患者へのサービス向上に役立たないことがある。施設の新築や機材更新や新規購入の結果、喜んだのは施設関係者だけで、それが患者へのサービス向上に何ら貢献しないようでは協力の意味がない。本件プロジェクトでは患者満足度調査で一定の評価が得られており、技術協力がある程度患者サービスの向上につながっていることは否定できないが、実際に治療成績がどれだけ向上したかなど病院の診療パフォーマンスを評価することは困難である。また、セタティラート病院は地域医療とのかかわりが十分でないため、地域住民の保健状態の向上については明らかでない。

原則7：移転すべき技術は、相手側にとって適正なものを選ぶ。

適正技術とは、目的に対しそれが用いられる場において効果的であり、経費に比べてその効果が大きく、実地的で汎用性に富み、科学的に実証されている技術である。途上国ではしばしば、欧米の留学経験者や欧米志向の医師が先進国の医療技術を性急に取り入れたいと考えるあまり、その国にとって効果の面で、また経費の面で適正でない技術協力を要請することがある。セタティラート病院では、途上国としては比較的高度と思われる診断機材が導入され技術協力が行われてきたが、それらが適正レベルであるかどうかについて十分な検討が必要である。同時に、移転された技術が患者サービスの向上に結びつくことが重要である。

原則8：病院が効果的に機能するには病院管理能力の向上が重要であるという認識をもつ。

病院が十分な機能を発揮するには、病院内の様々な分野を有機的に結びつけ、各分野が共同して効率的かつ効果的な機能を発揮できるような組織的運営が必要である。病院管理部門の業務には、人事管理（職員配置状況、勤務状況、業務実績、給与支払い）、物品・機器・機材管理（検収、在庫管理、棚卸し、保守・安全管理）、医事管理・財務管理（月別損益計算書、貸借対照表、未収金管理、予算請求・確保）および病歴管理・患者統計・情報管理（病歴管理、患者統計管理、情報管理、情報ネットワーク管理）がある。このうち、セタティラート病院では物品・機器・機材管理システムが比較的良好に機能しているが、病歴管理・患者統計・情報管理については手がつけられていない状況である。

原則9：協力対象病院の機能の一部として、PHCにかかわる部門を確立して、国レベルまたは地域レベルでの疾患予防や保健推進に積極的な役割をめざす。

病院はPHCを強化する働きをその機能の一部として持つべきである。すなわち、一次保健医療施設での疾患別診療のスタンダード化、適正なリファラルシステムの確立、各レベルの保健医療スタッフの研修、保健医療情報の整備と適正利用、各種保健医療機関との連携、地域保健医療サービスの評価など病院として果たすべき部分は大きい。セタティラート病院では、周辺の県病院の医師を含め治療のためのPMC（primary medical care）の研修を実施しているが、疾病予防を中心としたPHCについてはほとんど関与していない。第三次保健医療施設として、治療サービスを主要な活動とすることは当然といえるが、トップリファラルとして、患者紹介制度と情報のフィードバックに基づくリファラルシステムの確立に積極的な役割を果たす必要がある。同時に、疾病予防や早期発見の重要性を下位機関に訴え、指導するなどPHC部門の確立を通じてこれらの活動を行うことが重要である。

原則10：対象病院の活動状況を示す統計データが経年ごとに取れる必要がある。特に患者への医療サービス向上の度合いを測る指標を取れるようにする。

対象病院の現状を表す各種統計データが恒常的に入手できる体制にあることが必要である。なかでも患者への医療サービスの質を的確に表す指標（全治および軽快退院率、死亡退院率、院内合併症率、入院期間、手術待機期間、患者満足度調査結果、紹介患者率など）は経年的に入手できる必要がある。途上国では、これらのデータが十分に取れる状況にないため、診療技術よりもこれらのデータが十分に取れるようになることが重要である。

そうでないとせっかくの協力による機能向上の効果が測れず、また改善目標もみえてこない。セタティラート病院における本プロジェクトで最も大きな課題となるのは、病歴データや患者データなど各種統計データが入手できる体制が構築されていない点である。カルテをきっちりと書くこと、正確な診断を下すことは困難であっても可能な病名をつけること、手術記録を書くこと、退院時サマリーを書くことなどは医師として必要な基本的行為であり、これらを習慣づけることは何よりも重要な技術指導の対象となる。

原則11：技術協力の効果を評価する手法を確立しておく必要がある。

技術協力のドナー側と受け手側の投入が明確にされ、達成目標も具体的でその達成度を測る評価手法も具体的である必要がある。この目的でPDMが双方の主体的参加を得て作成される必要がある。本件プロジェクトにおいても当然ながらPDMがプロジェクト活動の指針として用いられている。

第4章 評価結果

4-1 評価5項目による評価結果

1. 有効性 (Effectiveness)			
*以下の評価は、専門家およびC/Pからのインタビューおよびデータ、報告書等をもとに合同評価調査団が分析し、とりまとめたものである。なお、各活動の成果について、A、B、Cの3段階評価を行ったが、その基準は、次のとおりである。A=指標 (indicator) の妥当性は概ね高く、かつ活動成果としての総合評価もかなり高い。B=指標としては妥当性は概ね高いものの、実際の活動成果としての達成度はまだ十分でない、あるいは満足のいく結果ではない。C=指標としての妥当性もかなり低く、活動成果の達成も不十分である。			
プロジェクト目標	プロジェクト目標に対する指標	要 約	
セタティラート病院の医療サービスおよび研修機能が向上する。	外来患者数が、2004年に1日平均300人を上回る。	直近のデータによると“301人”と目標数値を超えており、2000年から比べるとかなり増加傾向にある(2000年当時では平均130人)。また、所轄郡病院からの紹介患者を含めて着実に増加してきており、日によっては500人の時もあり、病院の収容能力を超える時もある。なお一日平均外来患者数は、乾季(10～4月)と雨季(5～9月)とでかなり相違する(デング熱の流行る8～9月が特に高い)。	
	平均病床稼働率が、2004年に80%(WHO基準による計算方式)を上回る。	病院全体で、直近61%である(入院患者数も、ほぼ100人で一定しており、実働病床数163床で割ると、病床稼働率は平均61%)。この6割という数字は目標数値と比べるとまだ遠いといえるが、過去5年間でみると徐々に増えている。また、10～20日という日本での平均入院日数の状況と相違し、4日未満であること。100%を超える部所もあれば、かなり稼働数の低い部所もあり部門別での稼働数の格差が著しいこと。さらに、季節変動が大きいことなどがあるので、一概に全体の「平均」だけをみて評価するのは容易でなく、他の指標とあわせ、3段階評価は行っていない。	
	セタティラート病院で実施された研修の修了者数が、2004年9月に年間平均110人を上回る。(PMCトレーニングコース100人/年、卒後研修10人/年)	セタティラート病院で実施された研修の修了者数は、直近で年間平均122人となり、目標を達成している。	
以下、成果別の各評価につき、4段階(1～4)で成果を判定したが、その基準は次のとおりである。4=活動は完了した、あるいは活動成果が高く達成され、満足のいく結果である。3=活動はほぼ完了した、あるいは完了見込み。または計画されたものよりは低いものの活動成果は達成された。2=活動は完了されなかった、あるいは成果があがらなかった。1=活動せず、あるいは全く成果なし。			
成 果	成果に対する指標	評価	要 約
1. セタティラート病院の臨床各部門の臨床技術と知識が向上する。		A	
1-1. 内科部門領域(感染症、血液、内分泌)の臨床技術と知識が向上する。	新しい診断・治療法が、年間2種類以上導入される。	4	現在までに12項目が新たに導入された。
	新しい診断・治療法を受けた患者数が、2004年9月までに200人を上回る。	4	2004年3月までに、5,358人を達成しており、目標をはるかに超えている。
	医師の診断・治療知識の理解度が、2004年中にB評価以上となる。	4	2004年3月時点で、医師の理解度評価で、感染症・血液および内分泌いずれもB評価である。
	医師の診断・治療技能の信頼性が、2004年中にB評価以上となる。	3	感染症・血液疾患に関してB評価であるものの、内分泌疾患については信頼性に関して改善の余地がある。

1-2. 消化管内視鏡部門の臨床技術と知識が向上する。	新しい診断・治療法が、2004年9月までに8種類以上導入される。	4	2004年5月時点で、救急関連で7項目、診断法で4項目、上部・下部治療法で2項目、合計13項目が導入されている。
	新たな診断・治療法を受けた患者数が、2004年中に1日平均8人を上回る。	3	2004年5月時点で、利用者は1日平均2.2人である。この数字は中間評価時(2002年6月)と全く同じである。過去5カ月で、上部内視鏡が295件、下部内視鏡が36件であった(なお、過去2年4カ月=28カ月で、計1,214人が受けている)。
	医師の診断・治療知識の理解度が、2004年中にB評価以上となる。	4	医師の診断・治療知識の理解度は現在B評価に達した。
	医師の診断・治療技能の信頼性が、2004年中にB評価以上となる。	4	医師の診断・治療技能の信頼性は現在B評価に達した。
1-3. 小児科部門(特に新生児医療)の臨床技術と知識が向上する。	新しい診断・治療法が、年間2種類以上導入される。	4	8種類の新しい診断・治療法が導入された。
	新しい診断・治療法を受けた患者数が、2004年中に合計100人を上回る。	4	80人の患者が新しい診断・治療法を受けた(2003年までのデータ)。
	医師の診断・治療知識の理解度が、2004年中にB評価以上となる。	4	医師の診断・治療知識の理解度は現在、B評価に達した。
	医師の診断・治療技能の信頼性が、2004年中にB評価以上となる。	4	医師の診断・治療技能の信頼性は現在、B評価に達した。
1-4. 放射線科部門(CTスキャナー、超音波画像診断分野を含む)の臨床技術と知識が向上する。	新しく導入された診断技術の使用頻度が、2004年4月までに月間70回を上回る。	4	2002年8月にCTスキャナーが使用され始めた。2004年5月までの5カ月間において、CTと超音波画像診断の利用者はそれぞれ、357人と2,309人であった。これは、CTスキャナーの利用回数が月間70回を上回っていることを意味する。
	診断技術の信頼度が、2004年4月までにB評価以上となる。	4	診断技術の信頼度はB評価に達した。
1-5. 産婦人科部門(周産期医療、悪性腫瘍)の臨床技術と知識が向上する。	新しい診断・治療法が、年間2種類以上導入される。	4	新しい診断・治療法が8種類導入された。
	新しい診断・治療法を受けた患者数が、2004年中に合計100人を上回る。	4	2003年段階で、既に160人の患者に新しい診断・治療法が用いられた。
	医師の診断・治療知識の理解度が、2004年中にB評価以上となる。	4	医師の診断・治療知識の理解度はB評価に達した。
	医師の診断・治療技能の信頼性が、2004年中にB評価以上となる。	4	医師の診断・治療技能の信頼性はB評価に達した。
1-6. 一般外科部門(特に悪性腫瘍の診断と治療)の臨床技術と知識が向上する。	月間平均手術数が、2004年9月までに60件を上回る。	4	2002年8月と2004年5月の月間平均手術は100件を上回った。
1-7. その他部門(救急外来、ICU、麻酔科、眼科、歯科等)の臨床技術と知識が向上する。	専門家による技術指導の理解度が、2004年中にB評価以上となる。	3	専門家による技術指導の理解度は歯科以外、B評価となった。
2. セタティラート病院の検査部門の技術と知識が向上する。		A	
	毎月の収支報告が定例会で報告される。	4	定例会で月1回、月間検査数、試薬在庫状況を含む財務状況が報告されている。
	感染症項目データを四半期ごとに報告される。	4	2002年3月から、“Susceptibility Report”を四半期ごとに提出している。現在、C/P自ら報告書を作成している。

	導入された項目がすべて実施される。	4	25の新規項目が導入・実施されている。2004年5月までの過去5カ月間の検査数は6,800件以上である。
	各再現性試験項目が、2003年12月までに指定された基準値を上回る。	4	各再現性試験項目が現在、基準値を上回っている。
	勉強会が月1回開催される。	4	2004年5月時点で、40回の勉強会が開催された。
3. セタティラート病院の薬剤部門の技術と知識が向上する。		A	
	薬品集が完成する。	4	2003年9月に薬品集が完成した。
	登録薬剤数が、2004年4月までに500品目を超える。	3	病院で現在使用中の389品目のうち、358品目が収録された。
	薬剤師の薬剤理解度が、2004年にB評価以上となる。	4	薬剤師の薬剤理解度はB評価に達した。
4. セタティラート病院の看護部門の技能と知識が向上する。		B	
	看護部の質的調査の総合評価が、2004年4月にB以上となる。	3	看護部の質的調査の総合評価はまだC評価である。
	患者満足度調査の結果が、2004年6月に70%を上回る。	4	2002年実施の満足度調査で74.5%、2003年実施の調査で79.1%の満足度で、目標を上回った。
	基礎看護知識が、2004年4月に平均80点を上回る。	3	2003年6月と2004年5月実施の理解度テストでは、それぞれ平均が68点、78点と、得点は目標値に極めて近い。
	看護記録の評価が、2004年4月までにB以上となる。	3	看護記録をつけることは徹底されるようになった。しかしながら、患者指導など記録の内容レベルの向上の必要など、評価はまだCである。
5. セタティラート病院の病院管理部門の機能が向上する。		B	
	管理部門の機構組織が改善される。	4	2002年、組織改革が行われ、かつ、運営効率化を狙い、委員会が設けられた。
	勤務時間厳守率が、2004年6月までに95%を上回る。	3	勤務時間厳守率は、2004年5月の調査では90%以上であった。この数値は目標値に極めて近いものである。
	廃棄物適正分別率が、2004年6月までに95%を上回る。	4	2001年10月から2004年5月の間の平均値は91%であり、この数字は今も維持されている。このシステムは看護部門だけでなく、内視鏡、放射線、検査室においても実施されている。
	医療収入が2004年9月末までの間、常に医療支出を上回る。	4	医療収入は、常に医療支出を上回っている。
	患者情報システムの患者データ不備率が、2004年6月末までに5%を下回る。	4	2004年5月実施の医事課の調査では、約1%であった。
	患者サービスの満足度調査が80%を上回る。	4	過去3回の調査が実施され、患者の満足度は最新の2003年8月の結果では、80%を超えるとする回答が43%、60～79%とする回答37%とあわせ、計80%と以前の調査に比べても改善されており、目標数値に達している。
	郡病院からの紹介患者に対する返事発行率が、2004年6月末までに95%以上となる。	2	このシステム開始以来、288通の紹介状を受け取ったが、医事課は人手不足を理由に返事をしていなかった。2004年6月からは、1件につき、2通の紹介状を出してもらい、その1通に返事を書いて出すというシステムを始めた。

6. セタティラート病院の院内設備・機器が必要ときに使用可能な状態に維持される。		A	
	メンテナンス部門が設立される。	4	メンテナンス部門が設立されている。
	機器の稼働率が、2004年9月までに95%を上回る。	4	機器の稼働率が目標を上回った。
	恒常的に利用される設備の故障率が、2004年9月までに5%を下回る。	4	恒常的に利用される設備の故障率が目標を下回った。
7. セタティラート病院の病院食提供サービスが改善される。 (病院食の導入、定着にあたって根付かなかった理由を最後に記載)		C	
	特別病院食の基本メニューが、2002年8月までに10種類以上作成される。	4	2002年10月、21種類のメニューが作成された。
	糖尿病、高血圧の特別病院食が提供される。	1	病院食サービス自体、補助金の打ち切りが原因で2003年5月以降、中止したままである。
	病院給食の利用者が、2004年4月に入院患者全体の95%を占める。	1	病院食サービス自体、中止という現状である。
8. 医師の卒後研修機能が向上する。		C	
	研修医の研修後の理解度が、2004年9月までにB評価以上となる。	1	研修については組織体系まで至らなかった。
	研修医の卒後研修に関する満足度が、2004年9月までに80%を上回る。	1	研修については組織体系まで至っておらず、調査できず。
9. 地域病院（ヴィエンチャン特別市各郡病院および周辺2県の中心郡病院）と、セタティラート病院との間のリファラルシステムが改善される。		B	
9.1. 地域病院の医療スタッフの一次医療に関する技能・知識が向上する。	PMCトレーニングコースが、2004年9月までに18コース以上開催される。	4	PMCトレーニングは年に4回、現在まで17回開催されてきた。本プロジェクト終了までに18コース以上が開催される見込みである。
	PMCトレーニングコース後の各病院における事後調査結果の平均がB評価以上となる。	4	事後調査では、平均評価は2004年の3月において、Bであった。
9.2. 住民に対する健康教育が推進される。	住民健康教育プロモーション用の配付物発行が年間2万部を上回る。	4	2004年3月までに、43種類のパンフレットが作成され、セタティラート病院や郡病院で市民に約9万部が配布された。
9.3. 地域病院からの患者の紹介と輸送システムが改善される。	患者の紹介と輸送システムが、2002年10月までに確立される。	2	2002年12月にシステムが確立したものの、計画通りの成果はあがらなかった。

* 病院食の導入・定着にあたって根付かなかった理由を、ラオス国の病院を取り巻く状況をもとに以下、考察。

- 1) 患者の負担：患者の多くが貧しく、通常より高い病院食を取るということがなかなか受け入れられなかった。
- 2) 患者の入院日数の短さ：もともと入院患者の入院日数が平均4日未満と短く、病院食の継続的な提供の体制を整えにくかった。
- 3) 栄養の概念不足：科学的な栄養の知識がほとんどなく、病院食の意味をなかなか理解できなかった。
- 4) 医療従事者の理解：医者・看護婦自身が病院食の意味合い、重要性をまだまだ理解できていなかった。
- 5) 政府の予算削減：ヴィエンチャン特別市からの補助が途中で打ち切れ、セタティラート病院側でその分の負担を迫られ、財政的な制約が重なった。

2. 妥当性 (Relevance)

2-1 上位目標の妥当性

上位目標、プロジェクト目標はラオス国の国家開発政策に合致しているか。

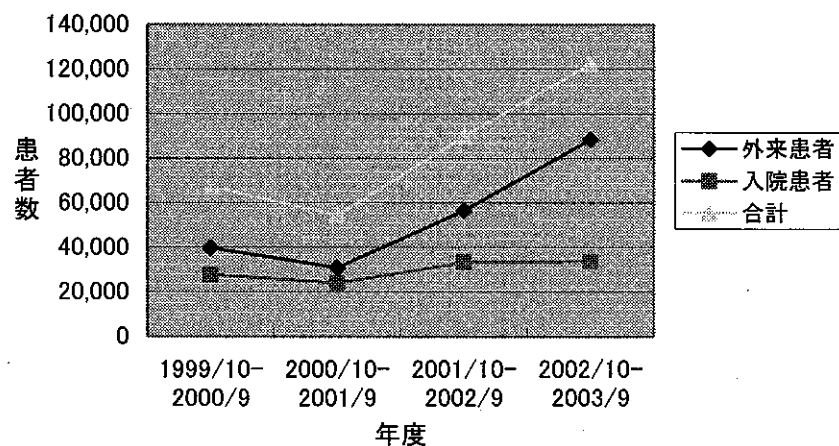
- ・本プロジェクトは、セタティラート病院の目標である「患者サービス、医療の質向上、さらに教育機能の向上」と合致しており、また病院管理運営や隣国との交流といった点でも全く一致していることから、計画は妥当性が高いと判断される。
- ・ラオス保健省は国家5カ年計画に沿って「2020年に向けてのラオス保健衛生システム構築戦略」を策定し、それに基づき諸施策を実施してきており、なかでも、本病院を含む三大総合病院の拡充と近代化には高い優先度が置かれていることから、国家政策に合致したものである。

2-2 ターゲットグループ選定の妥当性

- ・本プロジェクトの協力内容に対するニーズの高さ(プロジェクトの妥当性)
- ・ターゲットグループの規模の適切性(ターゲットに対するニーズ)

- ・セタティラート病院における患者数は1999年から、外来・入院患者とも増加を続けており、ニーズにあったものといえる(特にプロジェクト開始時から外来患者数の伸びが大きい)。*図参照
- ・本プロジェクトにおけるアプローチは、専門家からC/Pへの技術移転と、本邦・隣国あるいは院内研修による人材育成である。
- ・本プロジェクトは技術移転において大幅な技術向上が必要なだけでなく、新規病院の立ち上げと体制作りにおける協力が含まれていること、さらに信頼関係の構築、活動の共同作業なしには成り立たないものであることから、長期専門家による継続的支援は最も妥当な方式であった。
- ・プロジェクトの対象地域を3箇所(ヴィエンチャン特別市、ヴィエンチャン県、ボリカムサイ県)と定め、患者のみならず住民までを対象としたことは計画のうえでは妥当であった。
- ・本件の対象となったセタティラート病院には、プロジェクト開始前の1992年より、青年海外協力隊員が、検査、看護部門に配属されていたことから、プロジェクトを受け入れる体制や動機づけも十分されており、妥当性は高いと判断される。
- ・ラオス国は1986年以降、市場経済体制への移行を図ってきているものの、そもそも山岳の内陸国という地理的状況のなか、人的資源の不足という大きな課題を抱えている。こうしたなか、JICAはラオス国に対して、ラオス国側との協議の結果、4つの援助重点分野、5つの中期優先課題を設定している。その重点分野の一つとして、「人間としての基本的なニーズの充足(Basic Human Needs: BHN)」を掲げ、優先課題として「公平で健康な社会の形成」を挙げている。本プロジェクトはその一端を担うものであり、我が国の援助政策の核となるものである。

セタティラート病院における患者数変移



3. 効率性 (Efficiency)	
3-1 人材投入の効率性 ① 長・短期専門家派遣のタイミング ② C/Pの資質、能力や経験、あるいは姿勢等	・専門家の派遣では、一部、短期専門家の派遣において、計画の変更や派遣の決定の遅れ、あるいは計画より期間短縮（小児科、産婦人科）の部門があるなど、活動を妨げる要因があったものの、長期専門家を中心に効率的で妥当な派遣であり、指導も適切、丁寧であったと判断される。 ・2～3カ月という短期専門家の派遣期間が短すぎる（例：治療部門）とのC/Pからの回答もある。
3-2 機材投入の効率性 ① 供与機材の投入タイミングや保守・利用状況。供与機材の活用度（例：研修用機材） ② 「無償供与」での病院建設との関連での留意事項	・X線検査数はCTスキャナ設置以後、増加し、かなり活用度が高い（月平均600回以上）。また、研修用機材の導入によって、臨床教育、医師卒後研修機能の向上に役立っている。 ・どの機材も、長期専門家による助言やC/Pなどラオス国側のCapacityを正確に判断したうえで投入していることから、機材の適正化が図られている。C/Pからは技術移転のため、機材を入れる前から研修を実施してほしいとの要望があった。 ・郡病院への機材投入の遅れやCTスキャナの調達変更などは、プロジェクトの活動に影響を及ぼした。 *CTスキャナは、ラオス国には、マホソット病院のほか、軍病院にもあるが、2003年に双方とも故障し、検査はほとんどセタティラート病院に委託されているのが現状である。放射線関係者は、最近かなり多忙になったと報告しており、給料は全く変わらないが、従事していることを誇りに思うとの回答があった。
3-3 資金投入の効率性 ① プロジェクト予算の適正規模（ラオス国および日本側の運営経費の金額、タイミング）	・プロジェクト運営、効果発現のために必要な予算規模の投入であると思料される。また本プロジェクトでは、当初からコストシェアリングの考えをラオス国側に浸透させており、そのための予算確保や歳入の向上をセタティラート病院側も行ってきた。その面でも効率的な運営であったと判断される。 （その他） ・資金投入の一例として、医学図書・雑誌等は、英語力が向上したスタッフにとっては、よく活用されている。またビデオは、外来患者待合室で放映し頻繁に活用されている。
3-4 研修投入の効率性 ① 研修の人数・内容・期間・タイミングの適切さ ② 本邦研修は、帰国後、プロジェクト活動に十分活かされていますか？ ③ C/Pの研修後の変化	・研修員は延べ18名を受け入れたが、研修後もセタティラート病院に継続して勤務している。例えば、放射線科関係では、琉球大学附属病院やチェンマイ大学附属病院での研修を受けたC/Pが担当し、供与機材の活用に大いに役立っている。 ・本邦研修によって、技術向上のみならず、医療や患者に対する考え方、個々の技術の正確さを学べる点、さらに参照や実践のための教材やサンプル数が多いとのC/Pの回答あり。 ・研修員は帰国後、同じセクションのスタッフに学んだことを教え、セクション全体で共有するなど、研修の成果が活かされている。 （その他） ・本邦研修によって、多くの技術や患者への接し方を学んだ。さらに、研修前には患者のケアについてすべて医師の指示を待っているだけであった者が、研修後には患者のケアのためにどうすべきか自ら考え、指示を待つまでもなく、実践できるようになった。
3-5 その他	・プロジェクトでは無償による新病院建設が並行して行われたことから、特に新病院での新たな体制整備をプロジェクトが当初から支援できたことは、最良なタイミングであったと思われる。

4. インパクト (Impact)	
4-1 上位目標に対するプロジェクトの貢献 (PDMに示された上位目標と指標) ① カルテシステム、患者データのコンピューター化、治療食、郡病院に対する研修等、セタティラート病院における成果のラオス国ほかの病院での採用 ② ラオス国内で診断・治療を受ける患者の増加(またプロジェクト実施によって、タイなど国外の医療機関を受診する患者への影響) ③ 他医療施設からの検査依頼の増加傾向 ④ 周辺国病院との技術交換実施とその成果	・セタティラート病院が病院関係者はじめ、患者や一般市民から、最新医療機材を整えた新しい病院であり、ラオス国で誇るべき病院との評判を得たことが何より大きなインパクトである。 ・既に有効性の項目で述べたが、プロジェクトは、新病院としてスタートを切った新病院に対して、診断面での進歩をはじめ、医療従事者の技術向上に大きく貢献したといえる(患者サービスをはじめ、医療基礎面でまだまだ遅れた、あるいは達成できていない面もある)。 *「患者サービス」では、スタッフの対応、診察の順番、トイレの汚さなどがまだ劣っている。 ・本プロジェクトの実施によって、政府の予算が食われる、あるいは他の病院の予算が削られるといった状況を作り出していないことは大きい。 ・国内で治療を受ける患者の総数等のデータまでは把握できないものの、今までタイに流れていた患者の中に、特にCTスキャナ等の検査をセタティラート病院で受ける者が増えてくるなど、プロジェクト実施による変化がかなり見られる。 ・検査部門は、他病院や民間企業からの受注・委託が増大している。ラオス国には民間の検査会社がないため、ヴィエンチャン特別市におけるリファレンスセンターとしての機能を持ちつつある。 ・タイやベトナムの病院との技術交流が始まったが、これは、日本での研修は予算面での限界があること、専門家派遣でもカバーできない部門や技術を隣国で研修したもので、言語のみならず、技術、予算面からも研修場所として適切であった。 ・郡病院スタッフへの継続的な研修は効果が高く、リファラル強化の一つのモデルとなった。 ・看護部門の二交代制もまだ定着の途上であるが、近代的病院としての標準を示すことができた。 (その他) ・国内の他病院(地域病院、県病院)、保健省等からセタティラート病院を視察に訪れるなど、本プロジェクトの影響は大きい(患者データシステムの場合、保健省やサバナケット病院から見学にきている)。 ・診断については早期に実施できるようになっただけでなく、特に困難な診断について、他病院を支援するまでになった。 ・政府高官(例:情報文化省副大臣、商工省大臣など)の手術例が増えていることは、セタティラート病院の信頼性が増し、役割が大きくなってきていることを表すものである。 *隣国のタイに行く患者は、金持ちである、保険が利く、親類がいる、あるいは外国人であるといった傾向がある。
4-2 プロジェクト目標に対する効果(波及・間接的效果) ① プロジェクトから生み出されたと思われる波及効果や間接的な効果	・病院を訪れる数多い患者を効率的に診察できる病院体制が、ある程度整いつつあることはかなりの効果である。 ・日本での研修は、様々な形の経験や手法を学ぶことができ、近代病院システムの構築に役立った。 ・病院の安定的経営、職員の確保、光熱費の徹底など、病院運営にかかるノウハウや経験をセタティラート病院側に浸透させることができた。 ・専門家の指導や研究、診察によって、C/Pの当事者意識が徐々にではあるが変化したことは、メンタル面、倫理面で大きな効用であったといえる(職務意欲、服務規程の遵守、他スタッフへの技術移転)。

	(その他) セタティラート病院での勉強会には、数人のJOCVが参加し、SARS、救急蘇生、清潔操作など毎回様々なテーマで開かれている。隊員が各配属先に戻り、各院内でも同様の勉強会を開くなど、技術移転、普及といった点で効果があった。ただし、隊員の自主参加によるところがあり、限られた参加ではあった。また勉強会そのものも、必ずしも受講者が自主的に参加というよりも、かなり参加を促さないといけないものもあり、一部形骸化してしまうという面もあった。
5. 自立発展性 (Sustainability)	
5-1 組織・制度面・政策の自立発展性 ① 本プロジェクトに対するラオス国政府の政策的な支援の今後 ② C/P機関の組織体制 (国際部の存在と意義。3部門制への移行による組織改編以降、組織体制の機能化と、その機能の継続性)	- 同病院が、ラオス国の三大病院の一つであり、ヴィエンチャン特別市の中核病院としての機能は継続されると判断される。また妥当性の項で述べたように、受益者のニーズや政策との合致などから、ラオス国政府の政策的な支援は、今後も変化はないと判断される。三大病院の棲み分けについては、ラオス国政府の乏しい医療資源の有効利用から、政策として取り上げられており、今後、さらにセタティラート病院の役割と機能は強まっていくだろうと判断できる。 - 人材としては、かなり技術の高い能力を持つスタッフはいるが、トップにいる人と将来を担う若い人とのギャップを埋めるには時間がかかると思料される。 - プロジェクトの実施によって、かなりの病院機能が強化されたなかで、今後、「大学病院」という新たな機能が正式に加わることで、従来の「一般病院」としての機能が損なわれるのではないかと懸念は残る。今後も、病院機能の強化を継続させるとともに、新たな機能を十分に担えるよう、人材を育成することは重要である。 (その他) - セタティラート病院は、近代的診断用機材が供与されていることから、疾患分野を主として担当しており、今後の役割としても、総合病院としてのみならず、特にラオス国の内科（感染症、血液、内分泌）についての役割が高まると思われる。 - 病院の発展の一つは、患者サービス改善にあるため、広報やマーケティングなども今後の課題である。 *ラオス国には、三大病院、5つの地域病院（1教育病院を含む）、13の県病院、125の郡病院、そして705のヘルスセンターがある（2001年JICA開発調査結果）。
5-2 財政面の自立発展性 ① プロジェクトを維持発展していくための予算確保の状況（セタティラート病院への国および県、市の財政負担） ② 直近のセタティラート病院側の負担内容（コストシェアリングの姿勢ほか）	- コストシェアリングの意識がかなり徹底していることやリボルビングファンドの創設などから、「自立」への道を歩んでいると判断できる。ただし、今後どのようにセタティラート病院が財務管理を行っていくか、その構想をさらに明確にしていく必要がある。 (その他) - 歳入は、プロジェクト開始前に比べ、10倍以上になった。 - 将来を考え、メンテナンス予算を確保することが重要であるとの認識の下、そのための手当てとして積み立てており、問題は特にないと思われる（とりわけ問題となるX線管球は、ラオス国の場合、寿命8～10年であり、これだけで36,000US\$かかる）。
5-3 技術面の自立発展性 ① C/Pの技術習得度 ② C/Pはじめ、医療従事者の配属先への定着（各部門間の人材状況）	- 診断（検査・画像）能力、外来患者システムをはじめ、C/Pの能力は相対的にかなり高く、自立発展できる可能性は高い。 - 放射線科のCTスキャナをはじめ、高度で高額な精密機器については、会社と契約して維持管理体制を整っていることから、メンテナンスについての障害はないと思われる。 - C/Pの離職状況は本プロジェクト中、進学・移動を除きほとんどなく、定着率は高いことから、今後も引き続き安定的な人事管理が行われるものと予想される。

	・プロジェクト期間中、懸念されていた医療従事者の不足解消や、看護の二交代制は依然残された課題である。 ・患者満足度調査、看護婦身だしなみ調査等は、明確な目標を設定し、改善・向上に役立っていることから有効なので、継続して取り組むことが望ましい。 ・プロジェクトで実施してきた地域病院（郡病院）対象の研修は、その波及効果が高いことから、引き続き実施していくことを強く希望する。 （その他） ・プロジェクトで支援してきた各勉強会や講習会（英語・コンピューター研修など）は、かなりの効果をあげていることは明確であり、継続してほしいという要望が強くある。とはいえ、予算の確保がかなり困難と予想されること、さらに積極的に参加する人とそうではない人の差があること、また研修に積極的かどうかのみならず、部門によっては勤務形態上、参加困難な状況であり、年齢上、モチベーションに欠けるといった格差も大きいことから、個々で実施する方向になるかと予想される。 （病院管理） ・人事考課、機材管理、財務管理、病院情報システム（HIS）などはプロジェクトでも支援してきたが、あくまでラオス国側のやり方を遵守する必要がある。少なくとも病院側では改革の必要性を認識していることから、何らかの方策と改善は継続されるものと思われる。 （急性呼吸器感染（ARI）や下痢症などの感染症への寄与と今後の方向性） ・診断や看護の面で、プロジェクトが支援したことにより、こうした感染症に対する寄与は大きいと思われる。特にSARSでは、感染予防のポスター作成やベトナム・バックマイ病院で開催されたSARSセミナーでの発表など、セタティラート病院としての機能役割は果たしてきたと判断される。ただし、ARIが一つのよい例であるが、単に病院内への指導にとどまらず、国としての施策や支援があつてこそ成り立つものである。また、看護の基本や新症状に対する医療従事者の関心によるところも大きく、一概に判断はできない。
--	--

4-2 結 論

今回の評価調査、および日本・ラオス国間の協議の結果、プロジェクト実施期間中に当初の目標を達成するとの結論に至った。本プロジェクトの成果として、まず何より、ラオス国においてセタティラート病院の評判が高まったことがあげられる。いくつかの活動領域においては、まだ十分でない、あるいはプロジェクト終了まで継続して行う必要がある領域があるものの、C/Pはほぼ必要な技術と知識を習得し、同病院の医療サービスと研修機能は向上した。

本プロジェクトの実施によって、技術面および財政面で基礎は築かれたが、組織面では、セタティラート病院が、「教育病院」や「リファラル病院」としての機能を、今後より向上させていく必要がある。

第5章 提言と教訓

5-1 提言

今回の調査において、プロジェクト専門家およびC/Pとの協議を踏まえ、調査団から以下5点の提言を行った。

- (1) 看護の二交代制導入によりOJTの環境が整った。7月に国内研修終了予定の6名の看護師の活用を含め、Senior NurseによるJunior NurseへのOJTプログラムを策定すべきである。
- (2) 病院管理は日本人専門家による評価と指導を重ねたことにより、比較的良好なパフォーマンスである。しかしながら、マンパワーの不足は円滑な病院管理の妨げとなるため、病院管理スタッフを増やすべきである。プロジェクト終了後は、この4月に導入された定期点検シートのような、自己評価体制を整える必要がある。
- (3) 病院食提供サービスは外部要因により改善されなかった。このため、このサービスに代わり食事指導体制を充実すべきである。
- (4) 医師の卒後研修を体系的に行うことができなかった。医師の卒後研修は「教育」病院としてのセタティラート病院の基本的な要素である。そのため、その前提条件として、患者データを記録し、データの利用を容易にすることが必要である。
- (5) 郡病院から紹介された患者の診断・治療方針を紹介元へフィードバックすることは、重要である。そのため、紹介状への返答率が低かった原因を追究し、改善すべきである。

5-2 教訓

今回の調査を踏まえ、本プロジェクトから得た教訓として、調査団から以下4点をあげた。

- (1) 周辺国の研修を含む技術協力はプロジェクトの活動に有効であった。
- (2) 英語学習は技術移転を円滑に実施するためのコミュニケーション能力を高めるのに効果的であった。
- (3) モニタリングシートは、プロジェクト活動を円滑に進めることに効果的であったが、状況の変化に合わせての改変、また専門家およびC/Pがより容易に利用できるよう柔軟な改変を行うべきである。
- (4) プロジェクト活動を通じ、セタティラート病院と琉球大学のパートナーシップが強まった。この関係を深めることは、セタティラート病院にとって大学病院化をめざすうえで意味深いことであった。

付 属 資 料

1. ミニッツ

2. 合同評価報告書

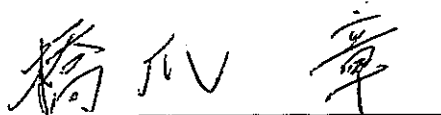
MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN THE JAPANESE FINAL EVALUATION TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT
OF LAO PEOPLE'S DEMOCRATIC REPUBLIC
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE PROJECT FOR THE IMPROVEMENT OF SETHATHIRATH HOSPITAL

The Japanese Final Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Dr. Akira HASHIZUME, visited the Lao People's Democratic Republic from May 30 to June 12, 2004. The purpose of the Team was to confirm the achievements made during the five year's cooperation period, and to make the final evaluation for the Project for the Improvement of Sethathirath Hospital (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay, both the Team and authorities concerned of the Lao People's Democratic Republic (hereinafter referred to as "both sides") had a series of discussions and exchanged views on the Project. Both sides jointly monitored the activities and evaluated the achievements.

As a result of the discussions, both sides agreed to record the matters in the documents attached hereto, and the result of evaluation was compiled in the Joint Evaluation Report with mutual understanding.

Vientiane, June 11, 2004



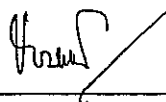
Dr. Akira HASHIZUME

Leader

The Final Evaluation Team

Japan International Cooperation Agency

Japan



Mrs. Chanthanom Manodham

Director of Cabinet

Ministry of Health

Lao People's Democratic Republic

(witnessed by)



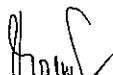
Dr. Inlavanh Keobounphanh

Director

Department of Health

Vientiane Capital

Lao People's Democratic Republic



JOINT EVALUATION REPORT
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT FOR
THE IMPROVEMENT OF SETHATHIRATH HOSPITAL

Japan International Cooperation Agency
Japan

And

Ministry of Health
Lao People's Democratic Republic

June 11, 2004

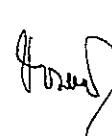


Table of Contents

1. Introduction
 - 1.1 Project Title
 - 1.2 Period of Cooperation
 - 1.3 Executing Agency in Lao PDR
 - 1.4 Evaluation Period
 - 1.5 Background of the Project
 - 1.6 Objectives of the Evaluation
 - 1.7 Evaluators
 - 1.8 Methodology of the Evaluation
2. Evaluation
 - 2.1 Inputs
 - 2.2 PDM
 - 2.3 Evaluation by Five criteria
 - 2.4 Conclusion
3. Recommendations and Lessons Learned
 - 3.1 Recommendations
 - 3.2 Lessons Learned

ANNEXES

Annex 1: PDMe

Annex 2: Evaluation by Five Criteria

Annex 3: List of Inputs

(Japanese side)

Dispatch of Experts

Counterpart Training

Provision of Equipment

(Laos side)

Counterpart Allocation

Operational Expenses

Annex 4: JCC Meeting Participant List



1. Introduction

1.1 Project Title

Project for the Improvement of Sethathirath Hospital (SH) in Lao PDR

1.2 Period of Cooperation

October 1, 1999 ~ September 30, 2004

1.3 Executing Agency in Lao PDR

Sethathirath Hospital, Public Health Department of Vientiane Municipality,

1.4 Evaluation Period

29 May 2004 ~ 13 June 2004

1.5 Background of the Project

Sethathirath Hospital (SH) is the general hospital which became 175 beds officially and 290 staff, including 75 doctors. It is a core medical hospital in northern area of Laos as well as educating medical personnel. Since the building and facilities were too old to provide Lao citizens with adequate medical services, the New SH was built with the assistance of the Government of Japan. At the same time, the Lao Government requested Japanese technical cooperation for upgrading medical services at SH. In response, the project for the improvement of SH was started as a five-year program in October 1999.

1.6 Objectives of the Evaluation

This is a final evaluation of the Project. The evaluation aims to summarize the achievements of the Project, as well as making a recommendation and learning lessons from the experiences. The evaluation was conducted as joint efforts of both parties, which consisted of Japanese Evaluation team and Lao committee members.

1.7 Evaluators

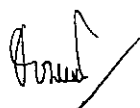
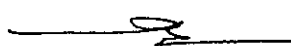
Team Leader: Akira HASHIZUME, Executive Technical Advisor to the Director General, Human Development Department, JICA

General Medicine: Tadashi NISHIMAKI, Professor, Faculty of Medicine Unit of Organ-oriented Medicine Division of Digestive and General Surgery, University of the Ryukyus

Community Health: Hiroyuki NAKANO, Chief, Division of Pediatrics, Department of International Cooperation, St. Mary's Hospital

Evaluation Planning: Yuko KATSUNO, Health Personnel Development Team Group III (Health I), Human Development Department, JICA

Evaluation Analysis: Akira MATSUMOTO, Manager, Consulting Department, TAC International Inc.



1.8 Methodology of the Evaluation

As the basis of evaluation, both sides agreed to use the recent Project Design Matrix, which was called PDM2 in the Mid-term evaluation)

The evaluation was conducted based on the following five (5) aspects as criteria.

- (1) Effectiveness
- (2) Relevance
- (3) Efficiency
- (4) Impact
- (5) Sustainability

2. Evaluation

2.1 Inputs

Japanese Side:

Long-term experts Total number 15, Short-term experts Total number 31

Equipment approx. 146,000 thousand yen, Local cost provided approx. 30 million yen

Training received 18

Laos Side:

Counterparts Total number 120 (during the Project period)

Land and facilities Hospital Landing & Building Local cost 72,000,000 Laos Kip

2.2 PDM for evaluation

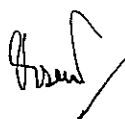
See the Annex 1.

2.3 Evaluation by Five criteria

See the Annex 2.

2.4 Conclusion

Through the careful study and discussions, both sides concluded that the Project would achieve the project purpose during the project period. This Project made SH as excellent general hospital in Laos PDR, and provided the good reputation of SH. Almost of the necessary skill and knowledge will be acquired by the counterparts, and improved the medical service and training capability. Even though there are some subjects that have not completely been acquired and necessary to do continuously by the end of the project period. The Project established basic foundation in terms of technical and financial framework. However, institutional sustainability is required to upgrade the role of SH including teaching and referral hospital.



3. Recommendations and Lessons Learned

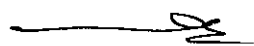
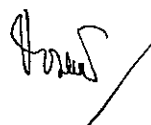
3.1 Recommendations

The Team recommended the Project respond to the following challenges.

- The condition of On the Job Training(OJT) for nurses has been prepared by introducing the two-shift rotation for nurses. OJT program for junior nurses should be planned by senior nurses including six(6) nurses who will finish higher education in July 2004.
- Hospital administration in SH has been well managed through frequent evaluations and instructions by Japanese experts. However, the number of qualified administration staff should be increased, because the shortage of manpower precludes the hospital management smoothly. Also, after the completion of current Project, it is necessary to improve the self-evaluation system such as regular checking sheets introduced into maintenance section in April 2004.
- Hospital dietary services have not been provided due to the external assumptions. Alternatively, a system of dietary therapy should be upgraded.
- Training for post-graduated doctors has not been systematically implemented. The training system is a basic component for SH as a "teaching" hospital. Therefore, as a pre-required condition, it is essential to record patient's data, and to secure the easy access and the availability of data.
- It is important to feed-back patient's information for referring hospitals. The feed-back will contribute to the development of mutual confidence. Consequently, it is necessary to clarify and resolve the problem of low reply-rates to the referring hospitals.

3.2 Lessons Learned

- Technical cooperation including training with neighboring countries was valuable for the activities of the Project.
- English group study was effective to upgrade communication skill for smooth implementation of technical transfer.
- The monitoring sheet was effective to promote the smooth project activities. In additions, it should be flexibly modified according to the change of situation and easier utilization by both sides of the experts and counterparts.
- Through the activities of the Project, the partnership between SH and University of the Ryukyus has been strengthened. By the deepening of the partnership, it is meaningful for SH to grade up toward university hospital.



PROJECT DESIGN MATRIX (PDMe) Project : Lao – Japan, Sethathirath Hospital Improvement Project (L-J SHIP) Final Evaluation (May 2004)

Narrative Summary	Indicators	Means of Verification	Important Assumption
<u>Super Goal :</u> Reduction of mortality rate in 3 Provinces (Vientiane Municipality, Vientiane Province, Bolikhamxay Province) <u>Overall Goal :</u> 1. The SH's output, such as medical record system, computerization of patient's record, therapeutic meal, training for medical staff in district hospitals, produced through the Project are used by other hospitals in Lao PDR 2. No. of patients received diagnosis or treatment within Lao PDR is increased 3. No. of laboratory tests requested to SH is increased 4. Technical exchange activities with hospitals in neighboring countries are implemented	- Mortality rate in 3 Provinces - Life expectancy in 3 Provinces - No. of SH's output / No. of hospitals - No. of Lao patients received medical services in neighbor countries - No. of laboratory test requested from other medical facilities - No. of technical exchange activities between neighbor countries / No. of hospitals	Health data of 3 Provinces (Published once in 5 years) Interview with hospitals in Lao PDR Interview with hospitals in neighboring countries Hospital record Hospital record	
<u>Project Goal :</u> Medical service and training capability of Sethathirath Hospital (SH) are improved	- Average No. of outpatient becomes over 300/day in 2004 - Average bed occupancy rate calculated by WHO standard becomes over 80% in 2004 - No. of personnel trained through the training course in SH becomes over 110/year or more in Sep.2004 (PMC training course : 100persons/year, Post-graduate training course : 10 persons/year)	Medical Affair record Medical Affair record Record of training	Followings remain in the same level as the present : - No. of medical staff in rural area - Access to medical facilities in rural area - People's attitude toward traditional healing - People's capacity in payment - Equipment, facilities, drugs in local health facilities
<u>Outputs :</u> 1. Clinical skill and knowledge in following fields are improved : 1-1. Internal Medicine field (infectious disease, hematology, endocrinology) 1-2. Gastro intestinal (GI) endoscopic field 1-3. Pediatric field (especially neonatal care) 1-4. X-ray field (includes CT scanner, ultrasonography) 1-5. Obstetrics and Gynecology (OBGY) field (perinatal care, high risk pregnancy, oncology) 1-6. General Surgery field (particularly oncological diagnosis & therapy) 1-7. Other clinical fields (such as Emergency, ICU, Anesthesia, Ophthalmology, Dental care)	1-1. - More than 2 diagnostic / therapeutic methods are newly introduced in each year. - More than 200 patients receive new-introduced diagnostic / therapeutic method by Sep. 2004. - Doctors' understanding on diagnostic / therapeutic knowledge is evaluated as "B" or more in 2004. - Doctors' reliability on diagnostic / therapeutic skills is evaluated as "B" or more in 2004. 1-2. - More than 8 diagnostic / therapeutic methods are newly introduced by Sep. 2004. - More than 8 patients per day receive the new-introduced diagnostic / therapeutic method by Sep. 2004.	Quarterly report Record of Internal Medicine Report from Laboratory Evaluation of understanding Skill evaluation Introduction check list Record of endoscopy section	- Counterparts (C/P) at SH do not move other sections, organizations nor resign off from present post - System of Social Security Organization is not disadvantage to SH. - Support of Vientiane Municipality toward SH continues (particularly public utility charges)

2. Skill and knowledge of Laboratory at SH are improved 3. Skill and knowledge of Pharmacy at SH are improved 4. Skill and knowledge of Nursing field at SH are improved 5. Functions in Hospital Administration at SH are improved 6. Medical equipment and facilities can work on request at SH 7. Dietary service at SH is improved 8. Functions of training system for post-graduated doctors are improved at SH 9. Referral system between local health facilities in 3 Provinces (all district hospitals in Vientiane Municipality, Central and main district hospitals in other 2 Provinces) and SH is improved. 9-1. Skill and knowledge on Primary Medical Care (PMC) of medical staff at local health facilities are improved. 9-2. Health education toward people are promoted. 9-3. Introduction and transportation system for patients from local health facilities is improved.	- Doctors' understanding on diagnostic / therapeutic knowledge are evaluated as "B" or more in 2004. - Doctors' reliability on diagnostic / therapeutic skills are evaluated as "B" or more in 2004. 1-3. - More than 2 diagnostic / therapeutic methods are newly introduced in each year. - More than 100 patients receive new-introduced diagnostic / therapeutic method in 2004 - Doctors' understanding on diagnostic / therapeutic knowledge is evaluated as "B" or more in 2004. - Doctors' reliability on diagnostic / therapeutic skills is evaluated as "B" or more in 2004. 1-4. - Newly-introduced diagnostic / therapeutic techniques are used more than 70 times per month by Apr. 2004. - Reliability on diagnostic skills are evaluated "B" or more by Apr. 2004 1-5. - More than 2 diagnostic / therapeutic methods are newly introduced in each year. - More than 100 patients receive the new-introduced diagnostic / therapeutic method in 2004. - Doctors' understanding on diagnostic / therapeutic knowledge are evaluated as "B" or more in 2004. - Doctors' reliability on diagnostic / therapeutic skills are evaluated as "B" or more in 2004. 1-6. - Average No. of operation becomes over 60 cases/month by Sep. 2004. 1-7. - Understanding on instructed technique is evaluated as "B" or more in 2004. 2. - Expenditure and cost status at Laboratory section is regularly reported by monthly. - Infection item data are regularly reported by quarterly. - All introduced items are constantly executed. - Reproducibility are beyond qualified level in all test items. - An internal training is held once a month. 3. - Drug book is established. - No. of registered drugs becomes over 500 items by Apr. 2004. - Pharmacists' understanding on drugs is evaluated as "B" or more in 2004. 4. - Quality of nursing evaluated as "B" or more in Apr. 2004. - Patients' satisfaction toward nursing results 70% or more in Jun. 2004. - Nurses' understanding on basic nursing scores over 80 points in Apr. 2004. - Evaluation on nursing record is evaluated as "B" or more by Apr. 2004.	Evaluation of understanding Skill evaluation Quarterly report Record of pediatric section Report from Laboratory Evaluation of understanding Skill evaluation Record of X-ray section Quality evaluation Quarterly report Record of OBGY section Evaluation of understanding Skill evaluation Operation record Evaluation of understanding Text on instructed technique Monthly report of Laboratory Report files Monitoring sheet Monitoring sheet Record of training Drug book Drug register Evaluation of understanding Skill evaluation Satisfaction research Evaluation of understanding Evaluation of nursing record
--	---	--

5. - Organization in administrative sections at SH are reformed. - Punctual ratio on working time becomes higher than 95% by Jun. 2004. - Ratio on appropriately-separated wastes becomes higher than 95% by Jun. 2004. - Medical income is constantly being higher than medical outgo until Sep. 2004. - Ratio on incorrect data inputting for patients' data system becomes lower than 5% by Jun. 2004. - Patients' satisfaction on hospital service results over 80% by Jun. 2004. - Issuing ratio of answer letter for patients introduced from district hospitals becomes higher than 95% by Jun. 2004. 6. - Maintenance section is established. - Operation status of medical equipment becomes 95% or more by Sep. 2004. - Out-of-order status of constantly used facilities becomes lower than 5% by Sep. 2004. 7. - More than 10 menus for special hospital meal are made by Aug. 2002. - Special hospital meals for Diabetes Mellitus and Hypertension are provided. 8. - More than 95% of inpatients take hospital meal by Apr. 2004. - Trainees' understanding after training courses is evaluated as "B" or more by Sep. 2004. - Trainees' satisfaction toward training courses results 80% or more by Sep. 2004. 9-1. - More than 18 PMC Training Courses are held by Sep. 2004. - Average score of post-evaluation at each hospital after courses becomes "B" or more. 9-2. - No. of health promotion materials distributed is more than 20,000pcs per year. 9-3. - Patient's introduction & transfer system is established by Oct. 2002.	Organization chart Attendance book Waste report Account record of SH Patient record Satisfaction research Patient record Organization chart Operation status report Repair record Menu of meals Record of hospital meal Record of hospital meal Evaluation of understanding Satisfaction research Training program Annual report Record of pamphlet printing Instruction manual
--	--

Activities : (Up-grading of each clinical fields) 1-1-1. To clarify and introduce appropriate diagnostic and therapeutic methods in Internal Medicine field 1-1-2. To implement training for doctors 1-1-3. To supplement necessary textbooks and international journals in library 1-1-4. To make up manuals on appropriate methods 1-2-1. To clarify and introduce appropriate diagnostic and therapeutic methods in gastro-intestinal endoscopy 1-2-2. To implement practical training for doctors (including conference) 1-2-3. To supplement necessary textbooks (including videos) in library 1-2-4. To make up manuals on appropriate methods 1-2-5. To hold a seminar by SH's sponsorship 1-3-1. To clarify and introduce appropriate diagnostic and therapeutic methods in Pediatric field 1-3-2. To implement training for doctors 1-3-3. To supplement necessary textbooks and international journals in library 1-3-4. To make up manuals on appropriate methods 1-4-1. To up-grade the reliability on existing diagnostic methods 1-4-2. To introduce new diagnostic methods (including CT scanner, ultrasonography) 1-4-3. To establish a reporting system 1-4-4. To supplement instruction manuals 1-4-5. To implement conferences 1-4-6. To make up evaluation standard 1-5-1. To clarify and introduce appropriate diagnostic and therapeutic methods in OBGY field 1-5-2. To implement training for doctors 1-5-3. To supplement necessary textbooks, international journals in library 1-5-4. To make up manuals on appropriate methods 1-6-1. To introduce basic surgical techniques 1-6-2. To clarify and introduce efficient usage of operational equipment 1-6-3. To guide surgical treatments for tumors particularly from oncological view points 1-7-1. Provision of necessary equipment 1-7-2. To instruct on necessary techniques 1-7-3. To provide necessary textbooks in library (Up-grading of Laboratory field) 2-1. Administrative field of Laboratory 2-1-1. To clarify accounts and management of equipment & reagents 2-1-2. To sum up and display laboratory test data 2-1-3. To strengthening capability of laboratory data judgment	2-2. Each laboratory field : Hematology, Chemistry, Microbiology, Parasitology, Serology 2-2-1. To introduce new test method and to renew the existing test method 2-2-2. To promote the capability on accuracy management (Up-grading of quality in Pharmacy) 3-1. To improve drug classification method 3-2. Supplement of necessary drugs and instruction on stock management 3-3. To make up drug book 3-4. To hold group study for pharmacists (Up-grading of Nursing field) 4-1. Grasp actual situation and clarification of problems 4-2. To reform management system in nursing section 4-3. To implement regular trainings 4-4. To make up nursing manual 4-5. To monitor patients' satisfaction by researches 4-6. To instruct sanitation management 4-7. To renovate work system 4-8. To reform nurse record 4-9. To clarify nurses' roles and duties (Up-grading of Hospital Administration) 5-1. To reform organization of administrative sections 5-2. To renovate personnel management system 5-3. To systemize and thorough infectious waste control 5-4. To give instruction on accounting and finance 5-5. To review a patient service 5-6. To systemize patient transfer to/from other hospitals (Strengthening on Building & Facility Management) 6-1. To introduce and utilize a equipment register 6-2. To improve consumable management 6-3. To strengthen function of maintenance 6-4. To give instruction toward inpatient 6-5. To improve hospital sanitation system (Up-grading of Hospital Meal Service) 7-1. To review hospital meal service system 7-2. To establish Hospital Meal Section 7-3. To implement hospital meal service (normal & therapeutic meal) 7-4. To provide sufficient information about nutrition toward patients 7-5. To promote medical staff's understanding on hospital meal 7-6. To monitor toward beneficiary of hospital meal	(Up-grading of Post-graduate Training Capability) 8-1. To frame curriculum for post-graduate training (particularly in the field of internal medicine/hematology, gastro-intestinal endoscopy, anesthesia, pediatrics, OBGY) 8-2. To implement post-graduate training (Up-grading of PMC in 3 Provinces) 9-1. To implement PMC Training Courses 9-2. To promote the health educational activities for people 9-3-1. To improve the letter system for introduction of patient 9-3-2. Provision of necessary equipment
		Assumptions : - All staff in SH have understand sufficiently on the project activities & purpose - Medical staff in 3 Provinces can participate training course held by SH - Necessary drugs are provided Condition : Japanese experts' newly-introduced techniques are approved by Ministry of Health

Evaluation by Five Criteria

1. Effectiveness (Extent to which Project objective is achieved)

*The evaluation reflected from the points of views of Japanese experts and the SH's counterparts. The evaluation criteria on the total Outputs of each Activities was judged by A, B and C (three level of criteria). The criteria was provided by the results of the following judgements; A= The indicators were generally relevant, and the Outputs of Activities were highly achieved. B= The indicators were generally relevant, but the Outputs of Activities were not sufficiently achieved, or not satisfied. C= The indicators were not relatively relevant, and the Outputs of Activities were not sufficiently achieved.

Project Purpose	Indicators	Summary
Medical service and training capability of Sethathirath Hospital (SH) are improved.	An average number of outpatients becomes over 300/day in 2004.	The outpatients becomes more than 300/day in the recent data, and the number has largely increased in compared with 2000. (In 2000, the average number of outpatients was 130.)
	An average bed occupancy rate becomes over 80% in 2004.	In the resent data, the bed occupancy rate was 61%. (The number of inpatients is 100 in average, and the utilized bed is 163. Therefore, the average bed occupancy rate is calculated 61%.)
	Number of personnel trained through the training course in SH becomes over 110/year in Sep.2004	The number of personnel trained in SH becomes 122/year in average.

The four level of status (from 1 to 4) is judged from the next criteria: Four (4)= The Outputs has completed or highly achieved with satisfaction. Three (3)= The Outputs has achieved almost or the achievement shall be expected; Two (2)= The Outputs has not completed or not achieved mostly. One (1)= The none executed of the Activity, or the Outputs are almost nothing.

Output	Indicators	Status	Summary
1. Clinical skill and knowledge in following fields are improved.		A	
1-1. Internal Medicine field (infectious disease, hematology, endocrinology)	More than 2 diagnostic / therapeutic methods are newly introduced in each year.	4	Twelve new items have been introduced as of this point.

	More than 200 patients receive the new-introduced diagnostic / therapeutic method by Sep. 2004.	4	By March 2004, the total amounted to 5,358 patients, making it likely that the goal will be well exceeded.
	Doctors' understanding on diagnostic / therapeutic knowledge is evaluated as "B" or more in 2004.	4	In March 2004, doctors' understanding was evaluated as B in infection, Hematology and Endocrinology.
	Doctors' reliability on diagnostic / therapeutic skills is evaluated as "B" or more in 2004.	3	Doctors' reliability was evaluated as B in infection and Hematology. But, relating to Endocrinology, it is needed to further improvement in their reliability.
1-2. Gastro intestinal (GI) endoscopic field	More than 8 diagnostic / therapeutic methods are newly introduced by Sep. 2004.	4	By May 2004, thirteen new diagnostic and therapeutic methods have been introduced, respectively seven in emergency, four in endoscopic diagnosis and two in upper and lower intestinal endoscopic treatment.
	More than 8 patients per day receive the new-introduced diagnostic / therapeutic method by Sep. 2004.	3	As of May 2004, an average of 2.2 people per day received newly introduced diagnostic and therapeutic methods. This figure is the same as that of June 2002. In the past five months until May 2004, upper GI has been used by 295 patients, and lower GI by 36.
	Doctors' understanding on diagnostic / therapeutic knowledge is evaluated as "B" or more in 2004.	4	Understanding on diagnostic / therapeutic knowledge is currently rated at level "B".
	Doctors' reliability on diagnostic / therapeutic skills is evaluated as "B" or more in 2004.	4	Reliability on diagnostic / therapeutic skills is currently rated at level "B".

1-3. Pediatric field (especially neonatal care)	More than 2 diagnostic / therapeutic methods are newly introduced in each year.	4	Eight (8) diagnostic / therapeutic methods are newly introduced.
	More than 100 patients receive the new-introduced diagnostic / therapeutic method by 2004.	4	As of 2003 data, 80 patients are treated with the new-introduced diagnostic / therapeutic methods.
	Doctors' understanding on diagnostic / therapeutic knowledge is evaluated as "B" or more in 2004.	4	Understanding on diagnostic / therapeutic knowledge is currently rated at level "B".
	Doctors' reliability on diagnostic / therapeutic skills is evaluated as "B" or more in 2004.	4	Reliability on diagnostic / therapeutic skills is currently rated at level "B".
1-4. X-ray field (includes CT scanner, ultrasonography)	Newly-introduced diagnostic / therapeutic techniques are used more than 70 times per month by Apr. 2004.	4	The use of CT scanner began in Aug. 2002. In the past five months until May 2004, CT scanner has been used by 357 patients, and ultrasound imaging by 2,309 patients. It means that the diagnostic / therapeutic techniques are used more than 70 times per month.
	Reliability on diagnostic skills is evaluated "B" or more by Apr. 2004	4	Reliability on diagnostic skills is currently rated at level "B".
1-5. Obstetrics and Gynecology (OBGY) field (perinatal medicine, oncology)	More than 2 diagnostic / therapeutic methods are newly introduced in each year.	4	As of this point, eight new methods have been introduced.
	More than 100 patients receive the new-introduced diagnostic / therapeutic method in Sep. 2004.	4	As of 2003, new diagnostic / therapeutic methods have been used with 160 patients.

	Doctors' understanding on diagnostic / therapeutic knowledge is evaluated as "B" or more in 2004.	4	Understanding on diagnostic / therapeutic knowledge is currently rated at level "B".
	Doctors' reliability on diagnostic / therapeutic skills is evaluated as "B" or more in 2004.	4	Reliability on diagnostic / therapeutic skills is currently rated at level "B".
1-6.General Surgery field (particularly ontological diagnosis& therapy)	Average number of operation becomes over 60 cases/month by Sep. 2004.	4	Between August 2002 and May 2004, the average number of operation became over 100 cases/month.
1-7.Other clinical fields (such as Emergency, ICU, Anesthesia, Ophthalmology, Dental care)	Understanding on instructed technique is evaluated as "B" or more by Sep. 2004.	3	Understanding on instructed technique is currently rated at level "B" except Dental care which scored still "C".

2.Skill and knowledge of Laboratory at SH are improved		A	
	Expenditure and cost status at Laboratory section is regularly reported by monthly.	4	Reports are submitted once a month at the regular weekly meeting, such as the number of diagnosis and financial status (inventory status of reagent included).
	Infection item data are regularly reported by quarterly.	4	Since March 2002, "Susceptibility Report" has been presented every quarter term. Currently, C/Ps can prepare these reports on their own.
	All introduced items are constantly executed.	4	Twenty five (25) new items have been introduced and implemented. Currently, they are used in over 6,800 examinations per month in the past five months until May 2004.
	Reproducibility is beyond qualified level in all test items.	4	Reproducibility is currently beyond qualified level.
	An internal training is held once a month.	4	As of May 2004, forty (40) internal training sessions have been held.
3.Skill and knowledge of Pharmacy at SH are improved		A	
	Drug book is established.	4	As of September 2003, Drug book was established.
	No. of registered drugs becomes over 500 items by Apr. 2004.	3	358 out of the 389 drugs currently in use was included.
	Pharmacists' understanding on drugs is evaluated as "B" or more in 2004.	4	Understanding on drugs is currently rated at level "B".

4.Skill and knowledge of Nursing field at SH are improved		B	
	Quality of nursing is evaluated as "B" or more in Apr. 2004.	3	Quality of nursing is still rated as "C".
	Patients'satisfaction toward nursing results 70 % or more in Jun. 2004.	4	As of 2002 survey, patients'satisfaction resulted 74.5%, and had cleared the goal over as 79.1% in 2003 survey.
	Nurses'understanding on basic nursing scores over 80 points in Apr. 2004.	3	Nurses'understanding scored an average of 68 points and 78 points on the test of understanding given in June 2003 and in May 2004. The score is very near to the target score.
	Evaluation on nursing record is evaluated as "B" or more by Apr. 2004.	3	Nursing records have become more thorough. It is still rated as "C" because it should be raised to improve the record level including the patient guidance.
5.Functions in Hospital Administration at SH are improved		B	
	Organization in administrative sections at SH are reformed.	4	In 2002, the organization was reformed and the position of "Cabinet" was established to make the system more efficient.
	Punctual ratio on working time becomes higher than 95% by Jun. 2004.	3	Work punctuality rate was more than 90% in May 2004 survey, and the rate is very near to the target ratio.
	Ratio on appropriately separated wastes becomes higher than 95% by Jun. 2004.	4	The average ratio between October 2001 and May 2004 is 91%. This figure has been kept so far. Separated waste system is carried out not only in nursing sec. but endoscopy, X-ray, laboratory sec.
	Medical income is constantly being higher than medical outgo until Sep. 2004.	4	Medical revenue exceeded constantly medical expenditures.

	Ratio on incorrect data inputting for patients' data system becomes lower than 5% by Jun. 2004.	4	As of May 2004 survey, the ratio was approximately 1% according to Medical Affairs Sec. Survey.
	Patients' satisfaction on hospital service results over 80% by Jun. 2004.	4	The patients' satisfaction survey was carried out last three times, and the survey resulted as 80% in total (43% of 80% satisfaction, 37% of 60~79% satisfaction). The score is just the same as the target score.
	Issuing ratio of answer letter for patients introduced from district hospitals becomes higher than 95% by Jun. 2004.	2	Since the start of this system, 288 referral letters were received, but the hospital did not answer the letters, because of the lack of manpower. From as now, the system with two letters for once from district hospitals (one of them is used for reply) is started.
6. Medical equipment and facilities can work on request at SH		A	
	Maintenance section is established.	4	Maintenance section has been established.
	Operation status of medical equipment becomes 95% or more by Sep. 2004.	4	Operation status of medical equipment becomes over the target score.
	Out-of-order status of constantly used facilities becomes lower than 5% by Sep. 2004.	4	Out-of-order status of constantly used facilities becomes lower than the target score.

7. Dietary service at SH is improved		C	
	More than 10 menus for special hospital meal are made by Aug. 2002.	4	As of Oct. 2002, twenty one (21) types have been prepared.
	Special hospital meals for Diabetes Mellitus and Hypertension are provided.	1	The meal service stopped in May, 2003 because of the stop of subsidy.
	More than 95% of inpatients take hospital meal by Apr. 2004.	1	It is a current situation which the meal service stopped.
8. Functions of training system for post-graduated doctors are improved at SH		C	
	Trainees' understanding after training courses is evaluated as "B" or more by Sep. 2004.	1	The training was not systematic and institutional.
	Trainees' satisfaction toward training courses results 80% or more by Sep. 2004.	1	The training was not systematic and institutional.

9. Referral system between local health facilities in 3 Provinces (all district hospitals in Vientiane Municipality, Central and main district hospitals in other 2 Provinces) and SH is improved.		B	
9.1 Skill and knowledge on Primary Medical Care (PMC) of medical staff at local health facilities are improved.	More than 18 PMC Training Courses are held by Sep. 2004.	4	Training is offered four times a year, for a total of seventeen (17) times up until this point. More than 18 courses are expected to be held until Project completion.
9.2 Health education toward people are promoted.	Average score of post-evaluation at each hospital after the courses becomes "B" or more.	4	The average score of post-evaluation for courses which held before March 2004 was "B".
9.3 Introduction and transportation system for patients from local health facilities is improved.	Number of health promotion materials distributed is more than 20,000 pcs per year.	4	By March 2004, 43 types of leaflets have been issued, distributed to residents primarily through SH and district hospitals. The total number of copies distributed has reached approx. 90,000.
	Patient's introduction & transfer system are established by Oct. 2002.	2	The system has been established by Dec. 2002, but not achieved as planned.

2. Relevance
(2-1) Relevance to the Overall Goal (relevant to national & sectoral policy)
● The project purpose is in the same line with the SH's goal which focuses on the quality improvement of medical service toward patients, and further, the improvement of educational function. At the same time, SH emphasizes on hospital management and expanding mutual exchange with neighbour countries' hospital. ● "Health Development Plan toward years 2020" in line with "Health Development Plan 2001-2005" (MOH) emphasizes the highly priority on fulfilment and modernization of three biggest general hospitals including SH. Therefore, it is relevant according to the hospital and national policy.
(2-2) Relevance to the needs of beneficiaries (target group)
(2-3) Appropriateness of the Project planning and implementation
● The number of patients to SH have been increased both outpatients and inpatients since 1999, thus it seems to be relevant to the needs of beneficiaries. (Especially it has been increased drastically since the Project started.) ● The project approach involves technical transfer from experts to C/Ps and personnel training through various trainings such as training in Japan and neighbour countries, and internship training at SH. ● Not only it is extensive skill improvement through technical transfer necessary, yet the assistance from long-term experts is an appropriate method since it includes cooperation in launching the new hospital and building up operational systems within it, and further, it is indispensable condition of mutual understanding and trusts between experts and C/Ps. ● The Project has been implemented at three areas where are Vientiane Municipality, Vientiane Province and Borikamsay Province. This coverage plan is relevant which the target group focuses not only patients, but also include the local people.
3. Efficiency
(3-1) Efficiency of human resource inputs
● The change of planning, the delay of decision of dispatch of experts, and the shortening of dispatch period, they affected to the Activities of the Project. Despite the above facts, as its long-term experts dispatched, it is efficient and relevant. Japanese experts' advice was appropriate and kindness. ● The dispatch period like two (2) or three (3) month of short-term experts was too short to learn technical skill and knowledge.
(3-2) Efficiency of equipment inputs
● The number of X-ray examination has increased since CT scanner introduced, and frequently utilized (more than 600/month in average). The installation of training equipment was useful for the improvement of clinical education and training system for post-graduated doctors. ● All the machinery and equipment were appropriately provided after the advice of long-term experts, which they accurately observed the appropriate levels and quantity of equipment, and counterparts' capacity. Given to the counterparts, they requested that training should be implemented before the equipment was provided to attain the technical transfer smoothly. ● The delay of equipment, which was provided to district hospital, and the change in procurement method of CT scanner, they caused the affect to the Project activities.
(3-3) Efficiency of budgetary inputs

● The budgetary inputs were provided for the necessity to the Outputs of the Project. Since the Project started, the SH staff have understood the cost sharing, which attempts to secure the budget and revenue improvement. It is evaluated that the Project implemented with efficient management.
(3-4) Efficiency of training inputs
● The eighteen (18) numbers of trainees were received in Japan, and all the trainees are working at SH. For instance, in X-ray field, the ex-trainee of hospital in Univ. of Ryukyus and Chiang Mai University is in charge of the section, and utilized very much for equipment utilization. ● The training in Japan is not only useful of technical improvement, but also learning the ethnics of medical profession and accuracy of clinics and patients, and further the materials and sample in Japan are plenty utilized for the reference and practice. ● An additional merit is that those receiving training become trainers in their section, and can instruct within the whole section.
(3-5) Others
● The Project has been running in line with the hospital construction granted by Japan. It seems to be a good timing because the project could support of new hospital management and the system.
4. Impact
(4-1) Impact to the Overall Goal
● SH becomes new hospital, which is equipped modern medical machinery, and gained a good reputation from patients and also citizen in Vientiane. In fact, it is the biggest impact through the Project implemented. ● The Project contributed the diagnostic advancement and great impact of technical improvement to SH staff, even though the basic clinics have still been behind or not yet achieved such as patients' service. ● It is magnificent that the Project does not bring the exclusive situation, such as the government budget occupied for the Project and reduced the budget for the other hospitals. ● It cannot grasp the accurate data of patient's numbers who were treated in Laos, but in fact, by the utilization of new machinery like CT scanner, the Project initiated the change of patients' flow. ● SH laboratory section has received a growing number of orders and commissions from other hospitals and private companies. In Laos, they do not have Laboratory Company, thus SH is expected to function as a reference center in Vientiane. ● SH started technical exchange with the hospital in Thailand and Vietnam. The technical exchange supplemented useful training due to the budgetary limitation of training in Japan. In addition, it aims to train the field which Japanese experts could not cover. Thus, it is proper not only language barrier but also the suitable training place in terms of technical and economical points. ● The training for staff of district hospitals constantly being implemented by SH is very effective, and it showed a model, which strengthens the referral system. ● It is still under the establishment on two-shift rotation in nursing section. It seems to reveal the standard as "modern hospital".

Impact to the Project Goal (directly or indirectly)
● The hospital systems in SH, which can efficiently consult a great number of patients, are almost established. ● The training in Japan is useful for learning of modern hospital system through the various kinds of experiences and methods. ● The know-how and experiences regarding to the hospital management, such as stability of hospital management, security of the staff and completion of lighting and heating expenses, were penetrated within SH. ● It is a great effectiveness that the C/Ps have changed gradually their consciousness in moral and ethical points by the advice of experts, self-study and examination.
5. Sustainability
(5-1) Institutional Sustainability
● SH is one of the three biggest hospitals in Laos, and will be clearly defined and more strengthening the referral function and role. At the same time, SH is situated as regional hospital in Vientiane. In addition, it is expected that the Lao government will continuously support SH. ● The talent who have superb skill and knowledge exist in SH, but it is still needed a time to fulfil the gap between top talent and young generation. ● The Project made the hospital strengthening steadily, however, adding the new function of "University Hospital" officially, it is concern about the function of "General Hospital". It is important to strengthen continuously medical functioning, and to develop human resources who will be shouldered the new hospital function.
(5-2) Financial Sustainability
● It is evaluated that SH is a right path on self-finance judged by the security of cost sharing and establishment of revolving fund. However, there is still room for improvement of financial management capacity, and definition of the strategy more clear in SH.
(5-3) Technical Sustainability
● It will sustain technically because the C/Ps have gained highly abilities, such as diagnostic / therapeutic methods, and outpatient system. ● It is expected that there are no obstacle of the maintenance and repair on expensive machinery and high-tech equipment such as CT scanner and ultrasonography in X-ray field. Because SH contracted with a company for repair and maintenance. ● Excluding study and move, the rest of C/Ps have been allocated and stayed in SH, so it is expected to stable human management continuously. ● The shortage of hospital staff, and two-shift rotation in nursing section are still need to tackle with. ● The survey on "Patients' satisfaction" and "Nurse appearance" is effective because the setting of clear goal and the improvement of clinical duty and service. Therefore, it should be continuously implemented. ● The training for staff of district hospitals constantly being implemented by SH is very effective, and the training should be continued.

	JFY 1999	JFY 2000	JFY 2001	JFY 2002	JFY 2003	JFY 2004
Field	Month	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9				
Chief Advisor		Hiroyuki NOZAKI 01.Oct.'99 - 30.Sep.'01				
Coordinator		Kazuhiko OTSUKI 01.Oct.'99 - 30.Sep.'02				
Hospital Administration		Shigeo AZENISHII 01.Nov.'99 - 30.Jun.'02				
General Medicine		Hiroko MIYAGI 15.Jan.'00 - 14.Jan.'01				
Nursing		Chiyoimi UEMA 01.Mar.'00 - 28.Feb.'01				
General Medicine		Kazuya MATAYOSHII 28.Mar.'00 - 27.Mar.'01				
Nursing		Sunnie ODO 01.May.'01 - 30.Apr.'02				
General Medicine		Yoshiaki OKUDA 12.Jun.'01 - 30.Sep.'01				
Chief Advisor		Yoshiaki OKUDA 01.Oct.'01 - 11.Jun.'03				
General Medicine		Hiroyuki NOZAKI 01.Oct.'01 - 30.Sep.'03				
Laboratory		Isumi NAKASONE 21.Oct.'01 - 22.Oct.'02				
Nursing		Kazuko IWATA 01.Apr.'02 - 31.Mar.'03				
Hospital Administration		Yoshinichi TOKUO 01.Jun.'02 - 31.May.'04				
Coordinator		Takehiko TAKAHASHI 13.Sep.'02 - 30.Sep.'04				
Clinical Laboratory		Kazumi KINJO 27.MAR.'03 - 27.Mar.'04				

- Status of Input -
Dispatch of Japanese Experts

Field	Year	JFY 1999	JFY 2000	JFY 2001	JFY 2002	JFY 2003	JFY 2004
Pediatrics	Month	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9					
Hospital Administration			Hirohisa TAKETOMI 15 Jan '00 - 14 Mar '00				
Pharmacy			Mitsuo YOHENA 01 Nov '00 - 30 Apr '01 Eriko GIBO 20 Nov '00 - 30 Apr '01				
Nursing			Mitsue NAKAMURA 25 Feb '01 - 31 Mar '01				
Building Maintenance			Kenichiro YAGYU 28 Apr '01 - 27 Sep '01				
Building Maintenance			Shozo ISHIKAWA 04 Jun '01 - 03 Jul '01				
Nutrition / Hospital Meal			Kae IZENA 25 Jun '01 - 24 Sep '01				
Pediatrics			Yoshihide ASATO 18 Sep '01 - 17 Nov '01				
Patients' Movement Analysis			Dairiku HOZUMI 09 Oct '01 - 25 Oct '01				
X-ray			Naofumi KATSUYAMA 06 Nov '01 - 30 Nov '01				
Internal Medicine - Endoscopy			Nagisa KINJO 08 Jan '02 - 07 Apr '02				
Internal Medicine - Endoscopy			Fukunori KINJO 01 Feb '02 - 28 Feb '02				
Gynecology			Makoto NOHARA 17 Mar '02 - 27 Apr '02				
Building Maintenance			Kenichiro YAGYU 10 Apr '02 - 09 Oct '02				
Radiology			Tasuku AKAMINE 21 Jul '04 - 17 Nov '03				
Surgery			Yoshiaki TAKESHIMA 21 Jul '04 - 17 Nov '03				
Nutrition / Hospital Meal			Chikako OSHIRO 01 Aug '03 - 30 Nov '02				
Patients' Movement Analysis			Dairiku HOZUMI 09 Oct '02 - 25 Oct '02				
Pediatrics (NICU)			Akihiro KAWAKAMI 20 Dec '02 - 20 Feb '03				
Internal Medicine - Endoscopy			Nagisa KINJO 07 Jan '04 - 06 Apr '03				
Gynecology			Kaoru SAKUMOTO 16 Jan '02 - 27 Feb '03				
Dentistry			Hajime SUNAKAWA 17 Mar '03 - 27 Mar '03				
Pharmacy			Shigeo SUDA 24 Mar '03 - 23 Jun '03				
Nursing			Takako SHIMOI 23 Jan '03 - 22 Dec '03				
Dentistry			Hajime SUNAKAWA 03 Nov '03 - 29 Nov '03				
Internal Medicine - Endoscopy			Nagisa KINJO 07 Jan '04 - 06 Apr '04				
Organizational Strengthening			Naoyu AZEGAMI 01 Feb '04 - 06 Mar '04				
Radiology			Tasuku AKAMINE 28 Feb '04 - 26 Mar '04				
Building Maintenance			Shozo ISHIKAWA 21.3.04 - 11 Apr '04				
Surgery			Yoshiaki TAKESHIMA 11 Apr '04 - 10 Jul '04				

- Status of Input -

Field	Year	JFY 1999	JFY 2000	JFY 2001	JFY 2002	JFY 2003	JFY 2004
(Organization)	Month	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9
Hospital Administration (Ryukyuu univ., Okinawa pref.)		Dr. Bouaphun PHANTHAVADY / 02.Nov'99 - 24.Nov'99 Director of SH					
Hospital Administration (Ryukyuu univ., Okinawa pref.)		Dr. Chaphonima VONGSAMPHANH / 02.Nov'99 - 24.Nov'99 Director of Vientiane Health Dept.					
X-ray (Ryukyuu univ.)		Dr. Vuckaly BOUDTAVONG / 02.Nov'99 - 31.Jan'00 Chief of X-ray Sec., SH					
Nursing (Ryukyuu univ.)		Ms. Pindavone PHAXAYAVONG / 08.May'00 - 07.Feb'01 Chief Nurse of Pediatric Sec., SH					
Pediatrics (Ryukyuu univ.)		Dr. Khanpie PHONGSAVAT / 11.Sep'00 - 10.Oct'00 Deputy Director & Head of Pediatric Dept. SH					
Obstetrics & Gynecology (Ryukyuu univ.)		Dr. Keekedithong PHONGSAVAN / 11.Sep'00 - 10.Dec'00 Doctor of OBGY Sec., SH					
Internal Medicine - Endoscopy (Ryukyuu univ.)		Dr. Oukeyo KHOUNTHALYVONG / 10.May'01 - 14.Aug'01 Doctor of Internal Medicine Sec., SH					
Nursing - Endoscopy (Ryukyuu univ.)		Ms. Khambha SIOUDOM / 10.May'01 - 14.Aug'01 Chief Nurse of Internal Medicine Sec., SH					
Hospital Administration (Tomishiro central hosp.)		Dr. Thongdy LUANGXAY / 13.Sep'01 - 09.Dec'01 Chief of General Affairs Sec., SH					
Building Maintenance (Marusei Co.Ltd.)		Mr. Sykhen SOULIPHONH / 15.Jan'02 - 02.Feb'02 Chief of Operation & Maintenance Sec., SH					

- Status of Input -

	Year	JFY 1999	JFY 2000	JFY 2001	JFY 2002	JFY 2003	JFY 2004
Field	Month	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
Nursing			13 staff / 08.Oct'00 - 24.Oct'00 (Chiang Mai University Hospital, Thailand)				
Hospital Administration			9 staff / 09.Oct'00 - 18.Oct'00 (Kalasin Provincial Hospital, Thailand)				
ICU & ER				4 staff / 01.Jul'01 - 31.Jul'01 (Kalasin Provincial Hospital, Thailand)			
CT Scanner					Dr Phiphob / 26.Sep.'02-14 Oct.'02 / Mr.Bounma / 26 Sep.'02-14 Oct.'02 (Chiang Mai University Hospital, Thailand) 8 visitors / 14.May'02 - 18.May'02 (from Bach Mai Hospital, Vietnam)		
(Visitor from Vietnam)							
ICU / Hematology							

2staff/ 12.Jan.'03-27.Feb.'04
(Khonken University Hospital, Thailand)

ບັນຊີເຄື່ອງຊ່ວຍເຫລືອຈາກອົງການໄຈກາ(The Equipment from JICA)

ສຳຫລວດຄັ້ງວັນທີ 15-20/05/2004

ພາຍໃຕ້ໂຄງການຮ່ວມມືດ້ານວິຊາການ(Technical cooperation project,Jica)ຂອງໂຮງໝໍເສດຖາທິລາດ

No.	FY	Category	Equip. No	Group Code	Type	Item Name (English)	Product No.	Brand Model No	Qty	Place of Installation	Person in charge	Year/Expert	Status of Management	Status of Running	REMARK
0123	00(H11)	PJ	99PJ-035	MED	EOP	Syring Pump	S/N : 99J20039	TERUMO Model No : TE-311	1	AICU	Mrs. Manychanh	1999	O	A	
0132	00(H12)	PJ	00PJ-003	OFC	EOP	Refrigerator		HITACHI 5.9 Q (R-17HS)FL0634-	1	AICU	Mrs. Manychanh	2000	O	A	
0220	00(H12)	PJ	00PJ-129	MED	EOP	Bed side monitor: BSM-7201K	S / R No : 00263	Module No : BSM - 7201 K	1	AICU	Mrs. Manychanh	2001	O	A	
0228	00(H12)	PJ	00PJ-135-2	MED	EOP	Dust Box		Module No : BSM - 7201 K	1	AICU	Mrs. Manychanh	2001	O	A	
0380	02(H14)	PJ	02PJ-018	MED	EOP	Table for prepare a injection		15-16 hooks for drip-bottle	1	AICU	Mrs. Manychanh	2003	O	A	
0483	99(H11)	PJ	99PJ-033	MED	EOP	Infusion pump	S/N : *1310CX20EE331716	IMED Gemini PC-1	1	AICU	Mrs. Manychanh	1999	O	A	
0107	99(H11)	PJ	99PJ-047	MED	EOP	Vacuum cleaner	S/N : 01612	KLENCO Typhoon 327	1	AICU	Mrs. Manychanh	1999	O	A	
0179	00(H12)	PJ	00PJ-083-11	MED	ACC	Impulser	Ser No : 004363	PRO - MECH SR - 6000	1	AICU	Mrs. Manychanh	2001	O	A	
0215	00(H12)	PJ	00PJ-125	MED	EOP	Mobile X-ray Unit & ETC	S / N : SX10160003	HITACHI (ZU - A3TD-5)	1	AICU	Mrs. Manychanh	2001	O	A	
0246	00(H12)	LC	00LC-023-3	MED	EOP	Instrument Trolley Stainless (Size WxLxH = 430x330x880 mm)			1	AICU	Mrs. Manychanh	2001	O	A	
0255	00(H12)	LC	00LC-027-3	MED	EOP	Charts Holder Insert Trolley (30 charts capacity Size 17.5" x 33")			1	AICU	Mrs. Manychanh	2001	O	A	
0276	01(H13)	PJ	01PJ-002A.B	MED	EOP	Plum Sterilizing Locker, AC 100 V		ZENKO Timer Model No. DMM-V	1	AICU	Mrs. Manychanh	2001	O	A	
0297	01(H13)	LC	01LC-007	MED	EOP	Hot Water	Ser No. : 000110	ARISTON P 300 V 2,5	1	AICU	Mrs. Manychanh	2001	O	A	
0378	02(H14)	PJ		MED	EOP	Hyperseptic Hand-wash Basin with water Purification system,	INF 060		1	AICU	Mrs. Manychanh	2003	O	A	
0238	00(H12)	PJ	00PJ-137-2	MED	EOP	Emergency Cart Main Body (Blue)	With Dust Box PR - 610	Dust Box PR - 610	1	AICU + PICU	Mrs. Manychanh	2001	O	A	
0279	01(H13)	LC	01LC-002-2	MED	ACC	Oxygen Gauge		FR JK	1	AICU + PICU	Mrs. Manychanh	2001	O	B	
0353	02(H14)	PJ	02PJ-018-D1 - D4	MED	EOP	Carry Wagon (Large)		2 floors. Attached handlesbar	4	AICU,SUG, INF	Mrs. Manychanh	2003	O	A	
0425	03(H15)	PJ	04PJ-09-1	MED	EOP	Syringe Pump	S/N: 03090301	TE-331	1	AICU	Mrs. Manychanh	2004	O	A	
0426	03(H15)	PJ	04PJ-09-2	MED	EOP	Syringe Pump	S/N: 03110198	TE-331	1	AICU	Mrs. Manychanh	2004	O	A	
0427	03(H15)	PJ	04PJ-09-3	MED	EOP	Syringe Pump	S/N: 03090199	TE-331	1	AICU	Mrs. Manychanh	2004	O	A	
0300	01(H13)	PJ	01PJ-013-A	MED	EOP	VHF Transceiver	Serial No. : 39908	ICOM 2100 H W	1	Ambulance car	Dr. Phoupsong	2002	O	A	DOH
0301	01(H13)	PJ	01PJ-013-B	MED	EOP	HF Transceiver	Serial No. : 14511	ICOM 77 W	1	Ambulance car	Dr. Phoupsong	2002	O	A	DOH
0304	01(H13)	PJ	01PJ-013-D-1	MED	EOP	Transceiver	Serial No. : 14363	ICOM 706 MK II	1	Ambulance car	Dr. Phoupsong	2002	O	A	DOH
0305	01(H13)	PJ	01PJ-013-D-2	MED	EOP	Transceiver	Serial No. : 14352	ICOM 706 MK II	1	Ambulance car	Dr. Phoupsong	2002	O	A	DOH
0306	01(H13)	PJ	01PJ-013-D-3	MED	EOP	Transceiver	Serial No. : 05623	ICOM 706 MK II	1	Ambulance car	Dr. Phoupsong	2002	O	A	DOH
0339	01(H13)	PJ	01PJ-068A-1	MED	EOP	Repeater ICOM		ICOM IC.VR 8030	1	Ambulance car	Dr. Pupsong	2002	O	A	
0341	01(H13)	PJ	01PJ-068C-1A	MED	EOP	Hand Held		KENWOOD T22A	1	Ambulance car	Dr. Pupsong	2002	O	A	
0302	01(H13)	PJ	01PJ-013-C-1	MED	EOP	HF / VHF Transceiver	Serial No. : 14380	ICOM 706 MK II W	1	Ambulance car	Dr. Pupsong	2002	O	A	
0286	01(H13)	AC	01AC-024	MED	EOP	Handle with Battery for above			1	Anesthesia	Dr. Kco	2001	O	B	
0394	03(H15)	PJ	03PJ-001	MED	EOP	Microphone		DSC 024 SMH	1	Anesthesia	Dr. Kco	2003	O	B	
0039	99(H11)	PJ	99PJ-008-1A.B	IEC	EOP	Haematocrit Centrifugal Separator/ with 24 tubes capillaries/12000		NPE PRO Series - 16	2	Conference Rm	Dr. Thongdy	1999	O	A	
0040	99(H11)	EX	99EX-012	OFC	EOP	Overhead Projector 3M # 9550	Serial No. : 1069726	Model : 9000 AHHU	1	Conference Rm	Mrs. Sililack	1999	O	A	
0277	01(H13)	PJ	01PJ-003A	MED	EOP	OA Board, Electric White Board F1			1	Conference Rm	Dr. Thongdy	2001	O	A	
0294	01(H13)	PJ	01PJ-007A	OFC	EOP	Central Control	Ser No. : EH004509	PHILIPS LBB 3310 / 00	1	Conference Rm	Dr. Thongdy	2001	O	A	
0313	99(H12)	EX	99EX-012	OFC	EOP	Overhead Projector 3M # 9550	Serial No. : 1069726	Model : 9000 AHHU	1	Conference Rm	Mrs. Sililack	1999	O	A	
0183	00(H12)	PJ	00PJ-083-15	MED	ACC	Impulser	Ser No. : 004348	PRO - MECH SR - 6000	1	Denial	Dr. Thongsavanh	2001	O	A	
0451	04(H16)	PJ	04PJ-28	MED	EOP	Electric Ultrasonic scaler		DO3100	1	Denial	Dr. Thongsavanh	2004	O	A	
0140	00(H12)	LC	99LC-046-2	OFC	EOP	Book Shelf			1	Director Rm	Dr. Somock	2000	O	A	
0143	00(H12)	LC	99LC-046-5	OFC	EOP	Book Shelf			1	Director Rm	Dr. Somock	2000	O	A	
0144	00(H12)	LC	99LC-046-6	OFC	EOP	Book Shelf			1	Director Rm	Dr. Somock	2000	O	A	
0112	00(H12)	LC	99LC-028	MED	EOP	Air Condition		NATIONAL	1	DOH	Dr. Phoupsong	1999	O	A	
0343	01(H13)	PJ	01PJ-068C-3A	MED	EOP	Hand Held	Ser No. : A 116685	KENWOOD T22A	1	DOH	Dr. Phoupsong	2002	O	A	
0204	00(H12)	PJ	00PJ-084-A	MED	EOP	Gastrointestinal fibroscope		PENTAX 2000	1	Eoscopy room	Dr. Oukey	2001	O	A	
0299	01(H13)	PJ	01PJ-012-A	MED	EOP	Cobalt fibroscope Unit	Serial No: A110185	PENTAX FC 38 LW	1	Eoscopy room	Dr. Oukey	2002	O	A	
0319	01(H13)	AC		MED	EOP	Notebook computer			1	Eoscopy room	Dr. Oukey	2003	O	A	Dr. King
0395	03(H15)	PJ	03PJ-002	MED	EOP	Pentax Video Gastrointestinal Scope		Pentax EG-2930k	1	Eoscopy room	Dr. Oukey	2003	O	A	

No.	FY	Category	Equip. No	Group Code	Type	Item Name (English)	Product No.	Brand Model No	Qty	Place of Installation	Person in charge	Year/Expert	Status of Management	Status of Running	REMARK
0396	03(H15)	PJ	03PJ-002-1	MED	EQP	Pentax Video color processor light source EPK-700		Pentax EPK-700	1	Edoscope room	Dr. Oukeo	2003	O	A	
0397	03(H15)	PJ	03PJ-002-2 & 002	MED	EQP	Memory Unit :		SONY UP-A-P 100 MD	1	Edoscope room	Dr. Oukeo	2003	O	A	
0398	03(H15)	PJ	03PJ-002-3	MED	EQP	Note Book Computer.		Acer Window XP	1	Edoscope room	Dr. Oukeo	2003	O	A	
0399	03(H15)	PJ	03PJ-002-4	MED	EQP	Sony Video Color Printer		SONY UP-21 MD	1	Edoscope room	Dr. Oukeo	2003	O	A	
0400	03(H15)	PJ	03PJ-002-5	MED	EQP	Sony 14" Color TV Monitor.		Sony PRM-14 N 6 E	1	Edoscope room	Dr. Oukeo	2003	O	A	
0401	03(H15)	PJ	03PJ-002-6A, 6B	MED	EQP	Cart for pentax video Endoscope System with Scope Hanger		MSC-V4	2	Edoscope room	Dr. Oukeo	2003	O	A	
0402	03(H15)	PJ	03PJ-002-7	MED	EQP	Automatic Voltage stabilizer		SVC-500NA	1	Edoscope room	Dr. Oukeo	2003	O	A	
0403	03(H15)	PJ	03PJ-002-8	MED	EQP	Endoscopic Cabinet		Thai	1	Edoscope room	Dr. Oukeo	2003	O	A	
0404	03(H15)	PJ	03PJ-002-9	MED	EQP	Accessories for EG-2940		Pentax	1	Edoscope room	Dr. Oukeo	2003	O	A	
0405	03(H15)	PJ	03PJ-002-10	MED	EQP	ULTRASONIC CLEANER TRASONIC T 820/H		Elma 29750000000	1	Edoscope room	Dr. Oukeo	2003	O	A	
0406	03(H15)	PJ	03PJ-002-11	MED	EQP	PULSE OXIMETER:		MD 600 P	1	Edoscope room	Dr. Oukeo	2003	O	C	
0407	03(H15)	PJ	03PJ-002-12	MED	EQP	Nebulizer		THOMAS 1140 Series/1142	1	Emergency	Mrs. Bounsang	1999	O	A	
0408	03(H15)	PJ	03PJ-031	MED	EQP	Respirator (Ventilator)		VENTILATOR Servo 900	1	Emergency	Mrs. Bounsang	1999	O	A	
0409	03(H15)	PJ	03PJ-052-3	MED	EQP	Oscopse		Model : 95503 (GONSESE FRAM	1	Emergency	Mrs. Bounsang	1999	O	C	
0410	03(H15)	PJ	03PJ-052-3	MED	ACC	Printer		PRO - MECH SR - 6000	1	Emergency	Mrs. Bounsang	2001	O	A	
0411	03(H15)	PJ	03PJ-134 - 2	MED	EQP	Height / Weighing Scale with Standard Accessorie, Transformer		KDS (DST 21 ON)	1	Emergency	Mrs. Bounsang	2001	O	A	
0412	03(H15)	PJ	03PJ-135 - 1	MED	EQP	Dust Box		113 - 045 - 01 (004705)	1	Emergency	Mrs. Bounsang	2001	O	A	
0413	03(H15)	PJ	03PJ-137 - 1	MED	EQP	Emergency Cart Main Body (Red) With Dust Box PR - 610		Dust Box PR - 610	1	Emergency	Mrs. Bounsang	2001	O	A	
0414	03(H15)	PJ	03PJ-025-2	MED	EQP	Instrument Trolley Stainless (Size WxLxH = 450x30x880 mm)			1	Emergency	Mrs. Bounsang	2001	O	A	
0415	03(H15)	PJ	03PJ-026 - 1	MED	EQP	Tree Fold Screen Stainless-no clothse/ Size W=2700 x H = 1780)			1	Emergency	Mrs. Bounsang	2001	O	A	
0416	03(H15)	PJ	03PJ-026 - 2	MED	ACC	Oxygen Gauge		FR 1K	1	Emergency	Mrs. Bounsang	2001	O	A	
0417	03(H15)	PJ	03PJ-027 - 1	MED	ACC	Nebulizer with Nebulizer kit		MILLION - S	1	Emergency	Mrs. Bounsang	2001	O	A	
0418	03(H15)	PJ	03PJ-052-5	MED	EQP	Oscopse		Model : 95503 (GONSESE FRAM	1	ENT	Dr. Sonkeo	1999	O	C	
0419	03(H15)	PJ	03PJ-049	MED	EQP	Tosil Operation Instrument Set		PMS	1	ENT	Dr. Sonkeo	2002	O	A	
0420	03(H15)	PJ	03PJ-050	MED	EQP	Paranasal Sinus of Operating Instrument set		PMS	1	ENT	Dr. Sonkeo	2002	O	A	
0421	03(H15)	PJ	03PJ-043A	OFC	EQP	Computer		COMPAQ Deskpro EP	1	Financial Sec	Mr. Bounchanh	1999	O	A	
0422	03(H15)	PJ	03PJ-046A - 4	OFC	EQP	Book Shelf		LEICA (MZ6)	1	Financial Sec	Mr. Bounchanh	2000	O	A	
0423	03(H15)	PJ	03PJ-046A - 3	OFC	EQP	Copioscope set			1	Gynecology	Dr. Thongdy	1999	O	A	
0424	03(H15)	EX	03EX-013	OFC	EQP	Vehicle (HILUX)		TOYOTA HILUX TIGER(LNI451	1	Hospital	Dr. Thongdy	1999	O	A	
0425	03(H15)	EX	03EX-016	OFC	EQP	Vehicle (HIACE)			1	Hospital	Dr. Thongdy	1999	O	A	
0426	03(H15)	LC	03LC-001-1A,B	MED	EQP	Air Condition		MISUBISHI Air condition Mr. Slin	1	Hospital Rm 102	Dr. Thongdy	2001	O	B	
0427	03(H15)	LC	03LC-001-2A,B	MED	EQP	Air Condition		MISUBISHI Air condition Mr. Slin	1	Hospital Rm 102	Dr. Thongdy	2001	O	B	
0428	03(H15)	LC	03LC-001-3A,B	MED	EQP	Air Condition		MISUBISHI Air condition Mr. Slin	1	Hospital Rm 108	Dr. Thongdy	2001	O	B	
0429	03(H15)	LC	03LC-001-4A,B	MED	EQP	Air Condition		MISUBISHI Air condition Mr. Slin	1	Hospital Rm 108	Dr. Thongdy	2001	O	B	
0430	03(H15)	LC	03LC-001-5A,B	MED	EQP	Air Condition		MISUBISHI Air condition Mr. Slin	1	Hospital Rm 202	Dr. Thongdy	2001	O	B	
0431	03(H15)	LC	03LC-001-6A,B	MED	EQP	Air Condition		MISUBISHI Air condition Mr. Slin	1	Hospital Rm 202	Dr. Thongdy	2001	O	B	
0432	03(H15)	LC	03LC-001-7A,B	MED	EQP	Air Condition		MISUBISHI Air condition Mr. Slin	1	Hospital Rm 208	Dr. Thongdy	2001	O	B	
0433	03(H15)	LC	03LC-001-8A,B	MED	EQP	Air Condition		MISUBISHI Air condition Mr. Slin	1	Hospital Rm 208	Dr. Thongdy	2001	O	B	
0434	03(H15)	LC	03LC-001-9A,B	MED	EQP	Air Condition		MISUBISHI Air condition Mr. Slin	1	Hospital Rm 215	Dr. Thongdy	2001	O	B	
0435	03(H15)	LC	03LC-001-10A,B	MED	EQP	Air Condition		MISUBISHI Air condition Mr. Slin	1	Hospital Rm 215	Dr. Thongdy	2001	O	B	
0436	03(H15)	LC	03LC-001-11A,B	MED	EQP	Air Condition		MISUBISHI Air condition Mr. Slin	1	Hospital Rm 221	Dr. Thongdy	2001	O	B	
0437	03(H15)	LC	03LC-001-12A,B	MED	EQP	Air Condition		MISUBISHI Air condition Mr. Slin	1	Hospital Rm 221	Dr. Thongdy	2001	O	B	
0438	03(H15)	PJ	03PJ-001B	ADM	EQP	Computer		POWELL Acolus	1	I R S	Dr. Keokethong	1999	O	A	
0439	03(H15)	PJ	03PJ-003	ADM	EQP	Printer I (Laser type)		HP Laser Jet 5000	1	I R S	Dr. Keokethong	1999	O	A	
0440	03(H15)	PJ	03PJ-020-3	OFC	EQP	Computer table		TAIYO TC - 80	1	I R S	Dr. Keokethong	1999	O	A	
0441	03(H15)	PJ	03PJ-020-4	OFC	EQP	Computer table		TAIYO TC - 80	1	I R S	Dr. Keokethong	1999	O	A	
0442	03(H15)	PJ	03PJ-030	MED	EQP	Oscopse		Sepenger 570047	1	Internal MD	Mrs. Linda	1999	O	A	
0443	03(H15)	PJ	03PJ-004	OFC	EQP	Refrigerator		HITASHI S 9 Q (R-17HS)FL0634-	1	Internal MD	Mrs. Linda	2000	O	A	
0444	03(H15)	PJ	03PJ-077 - 3	MED	EQP	Drug Cabinet			1	Internal MD	Mrs. Linda	2001	O	A	

No.	FY	Category	Equip. No	Group Code	Type	Item Name (English)	Product No.	Brand Model No	Qty	Place of Installation	Person in charge	Year / Expert	Status of Management	Status of Running	REMARK
0233	00(H12)	PJ	00PJ-135-7	MED	EOP	Dust Box		113 - 045 - 01 (004705)	1	Internal MD	Mrs. Linda	2001	O	A	
0239	00(H12)	PJ	00PJ-137-3	MED	EOP	Emergency Cart Main Body (Yellow) With Dust Box PR - 610		Dust Box PR - 610	1	Internal MD	Mrs. Linda	2001	O	A	
0244	00(H12)	LC	00LC-025-1	MED	EOP	Instrument Trolley Stainless (Size WxLxH = 450x530x880 mm)			1	Internal MD	Mrs. Linda	2001	O	A	
0253	00(H12)	LC	00LC-027-1	MED	EOP	Charts Holder Insert Trolley (30 charts capacity Size 17.5" x 13")			1	Internal MD	Mrs. Linda	2001	O	A	
0280	01(H13)	LC	01LC-002-3	MED	ACC	Oxygen Gauge		FR 1K	1	Internal MD	Mrs. Linda	2001	O	A	
0773	00(H12)	PJ	00PJ-132-1	MED	EOP	Nebulizer with Nebulizer kit	S / R No : 0011004	MILLION - S	1	Internal MD	Mrs. Linda	2000	O	C	
0431	01(H13)	PJ	04PJ-11	MED	EOP	Electrocardiogram Analyzer		FOP-2155 ECG	1	Internal MD	Dr. Thongkham	2004	O	A	
0331	01(H13)	AC	02AC-002-1	MED	EOP	Blender with transformer		National MX-X103D	1	Kitchen Room	Mrs. Somhack	2002	O	A	
0352	01(H13)	AC	02AC-002-2	MED	EOP	Blender with transformer		National MX-X103D	1	Kitchen Room	Mrs. Somhack	2002	O	A	
0333	01(H13)	AC	02AC-002-3	MED	EOP	Blender with transformer		National MX-X103D	1	Kitchen Room	Mrs. Somhack	2002	O	A	
0354	01(H13)	AC	02AC-003-1	MED	EOP	Speed Cutter		National MK-K77	1	Kitchen Room	Mrs. Somhack	2002	O	A	
0355	01(H13)	AC	02AC-003-2	MED	EOP	Speed Cutter		National MK-K77	1	Kitchen Room	Mrs. Somhack	2002	O	A	
0356	01(H13)	AC	02AC-004	MED	EOP	Digital SaltMeter with Transformer		Sekui SS-31A	1	Kitchen Room	Mrs. Somhack	2002	O	A	
0094	99(H11)	LC	LAO	MED	EOP	Adjustable pipette 50-200 ul	CQ 17145	HUMAN 19130	1	LABO	Dr. Saykham	1999	O	A	
0095	99(H11)	LC	LAO	MED	EOP	Adjustable pipette 200-1000 ul	CQ 17460	HUMAN 19140	1	LABO	Dr. Saykham	1999	O	A	
0135	00(H12)	LC	00PJ-139	MED	EOP	Vortex Mixer VM 300	S/N : 9100397	Gemmy Industrial Corp.	1	LABO	Dr. Saykham	2000	O	A	
0157	00(H12)	PJ	00PJ-008-1	MED	EOP	Blood gas analyzer GD 7012	S/R No : OP3-2712	AVL OPTI GD 7012 Model : OPT	1	LABO	Dr. Kathin	2000	O	A	
0158	00(H12)	PJ	00PJ-008-2	MED	EOP	Blood gas analyzer GD 7012	S/R No : OP3-2705	AVL OPTI GD 7012 Model : OPT	1	LABO	Dr. Kathin	2000	O	B	
0222	00(H12)	PJ	00PJ-131	MED	EOP	Bilirubin meter with standard Access	Ser No. : 772872	NIKON Eclipse E600	1	LABO	Dr. Saykham	2001	O	A	
0235	00(H12)	PJ	00PJ-135-9	MED	EOP	Dust Box		113 - 045 - 01 (004705)	1	LABO	Mrs. Hueng	2001	O	A	
0240	00(H12)	PJ	00PJ-138	MED	EOP	Differential Interference Contrast Microscope	S/N : 772872	E 600 E6F-DIC -	1	LABO	Dr. Kathin	2001	O	A	
0241	00(H12)	PJ	00PJ-139	MED	ACC	Microscope Photo System		H - III - 35 - PLI	1	LABO	Dr. Kathin	2001	O	A	
0257	01(H13)	PJ	01PJ-005-1	MED	EOP	Micro - Pipetter 5-50 ul	Serial No : CR 21682	Human 19120	1	LABO	Dr. Saykham	2001	O	A	
0288	01(H13)	PJ	01PJ-005-2	MED	EOP	Micro - Pipetter 5-50 ul	Serial No : CR 57900	Human 19120	1	LABO	Dr. Saykham	2001	O	A	
0289	01(H13)	PJ	01PJ-005-3	MED	EOP	Micro - Pipetter 200-100 ul	Serial No : CR 17857	Human 19130	1	LABO	Dr. Saykham	2001	O	A	
0290	01(H13)	PJ	01PJ-005-4	MED	EOP	Micro - Pipetter 200-100 ul	Serial No : CR 35320	Human 19130	1	LABO	Dr. Saykham	2001	O	A	
0291	01(H13)	PJ	01PJ-005-5	MED	EOP	Micro - Pipetter 5-50 ul	Serial No : CR 53046	Human 19140	1	LABO	Dr. Saykham	2001	O	A	
0292	01(H13)	PJ	01PJ-005-6	MED	EOP	Micro - Pipetter 5-50 ul	Serial No : CR 17627	Human 19140	1	LABO	Dr. Saykham	2001	O	A	
0296	01(H13)	PJ	01PJ-010A	MED	EOP	Hemoglobin Electrophoresis	Ser No. : 71461	HELENA Junior 24	1	LABO	Dr. Saykham	2001	O	A	
0311	99(H11)	EX	LAO	MED	EOP	Binocular Microscope		OLYMPUS # CH 30	1	LABO	Dr. Saykham	1999	O	A	
0312	99(H11)	EX	LAO	MED	EOP	Binocular Microscope		OLYMPUS # CH 30	1	LABO	Dr. Saykham	1999	O	A	
0317	01(H13)	PJ	01PJ-014	MED	EOP	Automatic Immunoassay Apparatus Co	Ser No. V 12 U 4519	BIOMERIEUX (VIDAS 12)	1	LABO	Dr. Saykham	2002	O	A	
0324	01(H13)	PJ	01PJ-048	MED	EOP	Electrolyte Analyzers	Serial No.: 20470 ANKC	MEDICA Easylyte	1	LABO	Dr. Chanthaboun	2002	O	A	
0333	01(H13)	LC	01LC-010-1	MED	EOP	Timer clock	OT9017-A	CITIZEN	1	LABO	Dr. Kathin	2002	O	A	
0334	01(H13)	LC	01LC-010-2	MED	EOP	Timer clock	DX9019-B 071	CITIZEN	1	LABO	Dr. Kathin	2002	O	A	
0335	01(H13)	LC	01LC-010-3	MED	EOP	Timer clock	OT9017-A	CITIZEN	1	LABO	Dr. Kathin	2002	O	A	
0371	02(H14)	PJ	02PJ-003	MED	EOP	Automatic blood culture	NB 4482 or ca. 445800	BACTEC 9050 Instrument	1	LABO	Dr. Kathin	2002	O	A	
0372	02(H14)	PJ	02PJ-009	MED	EOP	Olympus Microscope Model C	T2 No: 2L 01720	CH20 / 1000X	2	LABO	Dr. Saykham	2003	O	A	
0376	02(H14)	PJ	02PJ-014-A-B	MED	EOP	Urine density meter	059476 and 059477	GETI (LAME 098/2002)	1	LABO	Dr. Saykham	2003	O	A	
0379	02(H14)	PJ	02PJ-016	MED	EOP	Fully Automated Bio- Chemistry Anal	SIN 4572	CX 5	1	LABO	Dr. Saykham	2003	O	A	
0413	03(H15)	PJ	03PJ-017	MED	EOP	Laminar Air Flow Cabinets " Microbi	S/N: 30302819	Catalog No. 520 70000	1	LABO	Dr. Saykham	2003	O	A	
0416	03(H15)	PJ	02PJ-16-2	MED	EOP	Printer (New one fore change old one)	S/N: 211A1008729	Model No: GE 7200B	1	LABO	Dr. Chanthaboun	2003	O	C	
0421	03(H15)	PJ	04PJ-005	MED	EOP	Computer Pentium 42.0GHz System	42.0GHz 400-MHz Seysstem Bus512-BK1.2		1	LABO	Dr. Kathin	2004	O	A	
0430	03(H15)	PJ	04PJ-10	MED	EOP	Urine Analyzer (Uriliu S)	S/N: MX09210708	Roche, Diagnostic	1	LABO	Dr. Saykham	2004	O	C	
0459	04(H16)	PJ	04PJ-36	MED	EOP	Automatic blood cells analyzer apparatus			1	LABO	Dr. Saykham	2004	O	A	
0460	04(H16)	PJ	04PJ-37	MED	EOP	Computer Laptop			1	LABO	Dr. Saykham	2004	O	A	
0461	04(H16)	PJ	04PJ-38	MED	EOP	Laser Printer			1	LABO	Dr. Saykham	2004	O	A	
0030	99(H11)	PJ	LAO	IEC	EOP	TV Monitor.	D91 002711	HITACHI C 2080 MS-192	1	Library	Mrs. Manolom	1999	O	A	
0031	99(H11)	PJ	LAO	IEC	EOP	Video player	G9 TB 0036	NV-SR 38	1	Library	Mrs. Manolom	1999	O	A	
0137	00(H12)	LC	LAO	OFC	EOP	Air Condition		MISUBISHI Golden cool (12000	1	Library	Mrs. Manolom	2000	O	C	

No.	FY	Category	Equip. No	Group Code	Type	Item Name (English)	Product No.	Brand Model No	Qty	Place of Installation	Person in charge	Year/Expert	Status of Management	Status of Running	REMARK
0138	00(H12)	LC	99LC-045 A	OFC	EQP	Computer	S/N : 00253605		1	Library	Mrs. Manolom	2000	O	A	
0141	00(H12)	LC	99LC-046-3	OFC	EQP	Book Shelf			1	Library	Mrs. Manolom	2000	O	A	
0145	00(H12)	LC	99LC-048 1,2,3	OFC	EQP	Book chair		Leeco # LC - 37	6	Library	Mrs. Manolom	2000	O	A	
0146	00(H12)	LC	99LC-049 1,2	OFC	EQP	Meeting Table		Taiyo # TF 2460	2	Library	Mrs. Manolom	2000	O	A	
0148	00(H12)	LC	99LC-053	OFC	EQP	Key Locker			1	Library	Mrs. Manolom	2000	O	A	
0164	00(H12)	PI	00PJ-078 A	OFC	EQP	Computer	S / R No. : 7032FXT0430	COMPAQ Desktop EN Series	1	Library	Mrs. Manolom	2001	O	A	
0165	00(H12)	PI	00PJ-079	OFC	EQP	Printer		HP Laser Jet 1100 Printer	1	Library	Mrs. Manolom	2001	O	A	
0214	00(H12)	PI	00PJ-085-14	OFC	EQP	Printer	S/R No: SGJQ277367	HP Laser Jet 1100	1	Library	Mrs. Manolom	2001	O	A	
0418	03(H14)	PI	03PJ-23	OFC	EQP	Computer Inter Pentium 4200GHZ (CPU)		4200GHZ	1	Library	Mrs. Manolom	2003	O	A	
0422	03(H14)	PI	04PJ-06	OFC	EQP	Digital Camera Sony		Sony DSC-P92	1	Library	Mrs. Manolom	2004	O	A	
0423	03(H14)	PI	04PJ-07	OFC	EQP	Scanner Jet		HP USAHP 4670C	1	Library	Mrs. Manolom	2004	O	A	
0424	03(H14)	PI	04PJ-08	OFC	EQP	Printer HP Deskjet A3	S/N: CN3AM85169	HP USA 1180C	1	Library	Mrs. Manolom	2004	O	A	
1711	04(H16)	PI	04PJ-39	OFC	ACC	Book (AJCC Cancer Staining Manual	ISBN: 9780387952710	06/2002 CP	1	Library	Dr. Oukeo	2004	O	A	
1712	04(H16)	PI	04PJ-40..	OFC	ACC	Book (Cancer principles & Practice of	ISBN: 000078123876	06/2001	2	Library	Dr. Oukeo	2004	O	A	
1713	04(H16)	PI	04PJ-41	OFC	ACC	Book (Clinical Oncology with CD-Ro	ISBN: 9780721674964	08/2001	1	Library	Dr. Oukeo	2004	O	A	
1714	04(H16)	PI	04PJ-42..	OFC	ACC	Book (With MRI Correlation 2 Vols/Set	ISBN: 9780781702911	3/1998	2	Library	Dr. Oukeo	2004	O	A	
1715	04(H16)	PI	04PJ-43	OFC	ACC	Book (Cranial MRI and CT, Lec Meg	ISBN: 000007144820	4/99	1	Library	Dr. Oukeo	2004	O	A	
1716	04(H16)	PI	04PJ-44	OFC	ACC	Book (Dorland's Illustrated Medical Dic	ISBN: 9780808922889	30/2003	30/2003	Library	Dr. Oukeo	2004	O	A	
1717	04(H16)	PI	04PJ-45	OFC	ACC	Book (Oxford Textbook of Oncology	ISBN: 000192629263	2/2002	2	Library	Dr. Oukeo	2004	O	A	
1718	04(H16)	PI	04PJ-46	OFC	ACC	Book (Principles and practice of Rad	ISBN: 9870397584161	1/1997	1	Library	Dr. Oukeo	2004	O	A	
1719	04(H16)	PI	04PJ-47	OFC	ACC	Book (Principles and practice of Gynec	ISBN: 9780781719780	3/2000	3/2000	Library	Dr. Oukeo	2004	O	A	
1720	04(H16)	PI	04PJ-48..	OFC	ACC	Book (Shackelford's Surgery of the Al	ISBN: 0000721682030	5/2002	5	Library	Dr. Oukeo	2004	O	A	
1721	04(H16)	PI	04PJ-49	OFC	ACC	Book (Medical Dictionary (English -	ISBN: 000065426643		1	Library	Dr. Oukeo	2004	O	A	
1722	04(H16)	PI	04PJ-50	OFC	ACC	Book (Color Atlas of Cancer Cytolog	ISBN: 4260143484	2000	1	Library	Dr. Oukeo	2004	O	A	
0310	99(H11)	EX	99EX-008	OFC	EQP	Photocopier	S/N : A 3939080066	RICOH FT 4422	1	Library	Mrs. Manolom	1999	O	A	
0128	99(H11)	PI	99PJ-060	MED	EQP	Doppler Sound Detector	S/N : FD2.1041503-00	Model : FD1	1	MCH	Mrs. Vanikham	1999	O	C	
0155	00(H12)	PI	00PJ-006	OFC	EQP	Refrigerator		HITASHI 5.9 Q (R-17HS)FL0634	1	MCH	Mrs. Vanikham	2000	O	A	
0174	00(H12)	PI	00PJ-083-6	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004355	PRO - MECH SR - 6000	1	MCH	Mrs. Vanikham	2001	O	A	
0175	00(H12)	PI	00PJ-083-7	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004351	PRO - MECH SR - 6000	1	MCH	Mrs. Vanikham	2001	O	A	
0176	00(H12)	PI	00PJ-083-8	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004350	PRO - MECH SR - 6000	1	MCH	Mrs. Vanikham	2001	O	A	
0177	00(H12)	PI	00PJ-083-9	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004368	PRO - MECH SR - 6000	1	MCH	Mrs. Vanikham	2001	O	A	
0178	00(H12)	PI	00PJ-083-10	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004358	PRO - MECH SR - 6000	1	MCH	Mrs. Vanikham	2001	O	A	
0223	00(H12)	PI	00PJ-133 - 1	MED	EQP	Infant Weighing scale		SHIAWASE (ZO - 1583)	1	MCH	Mrs. Onkham	2001	O	A	
0216	00(H12)	PI	00PJ-126	MED	EQP	Doppler fetus Detector (UNFLAMM	No. 8521C33	TOITU CO., LTD (FD - 309 (VL9	1	MCH	Mrs. Vanikham	2001	O	C	
0225	00(H12)	PI	00PJ-134 - 1	MED	EQP	Height / Weighing Scale with Standard	Accessorie, Transformer	KDS (DST 21 ON)	1	MCH	Mrs. Vanikham	2001	O	A	
0234	00(H12)	PI	00PJ-135 - 8	MED	EQP	Dust Box		113 - 043 - 01 (004705)	1	MCH	Mrs. Vanikham	2001	O	A	
0357	01(H13)	AC	02AC-005	ADM	EQP	Water analysis Kit		FZ-2	1	Maintenance	Mr. Syken	2002	O	A	
0358	01(H13)	AC	02AC-006	ADM	EQP	MLSS/ZONE Meter		SS-12	1	Maintenance	Mr. Syken	2002	O	A	
0359	01(H13)	AC	02AC-007	ADM	EQP	Yusuda Tautol Pipe Cleaner		FX-3	1	Maintenance	Mr. Syken	2002	O	A	
0360	01(H13)	AC	02AC-008	ADM	EQP	Vacuum Cleaner		MAKITA UV-1100	1	Maintenance	Mr. Syken	2002	O	A	
0361	01(H13)	AC	02AC-009	ADM	EQP	Suitien		Jet Fan SJF-200	1	Maintenance	Mr. Syken	2002	O	A	
0362	01(H13)	AC	02AC-0010	ADM	EQP	Manifold Gauge	S/N: RP7120	EAI01BB	1	Maintenance	Mr. Syken	2002	O	A	
0363	01(H13)	AC	02AC-012	ADM	EQP	Welder with a cutting torch,		EA300H-2	1	Maintenance	Mr. Syken	2002	O	A	
0364	01(H13)	AC		ADM	EQP	Universal Pulley Remove with 2 pawls		EZ500AA-120	1	Maintenance	Mr. Syken	2002	O	A	
0365	01(H13)	AC		ADM	EQP	Universal Pulley Remove with 2 pawls		EA500AA-250	1	Maintenance	Mr. Syken	2002	O	A	
0366	01(H13)	AC	02AC-013	ADM	EQP	Motor Sprayer		KINBOSSIH MS-888 (EA11	1	Maintenance	Mr. Syken	2002	O	A	
0367	01(H13)	AC		ADM	EQP	Transformer		ED - 30	1	Maintenance	Mr. Syken	2002	O	A	
0368	01(H13)	AC		ADM	EQP	Earth Leakage Circuit breaker		EG33B	1	Maintenance	Mr. Syken	2002	O	A	
0033	99(H11)	PI	99PJ-006-1A	OFC	EQP	Computer	S/N : 7945 CN 30041	COMPAQ Deskpro EP	1	MD affair Off	Dr. Souphavanh	1999	O	A	
0079	99(H11)	PI	99PJ-027	OFC	EQP	Printer	S/N : FRGQ 726061	HP Laser Jet 1100	1	MD affair Off	Dr. Souphavanh	1999	O	A	

No.	FY	Category	Equip. No	Group Code	Type	Item Name (English)	Product No.	Brand Model No	Qty	Place of Installation	Person in charge	Year / Expert	Status of Management	Status of Running	REMARK
0097	99(H11)	LC	99LC-023-1,2	OFC	EOP	Folding chair		KING Folding chair (AC 77)	20	Meeting room	Mrs. Sillack	1999	O	A	
0131	00(H12)	PJ	00PJ-002	OFC	EOP	Refrigerator		HITACHI 5.9 Q (R-17HS)FL0634-	1	NICU Room	Mrs. Bouasone	2000	O	A	
0217	00(H12)	PJ	00PJ-127-1	MED	EOP	Pulse Oximeter consists of Main body	S / R No : 20877831	N - 185	1	NICU Room	Mrs. Bouasone	2001	O	A	
0219	00(H12)	PJ	00PJ-128	MED	EOP	Neonatal Monitor with standard Access	S / R No : 10Y7643	No: 6303	1	NICU Room	Mrs. Bouasone	2001	O	A	
0224	00(H12)	PJ	00PJ-133-2	MED	EOP	Infant Weighing scale		SHAWASE (ZO : 1583)	1	NICU Room	Mrs. Bouasone	2001	O	A	
0230	00(H12)	PJ	00PJ-135-4	MED	EOP	Dust Box		113 - 045 - 01 (004705)	1	NICU Room	Mrs. Bouasone	2001	O	A	
0248	00(H12)	LC	00LC-025-5	MED	EOP	Instrument Trolley Stainless (Size WxLxH = 450x330x880 mm)		2 floors, Handrail - less	1	NICU Room	Mrs. Bouasone	2001	O	A	
0384	02(H14)	PJ	02PJ-018-E	MED	EOP	Carry Wagon (Small)		Servez Model No : DD-556 AA	1	Nursing Section	Mr. Khampong	2000	O	A	
0134	00(H12)	LC	00LC-040A	OFC	EOP	Computer		LM - 026M (No : 3363)	1	Nursing Section	Mr. Khampong	2001	O	A	
0243	00(H12)	AC	00AC-067-1	MED	EOP	Koken Baby - Baby Boy		LM - 026F (No : 3544)	1	Nursing Section	Mr. Khampong	2001	O	A	
0243	00(H12)	AC	00AC-067-2	MED	EOP	Koken Baby - Baby Girl		Modern B	1	Nursing Section	Mr. Khampong	2002	O	A	
0321	01(H12)	LC	01LC-009	MED	EOP	Anbu man		Apply, medic	6	Nursing Section	Mr. Khampong	2004	O	A	
0439	04(H16)	PJ	04PJ-17-1,2,3,4,5	MED	EOP	Folding Wheel Chair	2544FC-02	FS609GC	6	Nursing Section	Mr. Khampong	2004	O	A	
0440	04(H16)	PJ	04PJ-18-1,2,3,4,5	MED	EOP	Reclining wheelchair with headrest	FOSON	KK, Thailand	4	Nursing Section	Mr. Khampong	2004	O	A	
0441	04(H16)	PJ	04PJ-19-1,2,3,4	MED	EOP	Car "I-Crank Removable stretcher"	# 536	N/A	6	Nursing Section	Mr. Khampong	2004	O	A	
0442	04(H16)	PJ	04PJ-20-1,2,3,4,5	MED	EOP	Mobile bed pan-urinal rack	ressemble, Thailand		1	Nursing Section	Mr. Khampong	2004	O	A	
0443	04(H16)	PJ	04PJ-21	MED	EOP	Emergency cart			30	Nursing Section	Mr. Khampong	2004	O	A	
0444	04(H16)	PJ	04PJ-22-1,50	MED	EOP	IV stand			35	Nursing Section	Mr. Khampong	2004	O	A	
0445	04(H16)	PJ	04PJ-23-1,35	MED	EOP	Bed side cabinet with Drawer			6	Nursing Section	Mr. Khampong	2004	O	A	
0446	04(H16)	PJ	04PJ-24-1,2,3,4,5	MED	EOP	Puls Oxymeter		ressemble Thailand	11	Nursing Section	Mr. Khampong	2004	O	A	
0447	04(H16)	PJ	04PJ-25-1,2,5,11	MED	EOP	Three fold Screen with Cloth	#2576		1	Nursing Section	Mr. Khampong	2004	O	A	
0183	00(H12)	PJ	00PJ-083-17	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004379	PRO - MECH SR - 6000	1	O B G Y	Mrs. Khannuing	2001	O	C	
0044	99(H11)	AC	99AC-050	MED	EOP	Sphygmomanometer		# DR - 5	1	O B G Y	Dr. Bounthieng	1999	O	A	
0085	99(H11)	PJ	99PJ-035	MED	EOP	Suction unit	S/N : 1099000 15059	THOMAS (Model : 1132)	1	O B G Y	Mrs. Khannuing	1999	O	A	
0098	99(H11)	PJ	99PJ-038	MED	EOP	Infant Care Unit Nakura	S/N : 9912292	NIDEAL (Model : NIW - 3000)	1	O B G Y	Mrs. Khannuing	1999	O	A	
0122	99(H11)	PJ	99PJ-054	MED	EOP	Syring Pump	S/N : 9912040	TERUMO Model No : TE - 311	1	O B G Y	Mrs. Khannuing	1999	O	A	
0126	99(H11)	PJ	99PJ-058	MED	EOP	Infusion Pump	S/N : 99100088	JMED Model No : TE - 112	1	O B G Y	Mrs. Khannuing	2001	O	C	
0181	00(H12)	PJ	00PJ-083-13	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004381	PRO - MECH SR - 6000	1	O B G Y	Mrs. Khannuing	2001	O	A	
0182	00(H12)	PJ	00PJ-083-14	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004369	PRO - MECH SR - 6000	1	O B G Y	Mrs. Khannuing	2001	O	A	
0202	00(H12)	LC	00LC-023-4	OFC	EOP	Water Cooler	S / N : 8518 U 88	TOITU (Model No : M T - 332)	1	O B G Y	Mrs. Khannuing	2001	O	A	
0221	00(H12)	PJ	00PJ-130	MED	EOP	Fetal monitor consists of : Main body		113 - 045 - 01 (004705)	1	O B G Y	Mrs. Khannuing	2001	O	A	
0231	00(H12)	PJ	00PJ-135-5	MED	EOP	Dust Box		113 - 045 - 01 (004705)	1	O B G Y	Mrs. Khannuing	2001	O	A	
0236	00(H12)	PJ	00PJ-135-10	MED	EOP	Dust Box			1	O B G Y	Mrs. Khannuing	2001	O	A	
0250	00(H12)	LC	00LC-025-7	MED	EOP	Instrument Trolley Stainless (Size WxLxH = 450x330x880 mm)			1	O B G Y	Mrs. Khannuing	2001	O	A	
0256	00(H12)	LC	00LC-027-4	MED	EOP	Charis Holder Insert Trolley (30 charts capacity Size 17.5" x 33")			1	O B G Y	Mrs. Khannuing	2001	O	A	
0307	99(H11)	EX	99EX-001	OFC	EOP	Autoclave	S/N : 75103	Model : 2540 MK	1	O B G Y	Mrs. Khannuing	1999	O	A	
0382	02(H14)	PJ	02PJ-018-C1 - C10	MED	EOP	Injection stand	Pentax PSV-4000	5 cusst, feet change of height -thook	10	O B G Y	Mrs. Khannuing	2003	O	A	
0414	03(H15)	PJ	03PJ-019	MED	EOP	Pentax High Quantity Medical Video		Model : 2540 MK	1	O B G Y	Dr. Bounthieng	2003	O	A	
0415	03(H15)	PJ	03PJ-019-A1	MED	EOP	Camera		Model : 2540 MK	1	O B G Y	Dr. Bounthieng	2003	O	A	
0437	03(H15)	PJ	04PJ-15-A	MED	EOP	Baby Dopplex 4000	S/N : FD2.10415027-00	Model : FD2	1	O B G Y	Dr. Bounthieng	2004	O	A	
0129	99(H11)	PJ	99PJ-061	MED	EOP	Doppler Sound Detector	PENTAX FHY-10RP	PENTAX FHY-10RP	5	O B G Y	Dr. Khannuing	1999	O	A	
0377	02(H14)	PJ	02PJ-015-3	MED	EOP	Hysterofiberscope:	Model : 95503 (GONESSE FRAM)		1	O P D	Dr. Sisomphone	1999	O	A	
0115	99(H11)	PJ	99PJ-032-2	MED	EOP	Oscopie			1	O P D	Dr. Sisomphone	2001	O	A	
0169	00(H12)	PJ	00PJ-083-1	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004356	PRO - MECH SR - 6000	1	O P D	Dr. Sisomphone	2001	O	A	
0170	00(H12)	PJ	00PJ-083-2	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004374	PRO - MECH SR - 6000	1	O P D	Dr. Sisomphone	2001	O	A	
0171	00(H12)	PJ	00PJ-083-3	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004376	PRO - MECH SR - 6000	1	O P D	Dr. Sisomphone	2001	O	A	
0172	00(H12)	PJ	00PJ-083-4	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004378	PRO - MECH SR - 6000	1	O P D	Dr. Sisomphone	2001	O	A	
0173	00(H12)	PJ	00PJ-083-5	MED	ACC	Imprinter	Ser No. : 004377	PRO - MECH SR - 6000	1	O P D	Dr. Sisomphone	2001	O	A	
0200	00(H12)	LC	00LC-023-2	OFC	EOP	Water Cooler	S / N : R00178	Standard	1	O P D	Dr. Sisomphone	2001	O	A	
0201	00(H12)	LC	00LC-023-3	OFC	EOP	Water Cooler	S / N : R00259	Standard	1	O P D	Dr. Sisomphone	2001	O	A	

No.	FY	Category	Equip. No	Group Code	Type	Item Name (English)	Product No.	Brand Model No	Qty	Place of Installation	Person in charge	Year/Expert	Status of Management	Status	REMARK
0775	00(H12)	PJ	00PJ-132-3	MED	EQP	Nebulizer with Nebulizer kit	S/N No : 0011004	MILLION - S	1	O P D	Dr. Sisonphone	1999	O	C	
0130	99(H11)	PJ	99PJ-163	MED	EQP	H - F Surgery Electric Unit	S/N : 10128 - 009	Model No : ERBE ICC 200 INT	1	Operation Rm	Dr. Khummanh	1999	O	A	
0109	99(H11)	PJ	99PJ-049	MED	EQP	Suction unit	S/N : DG 16203723 35	ATOMS LC16	1	Operation (ER)	Dr. Keo	1999	O	A	
0080	99(H11)	PJ	99PJ-028	MED	EQP	Autoclave	S/N : 950100	Sanyo # 235 EX	1	Operation Rm	Dr. Khummanh	1999	O	A	
0187	00(H12)	PJ	00PJ-083-19	MED	ACC	Printer	Ser No. : 004360	PRO - MECH SR - 6000	1	Operation RM	Dr. Khummanh	2001	O	A	
0230	00(H12)	LC	00LC-023 - 5	OFC	EQP	Water Cooler	S/N : RL5739	Standard	1	Operation RM	Dr. Khummanh	2001	O	A	
0308	99(H11)	EX	99EX-002	OFC	EQP	Aspirator (Suction)	S/N : JO 191 - 5154	Clements SUC 84100	1	Operation RM	Mrs. Khansong	1999	O	A	
0322	01(H13)	PJ	01PJ - 046	MED	EQP	Thoracic Surgery Instrument set		ELCON	1	Operation Rm	Mrs. Khansong	2001	O	A	
0323	01(H13)	PJ	01PJ - 047	MED	EQP	General Surgery Instrument Set		GEM Universal	1	Operation Rm	Mrs. Khansong	2001	O	A	
0327	01(H13)	PJ	01PJ - 051	MED	EQP	Vascular Surgery Instrument Set		GEM Universal	1	Operation Rm	Mrs. Khansong	2002	O	C	
0328	01(H13)	PJ	01PJ - 052	MED	EQP	Gynecology Instrument Set		GEM Universal	1	Operation Rm	Mrs. Khansong	2002	O	A	
0329	01(H13)	PJ	01PJ - 053	MED	EQP	Vaginal Speculum Set		GEM Universal	1	Operation Rm	Mrs. Khansong	2002	O	A	
0330	01(H13)	PJ	01PJ - 054	MED	EQP	Uterine Curette Instrument Set		GEM Universal	1	Operation Rm	Mrs. Khansong	2002	O	A	
0331	01(H13)	PJ	01PJ - 055	MED	EQP	Medical Stainless Steel Instrument Set		GEM Universal	1	Operation Rm	Mrs. Khansong	2002	O	A	
0332	01(H13)	PJ	01PJ - 056	MED	EQP	Abdominal Surgery Instrument Set		GEM Universal	1	Operation Rm	Mrs. Khansong	2002	O	A	
0411	03(H15)	PJ	03PJ-013	MED	EQP	Operation table Hydraulic Universal	No: ST 80	Sturdy ST80	1	Operation Rm	Dr. Vangyeu	2003	O	A	
0412	03(H15)	PJ	03PJ-015	MED	EQP	Patient Monitor Model TM 910		Schiller TM 910	1	Operation Rm	Dr. Vangyeu	2003	O	A	
0438	03(H15)	PJ	04PJ-09-4	MED	EQP	Syringe Pump	S/N: 03090205	TE-331	1	Operation Rm	Dr. Keo	2004	O	A	
0439	03(H15)	PJ	04PJ-09-5	MED	EQP	Syringe Pump	S/N: 03110199	TE-331	1	Operation Rm	Dr. Keo	2004	O	A	
0432	04(H16)	PJ	04PJ-29	MED	EQP	Reusable Tracheostomy Set:	EA		1	Operation Rm	Dr. Keo	2004	O	A	
1723	04(H16)	PJ	04PJ-51	MED	EQP	Blanket (Convective Warming System)	P/N: 09234-000-5/96	S/N: TC3003 C40012	1	Operation Rm	Dr. Keo	2004	O	A	
0298	01(H13)	PJ	01PJ - 011	MED	EQP	Bipolar Coagulator Electrical		ELEKTROTOM 505	1	Ophthalmology	Dr. Synouchanh	2001	O	A	
0407	03(H15)	PJ	03PJ-008	MED	EQP	Ophthalmic Ultrasound: Quantel, 1065		NEITZ	1	Ophthalmology	Dr. Sinouchanh	2003	O	A	
0409	03(H15)	PJ	03PJ-011	MED	EQP	NIETZ halogen binocular indirect ophthalmoscope Model 10-X		NEITZ Bxa-12	2	Ophthalmology	Dr. Sinouchanh	2003	O	A	
0410	03(H15)	PJ	03PJ-012-1,-2	MED	EQP	NIETZ halogen direct ophthalmoscope Model Bxa-2		NEITZ Bxa-12	1	Ophthalmology	Dr. Sinouchanh	2003	O	A	
0180	00(H12)	PJ	00PJ-083-12	MED	ACC	Printer	Ser No. : 004367	PRO - MECH SR - 6000	1	Ophthalmology	Dr. Synai	2001	O	A	
0285	01(H13)	PJ	01PJ - 004	MED	EQP	Auto Ophthalmometer Refractometer	Serial No. : 213969	TOPCOM (Modèle no. KR - 8100)	1	Ophthalmology	Dr. Synai	2001	O	A	
0114	99(H11)	PJ	99PJ-032-1	MED	EQP	Otoscope	S / R No : 20877546	Model : 95503 (GONESSE FRANK N - 185	1	P I C U	Dr. Sonkeo	1999	O	A	
0218	00(H12)	PJ	00PJ-127 - 2	MED	EQP	Pulse Oximeter consists of Main body		ATOMS LC16	1	P I C U	Mrs. Pengsy	1999	O	A	
0108	99(H11)	PJ	99PJ-048	MED	EQP	Suction unit	S/N : DG 16203723 34	TERUMO Model No : TE - 311	1	P I C U	Mrs. Pengsy	1999	O	A	
0125	99(H11)	PJ	99PJ-057	MED	EQP	Syringe Pump	S/N : 99120096	113 - 045 - 01 (004705)	1	P I C U	Mrs. Pengsy	2001	O	A	
0229	00(H12)	LC	00LC-135 - 3	MED	EQP	Dust Box		THOMAS 1140 Series/1142	1	Pediatric	Mrs. Bousone	1999	O	A	
0247	00(H12)	LC	00LC-025-4	MED	EQP	Instrument Trolley Stainless (Size WxLxH = 450x530x880 mm)	S/N : 109900000061	IMED Gemini PC-1	1	Pediatric	Mrs. Bousone	1999	O	A	
0051	99(H11)	PJ	99PJ-011	MED	EQP	Nebulizer	S/N : *1310CX20EE331716	THOMAS (Model : 1132)	1	Pediatric	Mrs. Bousone	1999	O	A	
0082	99(H11)	PJ	99PJ-032	MED	EQP	Inhalation pump	S/N : 10990000 15058	Model : 95503 (GONESSE FRANK	1	Pediatric	Mrs. Bousone	1999	O	A	
0084	99(H11)	PJ	99PJ-034	MED	EQP	Suction unit		THOMAS Model No : TE - 311	1	Pediatric	Mrs. Bousone	1999	O	A	
0117	99(H11)	PJ	99PJ-032-4	MED	EQP	Otoscope	S/N : 99120118	IMED Model No : TE - 112	1	Pediatric	Mrs. Bousone	1999	O	A	
0124	99(H11)	PJ	99PJ-036	MED	EQP	Syringe Pump	S/N : 99080038	HTASHI 5.9 Q (R-17HS)EL0634-	1	Pediatric	Mrs. Bousone	2000	O	A	
0127	99(H11)	PJ	99PJ-039	MED	EQP	Inhalation Pump			1	Pediatric	Mrs. Bousone	2001	O	A	
0150	00(H12)	PJ	00PJ-001	OFC	EQP	Refrigerator			1	Pediatric	Mrs. Bousone	2001	O	A	
0163	00(H12)	PJ	00PJ-077 - 5	MED	EQP	Drug Cabinet			1	Pediatric	Mrs. Bousone	2001	O	A	
0249	00(H12)	LC	00LC-023-6	MED	EQP	Instrument Trolley Stainless (Size WxLxH = 450x530x880 mm)			1	Pediatric	Mrs. Bousone	2001	O	A	
0254	00(H12)	LC	00LC-027 - 2	MED	EQP	Chartis Holder Insert Trolley (30 charts capacity Size 17.5" x 33")			1	Pediatric	Mrs. Bousone	2001	O	A	
0281	01(H13)	LC	01LC-004 - A	MED	EQP	Laryngoscope Holder		Hilbro Group	1	Pediatric	Dr. Palphonessoul	2001	O	A	
0282	01(H13)	LC	01LC-004 - B	MED	EQP	Miller Blade for Laryngoscope (Baby)		Hilbro Group	1	Pediatric	Dr. Palphonessoul	2001	O	A	
0283	01(H13)	LC	01LC-005 - A	MED	EQP	Laryngoscope Holder		Hilbro Group	1	Pediatric	Dr. Palphonessoul	2001	O	A	
0284	01(H13)	LC	01LC-005 - B	MED	EQP	Miller Blade for Laryngoscope (Baby)		Hilbro Group	2	Pediatric	Dr. Ang / Ms. Tip	2004	O	A	
0433	04(H16)	PJ	04PJ-30-A, B	MED	EQP	Ultrasonic Nebulizers for inhalation drug		Gima 28106	2	Pediatric	Dr. Ang / Ms. Tip	2004	O	A	
0434	04(H16)	PJ	04PJ-31-A, B	MED	EQP	Intubation Kit complete Set		Gima 34152	2	Pediatric	Dr. Ang / Ms. Tip	2004	O	A	
0455	04(H16)	PJ	04PJ-32	MED	EQP	Ophthalmoscope set		Gima 31320	1	Pediatric	Dr. Ang / Ms. Tip	2004	O	A	

No.	FY	Category	Equip. No	Group Code	Type	Item Name (English)	Product No.	Brand Model No	Qty	Place of Installation	Person in charge	Year/Expert	Status of Management	Status of Running	REMARK
0456	04(H16)	PJ	LAO	04PJ-33	MED	EOP Oroscope Set		Gima 31302	1	Pediatric	Dr. Ang / Ms. Tip	2004	O	A	
0457	04(H16)	PJ	LAO	04PJ-34	MED	EOP Nasal CPAP set		Nidek USA	1	Pediatric	Dr. Ang / Ms. Tip	2004	O	A	
0458	04(H16)	PJ	LAO	04PJ-35	MED	EOP Bilirubin monitor "Bilicheck"		BR-400	1	Pediatric	Dr. Ang / Ms. Tip	2004	O	A	
0775	00(H12)	PJ	LAO	00PJ-132 - 2	MED	EOP Nebulizer with Nebulizer kit	S / R No. : 0011004	MILLON - S	1	Pediatric	Dr. Ang / Ms. Tip	1999	O	A	
0053	99(H11)	PJ	LAO	99PJ-011-1	OFC	EOP Office desk		LEECO BD - 127 CF	1	Personal Aff	Dr. Phanh	1999	O	A	
0056	99(H11)	LC	LAO	99LC - 055 - 1	OFC	EOP Denwer for desk		LEECO BD - 046 B	1	Personal Aff	Dr. Phanh	1999	O	A	
0139	00(H12)	LC	LAO	99LC - 046 - 1	OFC	EOP Book Shelf		Leeco # SLO - 305	1	Personal Aff	Dr. Phanh	2000	O	A	
0102	99(H11)	PJ	LAO	99PJ-042A	OFC	EOP Computer	S/N : 7930 CZF 900-40	COMPAQ Deskpro EP	1	Pharmacy Section	Dr. Volachith	1999	O	A	
0105	99(H11)	PJ	LAO	99PJ-045	MED	EOP Refrigerator	S/N : N 99700161	MIT YR - 10 (Model, No : SRC - 2	1	Pharmacy Section	Dr. Volachith	2001	O	A	
0159	00(H12)	PJ	LAO	00PJ-077 - 1	MED	EOP Drug Cabinet		STAINLESS Code : 2521	1	Pharmacy Section	Dr. Volachith	2001	O	A	
0160	00(H12)	PJ	LAO	00PJ-077 - 2	MED	EOP Drug Cabinet		LEECO 700L	1	Pharmacy Section	Dr. Volachith	2001	O	A	
0295	01(H13)	PJ	LAO	01PJ - 008	MED	EOP Narcotic Safe	S/N : 9014586	4 casters, Made of steel	5	Pharmacy Section	Ms. Bousone	2003	O	A	
0336	01(H13)	PJ	LAO	01PJ - 057	MED	EOP Bed side cabinet #2615		Macintosh Powerbook G3 m7 1101	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	B	
0351	02(H14)	PJ	LAO	02PJ-018-B1 - B5	MED	EOP Personal computer	S/N : Q78390 V 5 EFC	Canon BJC-80 V	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	B	
0001	99(H11)	AC	JPN	99ACS-001A	OFC	EOP Printer	S/N : XBC 91860	Toyoden CD220-01	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	C	
0003	99(H11)	AC	JPN	99ACS-002A	OFC	EOP Transformer		EPSON CP-700 Z	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0004	99(H11)	AC	JPN	99ACS-015A	OFC	ACC Digital Camera	BEEL 023034	TOYODEM SE-100 2A (CD220	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0005	99(H11)	AC	JPN	99ACS-016	OFC	ACC Transformer		Pentax Espio 125 M	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0016	99(H11)	AC	JPN	99ACS-019	OFC	EOP Camera	S/N : 8514938	Kinglim Label Writer SR-323	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0017	99(H11)	AC	JPN	99ACS-022	OFC	EOP Tepa with dry battery cell		TAIYO (R 214)	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0018	99(H11)	LC	LAO	99LC-001	OFC	EOP Book shelf R 214		LEECO BD 127 CF	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	C	
0019	99(H11)	LC	LAO	99LC-002	OFC	EOP Air condition		LEECO BD 127 CK	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	C	
0010	99(H11)	LC	LAO	99LC-003	OFC	EOP Computer table		Pantafix UF-SI	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	C	
0011	99(H11)	LC	LAO	99LC-004	OFC	EOP Computer table		Canon # LBP-840	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	B	
0012	99(H11)	LC	LAO	99LC-005	OFC	EOP Fax (Small)	S/N : 05960737836	Yano # UPCRW - 01	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	B	
0013	99(H11)	LC	LAO	99LC-006	OFC	EOP Laser Printer	L H K A 008309	Panasonic # VZ - CT 55	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	B	
0014	99(H11)	AC	JPN	99AC-027	OFC	ACC Card Reader	S/N : SN 62204064	Max # DP - F 2 KM	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	B	
0015	99(H11)	AC	JPN	99AC-031	OFC	ACC Tipod		Sugano # 1000 AE	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0016	99(H11)	AC	JPN	99AC-032	OFC	EOP Punch		LEECO	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0017	99(H11)	AC	JPN	99AC-034	OFC	EOP Transformer 1000 AE		CB 06	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0018	99(H11)	AC	JPN	99AC-037	OFC	EOP Book shelf		LEECO SLS 304	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0019	99(H11)	LC	LAO	99LC-008	OFC	EOP Book shelf with door		TAIYO TF 2460	2	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0020	99(H11)	LC	LAO	99LC-009	OFC	EOP Book shelf with door		TAIYO CF 103-3	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0021	99(H11)	LC	LAO	99LC-010	OFC	EOP Meeting desk 1524		TAIYO CF 103-1	2	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0022	99(H11)	LC	LAO	99LC-011	OFC	EOP Locker		TAIYO GFT 2442	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0023	99(H11)	LC	LAO	99LC-013	OFC	EOP Sofa		PANASONIC UF-770 - YX	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0024	99(H11)	LC	LAO	99LC-014	OFC	EOP Sofa	SG 9 A 6130 MM	HP DeskJet1120 C	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0025	99(H11)	LC	LAO	99LC-015	OFC	EOP Table for guest	S/N : 1990600028	COMPAQ Deskpro EP	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0026	99(H11)	LC	LAO	99LC-016	OFC	EOP Table for guest	SG 9 A 6130 MM	Cell Power	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	C	
0027	99(H11)	LC	LAO	99PJ-002	OFC	EOP UPS Cell guard	S/N : 7945 CN 20040		1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0028	99(H11)	PJ	LAO	99PJ-002	OFC	EOP Big cutter A3 (15 x 18)			1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0029	99(H11)	PJ	LAO	99PJ-003	OFC	EOP Big staple			1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0030	99(H11)	PJ	LAO	99PJ-004	OFC	EOP Transformer 110 V			1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0031	99(H11)	PJ	LAO	99PJ-005	OFC	EOP Slide projector	S/N : 5364	KODAK EKTALTE 1500 / 2000 T	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0032	99(H11)	PJ	LAO	99PJ-006-2A	OFC	EOP Type writer	S/N : 1622857	Canon U 200 T	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A	
0033	99(H11)	LC	LAO	99LC-019	OFC	EOP Personal Computer "THINKPAD I SERIES 1464 "	S/N : 1622857	IBM P/N : 44.43B50.023	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	C	

No.	FY	Category	Equip. No	Group Code	Type	Item Name (English)	Product No.	Brand Model No	Qty	Place of Installation	Person in charge	Year / Expert Management	Status of Running	REMARK
0043	99(H11)	AC	JPN	99AC-051	MED	EQP Scales		# UC - 300	1	Project Office	Ms. IWATA	1999	O	B
0046	99(H11)	PI	LAO	99PI-010-1	OFC	EQP Telephone system (Switching box)	9F CVG 020431	PANASONIC Model No : KX - TA	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0047	99(H11)	PI	LAO	99PI-010-2	OFC	EQP Telephone system (Telephone 1)	Serial No : 9 KBV1 192465	PANASONIC Model No : KX - T 2	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0048	99(H11)	PI	LAO	99PI-010-3	OFC	EQP Telephone system (Telephone 2)	Serial No : 8 BBKC 404937	PANASONIC Model No : KX - T 2	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0049	99(H11)	PI	LAO	99PI-010-4	OFC	EQP Telephone system (Telephone 3)	Serial No : 8BBKC 404930	PANASONIC Model No : KX - T 2	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0050	99(H11)	PI	LAO	99PI-010-5	OFC	EQP Telephone system (Telephone 4)	Serial No : 8BBKC 404932	PANASONIC Model No : KX - T 2	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0054	99(H11)	PI	LAO	99PI-014-2	OFC	EQP Office desk		LEECO BD - 127 CF	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0055	99(H11)	PI	LAO	99PI-014-3	OFC	EQP Office desk		LEECO BD - 127 CF	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0057	99(H11)	LC	LAO	99LC - 055 - 2	OFC	EQP Drawer for desk		LEECO BD - 046 B	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0058	99(H11)	LC	LAO	99LC - 055 - 3	OFC	EQP Drawer for desk		LEECO BD - 046 B	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0059	99(H11)	LC	LAO	99LC - 055 - 4	OFC	EQP Drawer for desk		LEECO BD - 046 B	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0060	99(H11)	LC	LAO	99LC - 055 - 5	OFC	EQP Drawer for desk		LEECO BD - 046 B	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0061	99(H11)	LC	LAO	99LC - 055 - 6	OFC	EQP Drawer for desk		LEECO BD - 046 B	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0062	99(H11)	LC	LAO	99LC - 055 - 7	OFC	EQP Drawer for desk		LEECO BD - 046 B	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0063	99(H11)	PI	LAO	99PI-016-1	OFC	EQP Office chair		LEECO LSC - 420	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0064	99(H11)	PI	LAO	99PI-016-2	OFC	EQP Office chair		LEECO LSC - 420	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0065	99(H11)	PI	LAO	99PI-016-3	OFC	EQP Office chair		LEECO LSC - 420	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0066	99(H11)	PI	LAO	99PI-017-1	OFC	EQP Book shelf		LEECO SLG - 304	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0067	99(H11)	PI	LAO	99PI-017-2	OFC	EQP Book shelf		LEECO SLG - 304	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0068	99(H11)	PI	LAO	99PI-017-3	OFC	EQP Book shelf		LEECO SLG - 304	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0069	99(H11)	PI	LAO	99PI-018	OFC	EQP Book shelf		LEECO SLS - 304	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0070	99(H11)	PI	LAO	99PI-020-1	OFC	EQP Computer table		TAIYO TC - 80	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0071	99(H11)	PI	LAO	99PI-020-2	OFC	EQP Computer table		TAIYO TC - 80	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0074	99(H11)	PI	LAO	99PI-021	OFC	EQP Key Locker		TAIYO KB - 60	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0075	99(H11)	PI	LAO	99PI-022-1,2,3	OFC	EQP Folding chair		KINGJIM LC - 32	10	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0076	99(H11)	PI	LAO	99PI-023	OFC	EQP Vehicle (Land Cruiser)	FZ1100-0007944(1F2-03892)	TOYOTA LANDCRUISER GX	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0077	99(H11)	PI	LAO	99PI-024	OFC	EQP Office Table	RZ195-0027793(3RZ-21072)	TOYOTA LANDCRUISER PRADO	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0086	99(H11)	LC	LAO	99LC - 056 - 1	OFC	EQP Office Table			1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0087	99(H11)	LC	LAO	99LC - 056 - 2	OFC	EQP Office Table			1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0088	99(H11)	LC	LAO	99LC - 056 - 3	OFC	EQP Office Table			1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0089	99(H11)	LC	LAO	99LC - 056 - 4	OFC	EQP Office Table			1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0090	99(H11)	LC	LAO	99LC - 056 - 5	OFC	EQP Office Table			1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0091	99(H11)	LC	LAO	99LC - 056 - 6	OFC	EQP Office Table			1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0092	99(H11)	LC	LAO	99LC - 056 - 7	OFC	EQP Office Table			1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0093	99(H11)	LC	LAO	99LC - 056 - 8	OFC	EQP Office Table			1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0099	99(H11)	PI	JPN	99PI-039	IEC	EQP Liquid - Crystal Projector (ELMO)	S/N : 380031	ELMO (Model : EDP - 3500)	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0100	99(H11)	PI	JPN	99PI-040	IEC	EQP Video Presentation (ELMO)	Ser No : 604293	ELMO (Model : Visual Presenter E	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	B
0101	99(H11)	PI	JPN	99PI-041	IEC	EQP Screen TOSHIBA		TOSHIBA	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0104	99(H11)	PI	LAO	99PI-044	OFC	EQP Computer (NOTE BOOK)	S/N : J J 01 C1 216201	COMPAQ Armada 1750	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0113	99(H11)	LC	LAO	99LC-027A,B,C	MED	EQP Microphone		SONY NHF WIRLESS EY - 111	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	B
0119	99(H11)	PI	LAO	99PI-053	OFC	EQP Photocopy		RICOH FT 442	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0120	00(H12)	PI	LAO	99LC-029	OFC	EQP CAMERA	S/N : 3604552	CANON EOS 300	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0121	00(H12)	LC	LAO	99LC - 030	OFC	EQP Refrigerator	S/N : 00130081	Daewoo (Model : DTR - 1459 B)	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0131	00(H12)	AC	JPN	99AC-054	OFC	EQP Transformer Automatic voltage regulator		Model : " SVC - 100 ND - II "	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	A
0132	00(H12)	LC	LAO	99LC - 037	IEC	EQP TV Player	S/N : 6011783	SONY SLV - KH7PS (TK)	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	B
0133	00(H12)	LC	LAO	99LC - 038	IEC	EQP TV Monitor	S/N : 105321	SONY KV - G 14 F2 (P2)	1	Project Office	Mr. Takahashi	1999	O	B
0136	00(H12)	LC	LAO	99LC - 043	OFC	EQP Scanner	S/N : " BZYX 000 778 "	EPSON Perfection1200 UfModel :	1	Project Office	Mr. Takahashi	2000	O	A
0147	00(H12)	LC	LAO	99LC - 052	OFC	EQP Cabinet for Photocopy		LEECO	1	Project Office	Mr. Takahashi	2000	O	A
0149	00(H12)	AC	JPN	00AC-065A,B	OFC	EQP TEPPA TR 88	S/R No : A85239509	King Jim TR 88	1	Project Office	Mr. Takahashi	2000	O	A
0156	00(H12)	LC	LAO	00LC-029	OFC	EQP Binding Machine	S/R No : 97223106.5	PERFORATION Model : SD - 260	1	Project Office	Mr. Takahashi	2000	O	A

No.	FY	Category	Equip. No	Group Code	Type	Item Name (English)	Product No.	Brand Model No	Qty	Place of Installation	Person in charge	Year/Expenditure	Status of Management	Status of Running	REMARK
0188	00(H12)	PJ	00PJ-083-20	MED	ACC	Inprinter	Ser No. : 004373	PRO - MECH SR - 6000	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	C	
0189	00(H12)	PJ	00PJ-083-21	MED	ACC	Inprinter	Ser No. : 004349	PRO - MECH SR - 6000	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	B	
0190	00(H12)	PJ	00PJ-083-22	MED	ACC	Inprinter	Ser No. : 004375	PRO - MECH SR - 6000	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	B	
0191	00(H12)	PJ	00PJ-083-23	MED	ACC	Inprinter	Ser No. : 004380	PRO - MECH SR - 6000	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	C	
0192	00(H12)	PJ	00PJ-083-24	MED	ACC	Inprinter	Ser No. : 004354	PRO - MECH SR - 6000	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	C	
0193	00(H12)	PJ	00PJ-083-25	MED	ACC	Inprinter	Ser No. : 004347	PRO - MECH SR - 6000	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	C	
0194	00(H12)	PJ	00PJ-083-26	MED	ACC	Inprinter	Ser No. : 004362	PRO - MECH SR - 6000	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	B	
0195	00(H12)	PJ	00PJ-083-27	MED	ACC	Inprinter	Ser No. : 004364	PRO - MECH SR - 6000	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	B	
0196	00(H12)	PJ	00PJ-083-28	MED	ACC	Inprinter	Ser No. : 004357	PRO - MECH SR - 6000	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	C	
0197	00(H12)	PJ	00PJ-083-29	MED	ACC	Inprinter		PRO - MECH SR - 6000	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	C	
0198	00(H12)	PJ	00PJ-083-30	MED	ACC	Inprinter		PRO - MECH SR - 6000	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	C	
0211	00(H12)	PJ	00PJ-083-11	OFC	EQP	Noote Book computer	S/N : 60013720J	TOSHIBA Satellite 2250 CDT / 6.	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	C	
0258	01(H13)	AC	01AC - 007	OFC	EQP	Vacuum Cleaner	No. 234	Jet Vacuum Cleaner (LE 4000 San	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	B	
0259	01(H13)	AC	01AC - 030	MED	EQP	HEINE ALPHA OPHTHALMOSCOPE - 6	S/N : 1600032Y01025000	136 - 040 - 00 (D292.10.022)	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	C	
0260	01(H13)	AC	01AC - 021 A	OFC	EQP	Hot wire anemometer, temperatu	Serial No. : 01CM031D	VS-001SX (IDENSHI Giken)	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	C	
0261	01(H13)	AC	01AC - 021 B	OFC	EQP	Transformer	Serial No. : TD-3	TOSI Henseki CO.LTD.	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	A	
0262	01(H13)	AC	01AC - 022	OFC	EQP	Infrared, Rays, for Radiation Th	Serial No. : SK-8710	SATO KEIRYOKI	1	Project Office	Mr. Takahashi	2001	O	C	
0320	01(H13)	Lao	02DNT-001	OFC	EQP	Binding Machine		KOKUYO PN-25	1	Project Office	Mr. Takahashi	2002	O	A	
0337	01(H13)	AC	01AC-007A	MED	EQP	Jaundice Meter	Serial No. : 1001844	MINOLTA JM - 103	1	Project Office	Mr. Takahashi	2002	O	B	
0345	01(H13)	PJ		MED	EQP	Scintillation Survey Meter	S/R : R06902	ALOKA TCS - 171	1	Project Office	Mr. Takahashi	2002	O	B	
0346	01(H13)	PJ		MED	EQP	Ionization chamber survey mwler	S/R : R00325	ALOKA JCS - 321	1	Project Office	Mr. Takahashi	2002	O	B	
0347	01(H13)	PJ		MED	EQP	Heating chamber Asahi Lifesence		ASAHI LIFESIENCE Model No. DR	1	Project Office	Mr. Takahashi	2002	O	C	
0408	03(H15)	PJ	03PJ-009-A; B	MED	EQP	Oxy meter (Nellcor Puritan Bennett Jr	1. G99831994-1999	2. NPD 21686123-1998	2	Project Office	Mr. Takahashi	2003	O	B	
0417	03(H15)	PJ	03PJ-22-A	OFC	EQP	Monitor PHILIP 17" Flat Color	BZ 000325162152	Model No. 107S56	1	Project Office	Mrs. KongSeng	2003	O	A	
0419	03(H15)	PJ	04PJ-001	OFC	EQP	Computer Note book (HP Compaq	Prairo 2581 AT	S/N CNF3500YN3	1	Project Office	Mr. Vilaphonh	2004	O	A	
0420	03(H15)	PJ	04PJ-002	OFC	EQP	Computer (Processor Intel Pentium 4	FSB800	S/N	1	Project Office	Mr. Vilaphonh	2004	O	A	
0433	03(H15)	PJ	04PJ-13	OFC	ACC	Computer (Processor pentium 4.20GHz	400-MHz)		1	Project Office	Mr. Vilaphonh	2004	O	A	
0434	03(H15)	PJ	04PJ-13-A	OFC	ACC	Electric Adapter (UPS 850 VA)			1	Project Office	Mr. Vilaphonh	2004	O	A	
0435	03(H15)	PJ	04PJ-14	OFC	EQP	Computer (Processor pentium 4.20GHz	400-MHz)		1	Project Office	Mr. Vilaphonh	2004	O	A	
0436	03(H15)	PJ	04PJ-14-A	OFC	ACC	Electric Adapter (UPS 850 VA)			1	Project Office	Mr. Vilaphonh	2004	O	A	
0166	00(H12)	PJ	00PJ-080-1-2-3	MED	EQP	Rail Cabinet With Steeling - wheel (	Carbinet for Document filling double side each set x 3 carbinets)		1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0167	00(H12)	PJ	00PJ-081 - 1A	MED	EQP	Rail Cabinet With Steeling - wheel (	Carbinet for Document filling double side each set x 3 carbinets)		1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0168	00(H12)	PJ	00PJ-082	MED	EQP	EMBOSSER	Ser No. : EA - 1081	PRO - MECH KI - 700 (KE7500E	1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0199	00(H12)	LC	00LC-023 - 1	OFC	EQP	Water Cooler	S/N : R00160	Standard	1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0205	00(H12)	PJ	00PJ-085- 4A	OFC	EQP	Computer		Mellennium Computer	1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0206	00(H12)	PJ	00PJ-085- 6A	OFC	EQP	Computer		Mellennium Computer	1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0207	00(H12)	PJ	00PJ-085- 7A	OFC	EQP	Computer		Mellennium Computer	1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0208	00(H12)	PJ	00PJ-085- 8A	OFC	EQP	Computer		Mellennium Computer	1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0209	00(H12)	PJ	00PJ-085- 9A	OFC	EQP	Computer		Mellennium Computer	1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0210	00(H12)	PJ	00PJ-085- 10A	OFC	EQP	Computer Server		ASUS - SUR - DLS	1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0212	00(H12)	PJ	00PJ-085- 12	OFC	EQP	Printer	S/R No: PE09Y1502	EPSON LQ - 2180	1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0213	00(H12)	PJ	00PJ-085- 13	OFC	EQP	Printer	S/R No: SG1298204	HP Laser Jet 1100	1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0275	01(H13)	AC	01AC - 023	MED	EQP	Plastic Card Embosser	Serial No. : 901794	Card Maker-V TOHO SEIKI CO.,	1	Reception	Dr. Souphavanh	2001	O	A	
0186	00(H12)	PJ	00PJ-083-18	MED	ACC	Inprinter	Ser No. : 004353	PRO - MECH SR - 6000	1	Rehabilitation	Mrs. Ounleu	2001	O	A	
0373	03(H14)	PJ	02PJ-011	MED	EQP	Ergometer		Horizon # WM-001	1	Rehabilitation	Dr. Oulayphone	2003	O	A	
0374	03(H14)	PJ	02PJ-012	MED	EQP	Massage Machine (belt)		WL-3511	1	Rehabilitation	Dr. Oulayphone	2003	O	A	
0375	03(H14)	PJ	02PJ-013	MED	EQP	Electrocardiograph Analyser(ECG)		Kohden Japan	1	Rehabilitation	Dr. Oulayphone	2003	O	B	
0438	03(H15)	PJ	04PJ-16-A, B	MED	EQP	Massage Units totally manufactured in	aluminum		2	Rehabilitation	Dr. Oulayphone	2004	O	A	
0303	03(H13)	PJ	01PJ - 013 - C-2	MED	EQP	HF / VHF Transceiver	Serial No. : 05819	ICOM 706 MK II W	1	Sangthong Dis	Dr. Phoupsong	2002	O	A	
0340	01(H13)	PJ	01PJ - 068B-1	MED	EQP	Repeater ICOM		ICOM IC VR 8051	1	Sangthong Dis	Dr. Phoupsong	2002	O	A	

No.	FY	Category	Equip. No	Group Code	Type	Item Name (English)	Product No.	Brand Model No	Qty	Place of Installation	Person in charge	Year/Expert	Status of Management	Status of Running	REMARK
0342	01(H13)	PI	LAO 01PJ-068C-2A	MED	EQP	Hand Held		KENWOOD T22A	1	Sungthong Dis	Dr. Phouphasong	2002	O	A	
0078	09(H13)	PI	LAO 99PJ-026	OFC	EQP	Printer	S/N : FRGR 076844	HP Laser Jet 1100	1	Secretary Rm	Mrs. Silluck	1999	O	A	
0096	09(H13)	PI	LAO 99PJ-037	OFC	EQP	Fax Machine	S/N : 0199700037	PANASONIC UR-770 - YX	1	Secretary RM	Mrs. Silluck	1999	O	A	
0106	09(H13)	PI	LAO 99PJ-046	MED	EQP	Vacuum cleaner	S/N : 01573	KLENCO Typhoon 327	1	Secretary RM	Mrs. Silluck	1999	O	A	
0113	09(H13)	PI	LAO 99PJ-051	OFC	EQP	Photocopy Machine	S/N : A. 393080638		1	Secretary RM	Mrs. Silluck	1999	O	A	
0309	09(H13)	EX	LAO 99EX-007B	OFC	EQP	Computer	S/N : 7944CJM40027	Compaq Deskpro EP	1	Secretary RM	Mrs. Silluck	1999	O	A	
0344	01(H13)	PI	LAO 01PJ-068C-4A	MED	EQP	Hand Held		KENWOOD T22A	1	Selha Hos	Dr. Phouphasong	2002	O	A	
0154	00(H12)	PI	LAO 00PJ-005	OFC	EQP	Refrigerator		HITACHI 59 Q (R-17HS)FL0634	1	Surgery	Mrs. Khamla	2000	O	A	
0162	00(H12)	PI	LAO 00PJ-077 - 4	MED	EQP	Drug Cabinet			1	Surgery	Mrs. Khamla	2001	O	A	
0232	00(H12)	PI	JPN 00PJ-133 - 6	MED	EQP	Dust Box		113 - 045 - 01 (004705)	1	Surgery	Mrs. Khamla	2001	O	A	
0257	00(H12)	LC	LAO 00LC-027 - 5	MED	EQP	Chairs Holder Insert Trolley (30 chairs capacity Size 17.5" x 33")		MEDITOM DT 300 P	1	Surgery	Mrs. Khamla	2001	O	A	
0332	03(H13)	PI	LAO 04PJ-12	MED	EQP	HF Surgical Cut		Thailand	3	Surgical	Dr. ViengPoulhont	2004	O	A	
0448	04(H16)	PI	LAO 04PJ-26-1,2,3	MED	EQP	Surgical Cart 56 x 91 x 86cm. Stainless	n/a	ressemble Thailand	6	Surgical	Dr. BounYor	2004	O	A	
0449	04(H16)	PI	LAO 04PJ-27-1,2,3,4,5	MED	EQP	Stainless Surgical Box with cover and n/a		Universal Quality Thailand	1	Surgical	Dr. BounYor	2004	O	A	
0450	04(H16)	PI	LAO	MED	EQP	Tonsillectomy Surgical Set			1	Surgical	Dr. BounYor	2004	O	A	
0318	01(H13)	PI	LAO 01PJ-015	MED	EQP	Color Doppler Ultrasound Complete set		Model No : 500	50	Ultrasound Rm	Dr. Vackaly	2002	O	A	
0315	09(H13)	EX	LAO 99EX-015-1,2	MED	EQP	Sphygmomanometer Aneroid		nach PROF. Gunter K.F. Schultze	1	X - ray	Mrs. Thy	1999	O	A	
0293	01(H13)	PI	LAO 01PJ - 006	MED	EQP	Hystero - Salpingography (Full set with 10 ml syringe)		DAIKIN (FTY50GVIC/RV50GV1	1	X - ray	Dr. Vackaly	2001	O	A	
0348	01(H13)	PI	JPN 02PJ-001-1	MED	EQP	Air Condition		DAIKIN (FTY60GVIC/RV60GV1	1	X - ray	Dr. Vackaly	2002	O	A	
0349	01(H13)	PI	JPN 02PJ-001-2	MED	EQP	Air Condition		HITACHI	1	X - ray	Dr. Vackaly	2002	O	A	
0350	01(H13)	PI	JPN 02PJ-002	MED	EQP	CT SCANNER Set			1	X - ray	Dr. Vackaly	2002	O	A	
0369	01(H13)	AC	LAO 02AC-014-A,B	ADM	EQP	Computer Desk Top		COMPAQ Presario 6000	1	X - ray	Dr. Vackaly	2002	O	A	
0370	01(H13)	AC	LAO 02AC-015	ADM	EQP	Laser Printer		HP Laser Jet 1200	1	X - ray	Dr. Vackaly	2002	O	A	
0385	03(H13)	PI	LAO	MED	ACC	X-Ray accessories (Built-in Bucky Device)		compatible with YSF 120	1	X - ray	Mr. Bounna	2003	O	A	
0386	03(H13)	PI	LAO	MED	ACC	X-Ray accessories (X-Ray Tube Support)		FH 21	1	X - ray	Mr. Bounna	2003	O	A	
0387	03(H13)	PI	LAO	MED	ACC	X-Ray accessories (X-ray Tube Assembly "floor rail type")		0.6/1.2 18DE-80S	1	X - ray	Mr. Bounna	2003	O	A	
0388	03(H13)	PI	LAO	MED	ACC	X-Ray accessories (Beam Collimator)		R20	1	X - ray	Mr. Bounna	2003	O	A	
0389	03(H13)	PI	LAO	MED	ACC	X-Ray accessories (Bucky Stand)		BR-1H	1	X - ray	Mr. Bounna	2003	O	A	
0390	03(H13)	PI	LAO	MED	ACC	X-Ray accessories (cable "High tension)		18 metres	1	X - ray	Mr. Bounna	2003	O	A	
0391	03(H13)	PI	LAO	MED	ACC	X-Ray accessories (Cassette & intensifying screen 18 x 24 cm blue)			2	X - ray	Mr. Bounna	2003	O	A	
0392	03(H13)	PI	LAO	MED	ACC	X-Ray accessories (Cassette & intensifying screen 24 x 30 cm blue)			2	X - ray	Mr. Bounna	2003	O	A	
0393	03(H13)	PI	LAO	MED	ACC	X-Ray accessories (cassette & intensifying screen 30 x 40 cm)			2	X - ray	Mr. Bounna	2003	O	A	

Project Budget : PJ
Expert's Accompanied : AC
Extra Budget : EX
Local Cost : LC

LAO : Supply from Lao
JPN : Supply from Japan
THAI : Supply from Thailand
OTH : Supply from Other Countries

EQP
CNS
ACC

ຄະນະອຳນວຍການໂຮງໝໍເສດຖາທິລາ

ຫົວໜ້າຫ້ອງການບໍລິຫານ-ສັງລວມ

ກຳມະການກວດກາ

ນະຄອນຫລວງວຽງຈັນ, ວັນທີ
ນາຍບັນຊີ

- Status of Input -
Counterparts' Allocation

As of 30 April 2004

No.	Name	Title	Cooperation Area	Training Status
1	Dr. Inlavanh KEOBOUNPHAN	Director of Health Department, Vientiane City	Director of the Project	
2	Dr. Khamtanh BOUAPHAYVANH	Deputy Director of Health Department, Vientiane City	Member of JCC	
3	Dr. SomOck KINGSADA	Director of SH	Deputy Director of the Project	CPT, VT
4	Dr. Khampe PHONGSAVATH	Deputy Director of SH	Hospital Administration/Pediatrics	CPT, TTKU, TTK
5	Dr. Thongdy LUANGXAY	Chief of Cabinet / Chief of General Affairs Sec., SH	Hospital Administration	CPT, VT
6	Dr. Bolisouth VIRAPHANH	Deputy Chief of General Affairs Sec., SH	Hospital Administration	
7	Dr. Phan DAVONG	Chief of Personnel Affairs Sec., SH	Hospital Administration/ET	
8	Dr. Vongphachanh PHONGSOUVANH	Chief of Internal Medicine Sec., SH	General Medicine/ET	CPT
9	Dr. Panyavong CHITTAPHANYA	Chief of SSO (Social Security Organization) Sec., SH	General Medicine	
10	Dr. Sinthavong PHYATHEP	Chief of Emergency Room / Deputy Chief, Internal Medicine Sec., SH	nm, m, m, m	GT, TTKU, TTCU(PLAN)
11	Dr. Phimseng PHITHANOUSONE	Staff of Emergency Room, SH	General Medicine/ET	VT
12	Dr. Khamla CHOUMLIVONG	Deputy Chief of Internal Medicine Sec., SH	General Medicine/ET	
13	Dr. Nounsompheng CHANTHAMAT	Staff of Internal Medicine Sec., SH	General Medicine/ET	TT
14	Dr. Khamloun CHOUMLIVONG	Staff of Internal Medicine Sec., SH	General Medicine	VT
15	Dr. Thongkham PHIAVONG	Staff of Internal Medicine Sec., SH	General Medicine/ET	
16	Dr. Sisomphone TANDAVONG	Chief of OPD Sec., SH	General Medicine/ET	
17	Dr. Vonesy OUTHACHACK	Deputy Chief of OPD Sec., SH	General Medicine/ET	
18	Dr. Oukeo KHOUNTHALYVONG	Chief of Research Sec., / Chief of Endoscopy Room, SH	Research / Endoscopy/ET	CPT
19	Dr. Khamkheut KEOKHOUNMANY	Staff of Endoscopy Room, SH	Endoscopy/ET	TTCU(PLAN)
20	Ms. Phathoumvanh LUANGRATH	Staff of Endoscopy Room, SH	Endoscopy	
21	Ms. Manivanh VONGPHOUTHONG	Staff of Endoscopy Room, SH	Endoscopy/ET	
22	Dr. Paliphonesouk INSISIENGMAI	Chief of Pediatric Sec., SH	Pediatrics	
23	Dr. Phouthone CHANTHALATH	Staff of Pediatric Sec., SH	Pediatrics/ET	
24	Dr. Ang SIHAVONG	Chief of Neo Natal Intensive Care Unit, Pediatric Sec., SH	Pediatrics/ET	CPT
25	Ms. Thimlakham SYTHALA	Staff of Neo Natal Intensive Care Unit, Pediatric Sec., SH	Pediatrics	CPT
26	Dr. Bounthieng APHAY	Chief of OBGY (Obstetric & Gynecology) Sec., SH	OBGY/ET	
27	Dr. Keokedthong PHONGSAVANH	Chief of IRS / Deputy Chief of OBGY Sec., SH	OBGY / Coordination	CPT
28	Ms. Phouangsone BOUNPHANTHONG	Staff of GYN OPD Sec., SH	OBGY/ET	
29	Dr. Viengxay XAYAVONGSA	Staff of MCH Sec., SH	MCH/ET	
30	Dr. Onekham DOUANGBOUPHA	Chief of Surgical Sec., SH	Surgery/ET	CPT

- Status of Input -

Counterparts' Allocation

31	Dr. Viengphouthong PHOMSAVANH	Deputy Chief of Surgical Sec., SH	Surgery/ET	
32	Dr. Khammanh PHYPHAK	Chief of Surgical Sec., SH	Surgery	
33	Dr. Viengxay MANIVONG	Staff of Surgical Sec., SH	Surgery	
34	Dr. Keophouvang KITIVONG	Staff of Surgical Sec., SH	Surgery/ET	
35	Dr. Bounyho MONHMALICHAN	Staff of Surgical Sec., SH	Surgery/ET	
36	Dr. Keo PHOMMALAT	Deputy Chief of Anesthesia Sec., SH	ICU / Anesthesia/ET	CPT(PPLAN)
37	Dr. Bounhuang OUDOMPHONE	Staff of Anesthesia Sec., SH	Anesthesia/ET	
38	Mr. Ounheuan SOMPHASONG	Staff of Anesthesia Sec., SH	Anesthesia/ET	
39	Mr. Chouasong NHIACHOUCHUEPO	Staff of Instrument Sec., SH	Anesthesia/ET	
40	Dr. Thongkham KOUMMARASY	Chief of ICU, SH	ICU	
41	Dr. Kongseng TAYKEOPHITHOUNE	Staff of ICU, SH	ICU/ET	
42	Dr. Sisavath SITTHIDEETH	Staff of ENT Sec., SH	ENT/ET	
43	Dr. Somkeo CHANTHABOUALA	Deputy Chief of ENT Sec., SH	ENT/ET	
44	Dr. Synouanchanh BOUNNAPHON	Chief of Ophthalmology Sec., SH	Ophthalmology	
45	Dr. Simai BOUTPHOMVIHANH	Deputy Chief of Ophthalmology Sec., SH	Ophthalmology/ET	
46	Dr. Thongsavanh PHONAPHON	Deputy Chief of Dental Sec., SH	Dentistry/ET	CPT
47	Dr. Khamnavanh KHOTSAY	Staff of Dental Sec., SH	Dentistry/ET	
48	Dr. Sangvane SAYAVONG	Staff of Dental Sec., SH	Dentistry/ET	
49	Dr. Vackaly BOUDTAVONG	Chief of Radiology Sec., SH	Radiology	
50	Dr. Phiphop LUANGSIVILAY	Staff of Radiology Sec., SH	Radiology/ET	TTCU, TTCU(PPLAN)
51	Dr. Annaly PHONGSAVATH	Deputy Chief of Radiology Sec., SH	Radiology/ET	
52	Mr. Bouma THAMMAVONGSA	Deputy Chief of Radiology Sec., SH	Radiology/ET	TTCU
53	Mr. BounLaup LUANGRATH	Staff of Radiology Sec., SH	Radiology	
54	Mr. Kathin LOUNGPHON	Chief of Laboratory, SH	Clinical Laboratory	
55	Dr. Saykham PHAXAYASENG	Deputy Chief of Laboratory, SH	Clinical Laboratory/ET	CPT
56	Dr. Chanthaboun VICHITTA	Deputy Chief of Laboratory, SH	Clinical Laboratory/ET	
57	Mr. Kham ane THEPKAMHAUNG	Section Head of Hematology Sec., Laboratory, SH	Clinical Laboratory/ET	CPT(PPLAN)
58	Ms. Channaly KEOMALAVONG	Section Head of Biochemistry Sec., Laboratory, SH	Clinical Laboratory/ET	TTK(PPLAN)
59	Dr. Chansamone MAUNGPAK	Section Head of Urine & Stool Sec., Laboratory, SH	Clinical Laboratory/ET	
60	Ms. Thanh PHOMMASACK	Staff of Hematology Sec., Laboratory, SH	Clinical Laboratory/ET	GT
61	Mr. Khamla ACKALAT	Staff of Cytology Sec., SH	Clinical Laboratory/ET	
62	Ms. Khampong CHANTHAYONG	Staff of Microbiology Sec., Laboratory, SH	Clinical Laboratory/ET	
63	Ms. Pimpha LORVONGSA	Staff of Stool & Urine Sec., Laboratory, SH	Clinical Laboratory/ET	
64	Dr. Volachit THIPHAKOUN	Chief of Pharmacy, SH	Pharmacy/ET	GT

- Status of Input -

Counterparts' Allocation

65	Dr. Chanseum SYVILAY	Deputy Chief of Pharmacy, SH	Pharmacy/ET	GT
66	Dr. Souphavanh PATHAMMAVONG	Chief of Medical Affairs Sec., SH	Medical Affairs Management/ET	
67	Dr. Somvandang SILISOUK	Deputy Chief of Medical Affairs Sec., SH	Medical Affairs Management/ET	
68	Mrs. Khongkham VONGDEUANE	Staff of Reception Desk, Medical Affairs Sec., SH	Medical Affairs Management/ET	
69	Mr. Saysana VILATSONE	Staff of Reception Desk, Medical Affairs Sec., SH	Medical Affairs Management/ET	
70	Mr. Phetsamone XAYPHATHETH	Staff of Reception Desk, Medical Affairs Sec., SH	Medical Affairs Management/ET	
71	Dr. Khounlathida SAYMONGKOUN	Deputy Chief of SSO (Social Security Organization) Sec., SH	SSO	
72	Mr. Bounchanh PHANTALANSY	Acting Chief of Finance Sec., SH	Finance Management	
73	Mr. Chanthavilay BOUDSAVATH	Staff of Finance Sec., SH	Finance Management/ET	
74	Ms. Sililack BANOUVONG	Secretary of Director, SH	ET	
75	Ms. Somchay KHAMVILAY	Secretary of Director & Staff of IRS, SH	ET	
76	Ms. Manolom SOUVANNAPHOUSITH	Staff of Research Sec., Library, SH	Research/ET	
77	Dr. Khamphet THAMMAVONG	Chief of Maintenance & Environment Sec., SH	Building Maintenance	
78	Mr. Sykhen SOULIPHONH	Head of Operation & Maintenance Unit, Maintenance & Environment Sec., SH	Building Maintenance	CPT
79	Mr. Somphavanh KINGSADA	Head of Engineering Unit, Maintenance & Environment Sec., SH	Building Maintenance	
80	Ms. Fang PHOMMACHANH	Head of Logistic Unit, Maintenance & Environment Sec., SH	Building Maintenance	
81	Mr. Somisack VONGNAKHON	Head of Medical Equipment Unit, Maintenance & Environment Sec., SH	Building Maintenance	
82	Mr. Soukhan KHANTHAVONG	Staff of Maintenance & Environment Sec., SH	Building Maintenance	GT(PLAN)
83	Mr. Khampong SYBOUNTA	Head Nurse of Nursing Administration Sec., SH	Nursing Administration/ET	VT,TTK
84	Ms. Khamla SILOUDOM	Deputy Head Nurse of Nursing Administration Sec., SH	Nursing Administration/ET	GT
85	Ms. Sisoupath LUANGXAY	Deputy Head Nurse of Nursing Administration Sec., SH	Nursing Administration/ET	GT
86	Ms. Naly PHOMDOUANGSY	Deputy Head Nurse of Nursing Administration Sec., SH	Nursing Administration/ET	
87	Ms. Manichanh PHANMATHA	Chief Nurse of ICU Sec., SH	Nursing/ET	TTK
88	Mr. Somsana VONGTHILATH	Deputy Chief Nurse of ICU Sec., SH	Nursing/ET	
89	Ms. Khansong THAMMAVONG	Chief Nurse of Operation Room, SH	Nursing/ET	
90	Ms. Vilaythong SOULIYAVONG	Deputy Chief Nurse of Operation Room, SH	Nursing/ET	
91	Ms. Khamla KHUNVITHONG	Chief Nurse of Surgical Sec., SH	Nursing/ET	TTK(PLAN)
92	Ms. Phadit VONGSYHALATH	Deputy Chief Nurse of Surgical Sec., SH	Nursing	
93	Ms. Bouason KEOMANIPHET	Chief Nurse of Pediatric Sec., SH	Nursing	
94	Ms. Phengsy MANIVONG	Deputy Chief Nurse of Pediatric Sec., SH	Nursing/ET	
95	Ms. Linda KEOMAHAVONG	Chief Nurse of Internal Medicine Sec., SH	Nursing	
96	Ms. Douangkhet SYHALATH	Deputy Chief Nurse of Internal Medicine Sec., SH	Nursing	
97	Ms. Bounsong SENGMIKXAY	Chief of Nurse Emergency Room, SH	Nursing	
98	Ms. Souphaphone INSYXIENGMAV	Deputy Chief Nurse of Emergency Room, SH	Nursing	

- Status of Input -
Counterparts' Allocation

99	Ms. Khamming LUANGLITH	Chief Nurse of OBGY Sec., SH	Nursing/ET	
100	Ms. Bounthan SENGTHIVONG	Deputy Chief Nurse of OBGY Sec., SH	Nursing	
101	Ms. Naphaphone KATTIYAVONG		Nursing/ET	
102	Ms. Thavivanh BOUALAVANH	Nurse of Personnel Sec., SH	Nursing/ET	
103	Ms. Chansone PHETVILAYPHONE	Nurse of Surgery Sec., SH	Nursing/ET	
104	Ms. Khammui THAMMACHAK	Nurse of OPD Sec., SH	Nursing/ET	
105	Ms. Vongdeane PHASANO VANH	Nurse of Instrument Sec., SH	Nursing/ET	
106	Ms. Somphay MINGBOUPHA	Nurse of Group OPD Sec., SH	Nursing/ET	
107	Ms. Viengkham RATHSADAVONG	Nurse of ICU Sec., SH	Nursing/ET	
108	Ms. Saiyaphet KINGSDA	Nurse of MCH Sec., SH	Nursing/ET	
109	Ms. Chanthaphit YATHIRATH	Nurse of ICU Sec., SH	Nursing/ET	
110	Ms. Bounthan PHOMMACHIT	Nurse of Internal Medicine Sec., SH	Nursing/ET	
111	Mr. Saysamone PHAVONGSAY	Nurse of Internal Medicine Sec., SH	Nursing/ET	
112	Mr. Khammone PHANGKHAMHAK	Nurse of ICU Sec., SH	Nursing/ET	TTK
113	Ms. Somhack BOUNYAVONG	Nurse of Reception & Kitchen, SH	Hospital Meal	TTK

<ABBREVIATION>

ET: English Training participant
 IRS: International Relation Section
 CPT: Counterpart Training
 GT: Group Training in Japan
 VT: Training in Bach Mai Hospital, Vietnam
 TTU: Chiang Mai University Hospital, Training in Thailand
 TTK: Kalasin Hospital, Training in Thailand
 TTKU: Khonkean University Hospital, Training in Thailand

- Status of Input -
Operational Expenses on Local Activities

Purpose of Budget	Year	JFY 1999	JFY 2000	JFY 2001	JFY 2002	JFY 2003	JFY 2004
General		\$23,889.72	\$29,543.91	\$28,469.09	App.\$38000	App.\$92000	App.\$17,000
LLDC Local Cost		\$11,590.04	\$18,166.20	\$14,151.07			
Technical Exchange			\$11,861.94	\$4,241.71			
Technology Local Adaptation			\$11,574.11	\$10,316.38	App.\$5000	App.\$8000	
PMC Training (Cost Shaaring)					App.\$600	App.\$1,570	
Others(Neighboring training etc.)					App.\$564	App.\$1,130	
Total Amount		\$35,479.76	\$71,146.16	\$57,178.25	App.\$44164	App.\$102,700	App.\$17,000
Remarks							Status up to the 1st quarter only

J
A
P
A
N

L
A
O
S

THE SIXTH JOINT COORDINATING COMMITTEE MEETING
ON JUNE 10, 2004

UP DATED : 10/Jun/2004

No.	SECTION	NAME	TITLE
Lao Side			
1	MOH	Mrs. Chanthanom MANODHAM	Director of Cabinet
2		Dr. Chanphomma VONGSAMPHANH	Deputy Director of Curative Dept.
3		Dr. Khampong PHOMMACHANH	Technical of Physio , MOH
4	DOH	Dr. Inlavanh KEOBOUNPHAN	Director
5		Dr. Khamtanh BOUAPHAYVANH	Deputy Director
6	MCH Center Hospital	Dr. Bounleua OUDAVONG	Deputy Director
7	Malariaology, Pa, En Center	Dr. Samlane PHOMPIDA	Director
8	Sethathirath Hospital	Dr. SomOck KINGSADA	Director
9		Dr. Khampe PHONGSAVATH	Deputy Director
10		Dr. Thongdy LUANGXAY	Chief of General Affair Section
11		Dr. Keokedthong PHONSAVAN	OBGY Section / Intl' Relation
12		Dr. Phan DAVONG	Chief of Personnel Section
13		Dr. Souphavanh PATHAMMAVONG	Chief of Medical Affair
14		Mr. Bounchanh PHANTHALANSY	Committee of Finace Section
15		Dr. Onkham DUANGBOUPHA	Chief of Surgery Section
16		Dr. Bounthieng APHAY	Chief of OBGY
17		Dr. Oukeo KHOUNTHALYVONG	Chief of Research Section
18		Dr. Paliphonesouk INSIXIENGMAI	Chief of Pediatric Sectin
19		Mr. Khamphong SYBOUNTA	Chief of Nursing Section
20		Dr. Vackaly BOUDTAVONG	Chief of X-RAY Section
21		Dr. Chanthaboun VICHITTA	Deputy Chief of Laboratory
22		Dr. Sykham PHAXAYASENG	Deputy Chief of Laboratory
23		Dr. Sinuanchanh BOUNNAPHONH	Chief of OPH Section
24		Dr. Somkeo CHANTHABOUALA	Chief of ENT Section
25		Dr. Vorachit THIPHAKOUN	Chief of Pharmacy Section
26		Dr. Pimseng PHESAVATH	Deputy chief ER
27		Dr. Panyavong CHITTAPANYA	Chief of SSO Sec
28		Dr. Nuangsompheng CHANHTHAMAT	Doctor, Internal Medicine
29		Dr. Sinthavong PHIATHAP	Chief of ER Section
30		Mrs. Fang PHOMMACHANH	Deputy Chief of Environment & Maintenance Sect.
Japanese Side			
31	Embassy of Japan	Mr. Tomohito NOMI	Second Secretary

32	JICA Laos Office	Mr. Hidetaka NISHIWAKI	Resident Representative
33		Mr. Shuichi IKEDA	Deputy Resident Representative
34		Ms. Tomomi IBI	Staff
35	DIC, MOFA	Mr. Naoto OKAWA	JICA Expert
36	MOH	Dr. Chiaki MIYOSHI	JICA Expert, Advisor to MOH
37	SHIP Evaluation Team	Dr. Akira HASHIZUME	Head of Evaluation Study Team, Executive Technical Advisor, Leader to the Director General, Human Development Department JICA.
38		Dr. Tadashi NISHIMAKI	Professor, Faculty of Medicine University of the Ryukyus
39		Dr. Hiroyuki NAKANO	Chief, Division of Pediatrics, Department of International Cooperation, St. Mary's Hospital
40		Ms. Yuko KATSUNO	Cooperation Evaluation, Staff, Health Personnel Development Team, Group III, Human Development Department, JICA
41		Mr. Akira MATSUMOTO	Project Evaluation, Consultant
42	L-J SHIP Expert	Dr. Yoshiaki OKUDA	Chief Adviser (L-J SHIP Project)
43		Dr. Hiroyuki NOZAKI	Expert in General Medicine(L-J SHIP Project)
44		Mrs. Kazuko IWATA	Expert in Nursing(L-J SHIP Project)
45		Dr. Yoshitaka TAKESHIMA	Expert in Surgery(L-J SHIP Project)
46		Mr. Takehiko TAKAHASHI	Expert in Coordinator(L-J SHIP Project)